



管理者キット ユーザーズガイド

このユーザーズガイドでは、HACCP クリエータのカスタマイズ機能を有する、HACCP クリエータ管理者キットの機能および使用方法を、手順ごとに詳しく解説します。

このユーザーズガイドは、HACCP クリエータの各種機能を理解されていることを前提としています。HACCP クリエータの機能の詳細については、『HACCP クリエータ ユーザーズガイド』をご覧ください。

本『HACCP クリエータ管理者キット ユーザーズガイド』の内容および関連する iGrafx FlowCharter ソフトウェアは、(株)サン・プランニング・システムズおよび iGrafx, LLC とそれぞれ該当するライセンサーの所有物であり、著作権によって保護されています。許諾無しに本ユーザーズガイドおよび関連ソフトウェアの全部または一部を複製することは、堅く禁止されています。

©SunPlanningSystems.Co., Ltd. All rights reserved.

iGrafx, iGrafx® FlowCharter®, iGrafx® Process™、および iGrafx® Process360Live® は、カナダ、合衆国、および/またはその他の国々における、iGrafx, LLC および/またはその子会社の商標または登録商標です。SOX+は(株)サン・プランニング・システムズの商標です。Microsoft、Windows、および Excel は、合衆国および/またはその他の国々における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。Adobe と Acrobat Reader は、合衆国および/またはその他の国々における Adobe Systems Incorporated の登録商標です。その他の製品、フォント、および会社名とそのロゴは、それぞれ該当する会社の商標または登録商標である場合があります。

iGrafx®

目次

第1章	HACCP クリエータ管理者キットの概要	6
	HACCP クリエータ管理者キットの起動	6
	HACCP クリエータ管理者キットと定義情報	7
	HACCP クリエータ管理者キット使用の流れ（イメージ）	8
第2章	HACCP クリエータ管理者キットの機能	9
	HACCP クリエータ管理者キットのメインメニュー	9
	HACCP クリエータ管理者キットの使用手順	11
	HACCP クリエータ管理者キットを効率的にご利用頂くために	12
	テストモード切替	12
	テストモード実行中のメッセージと確認方法	13
第3章	配布ファイルの取込み	14
	既存配布ファイルの取込み手順	14
第4章	項目メンテナンス	16
	図形グループ別項目一覧	17
	図形グループ項目一覧の選択方法	17
	ツリー構造の見方	18
	編集メニューの操作	19
	図表グループ別の編集	20
	プロセス情報の編集	20
	図形グループ別の編集	23
	タブページの編集	27
	項目の編集	31
	図表グループの定義情報	40
	図形別項目一覧	48
	図形別項目一覧の選択方法	49
	メニューの操作	50
	図形別の編集	51
	デシジョンツリー メンテナンス	53
	デシジョンツリー メンテナンスの編集	53
	質問の定義	54
	表示の設定	56
第5章	帳票メンテナンス	58
	帳票ファイルと帳票の構成	58
	帳票レイアウトの変更	59

「初期化」と「復元」ボタン	60
帳票データ出力位置の変更	61
帳票別出力位置の変更	62
定義リスト.....	62
帳票出力項目の追加	64
帳票出力位置の追加手順	64
帳票出力項目の削除	69
帳票別設定の変更	70
出力制御	70
危害情報出力の条件	71
第 6 章 辞書メンテナンス.....	73
辞書データの入力	73
辞書データのファイル出力	76
辞書データファイルの取り込み.....	77
第 7 章 配布ファイル作成.....	79
図形パレットの指定	79
配布ファイルの作成	80
配布ファイルに同梱する図形集とテンプレート	82
図形集(コレクション)	82
テンプレート	82
配布先ユーザーのカスタマイズ定義データの取込位置.....	82
第 8 章 自社用図形集と iGrafx テンプレートを作る	83
自社用図形集を作成する	83
自社用図形集の作成方法	83
図形の編集方法	84
iGrafx テンプレートの作成	88
iGrafx テンプレートサンプルの活用	88
第 9 章 付録.....	90
最終製品の特性シート出力位置情報.....	90
原材料リストシート出力位置情報	91
工程管理表シート出力位置情報	92
ハザード分析表シート出力位置情報	93
ハザード管理プラン表出力位置情報	96
ハザード管理プラン表単票(CCP OPRP)出力位置情報	98
パターンマトリクス出力位置情報	100

第 1 章 HACCP クリエータ管理者キットの概要

本書では、HACCP クリエータで使用される図形の入力画面及び帳票出力した際に作成される帳票ファイルのフォーマットなどをカスタマイズできる HACCP クリエータ管理者キット（以降、文中では管理者キットと略称）の使用方法を説明します。

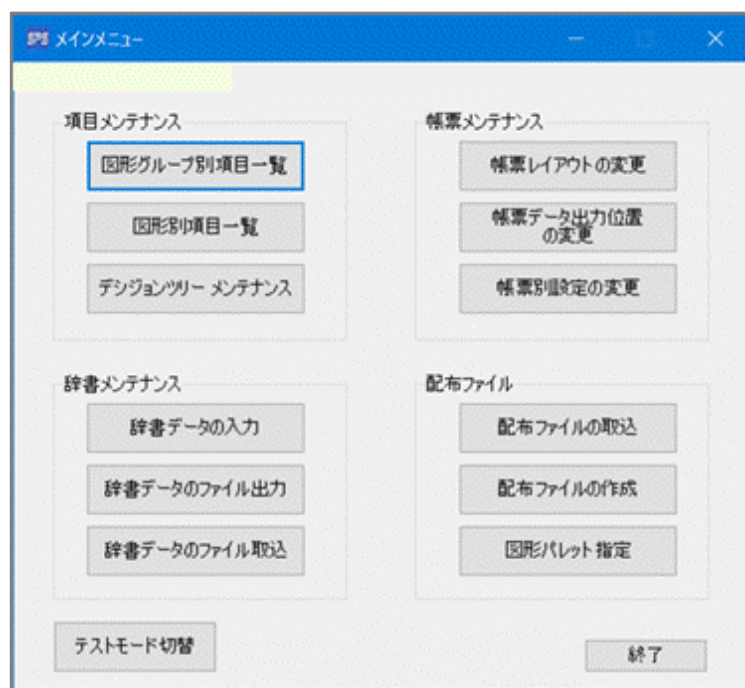
管理者キットでは以下のカスタマイズができます。

詳細内容については、該当ページの説明をご覧ください。

- 文書情報、HACCP 図形（原材料、工程、危害、検証）ダイアログボックスの各項目名や選択リストの変更、表示方法の切り替え、さらには新規項目を追加することができます。(P16)
- HACCP 図形（原材料、工程、危害、検証）に登録した情報をポップアップ表示する項目と表示の切り替えを変更することができます。
- デシジョンツリーの質問内容や回答方法、結果値の設定を変更できます。(P53)
- 各帳票テンプレートのフォーマット（表示項目の切り替えや項目名の変更、書式の変更、さらには項目の追加、並び替え）を変更することができます。(P58)
- 各帳票フォーマットを「初期化」「復元」することができます。(P60)
- 辞書データを作成し、HACCP 図形ダイアログボックスの入力項目を自動的に反映することができます。(P73)

HACCP クリエータ管理者キットの起動

スタートメニューの「すべてのアプリ」より「iGrafx」フォルダの中にある「HACCP クリエータ管理者キット」を選択し、メインメニューを起動します



HACCPクリエイター管理者キットと定義情報

定義情報とは

HACCP クリエータの各図形ダイアログボックスの画面、各機能の動作は、定義情報と呼ばれるデータによって定義されています。

管理者キットは、同じバージョンの HACCP クリエータの定義情報と同一内容の定義情報を持っており、その定義情報は、管理者キットの各カスタマイズ機能から直接編集・更新することができます。(同じ PC に HACCP クリエータがインストールされていても、HACCP クリエータの定義情報を編集しているわけではありません。)

管理者キットが持っている定義情報に対して必要な編集・更新を行い、それらの定義情報を他のユーザーに配布することができます。このファイルを「配布ファイル」と言います。

HACCP クリエータのメニューから配布ファイルを指定して取込をすると、HACCP クリエータは配布ファイルから取り込んだ定義データに従って動作するようになります。

定義情報の保存

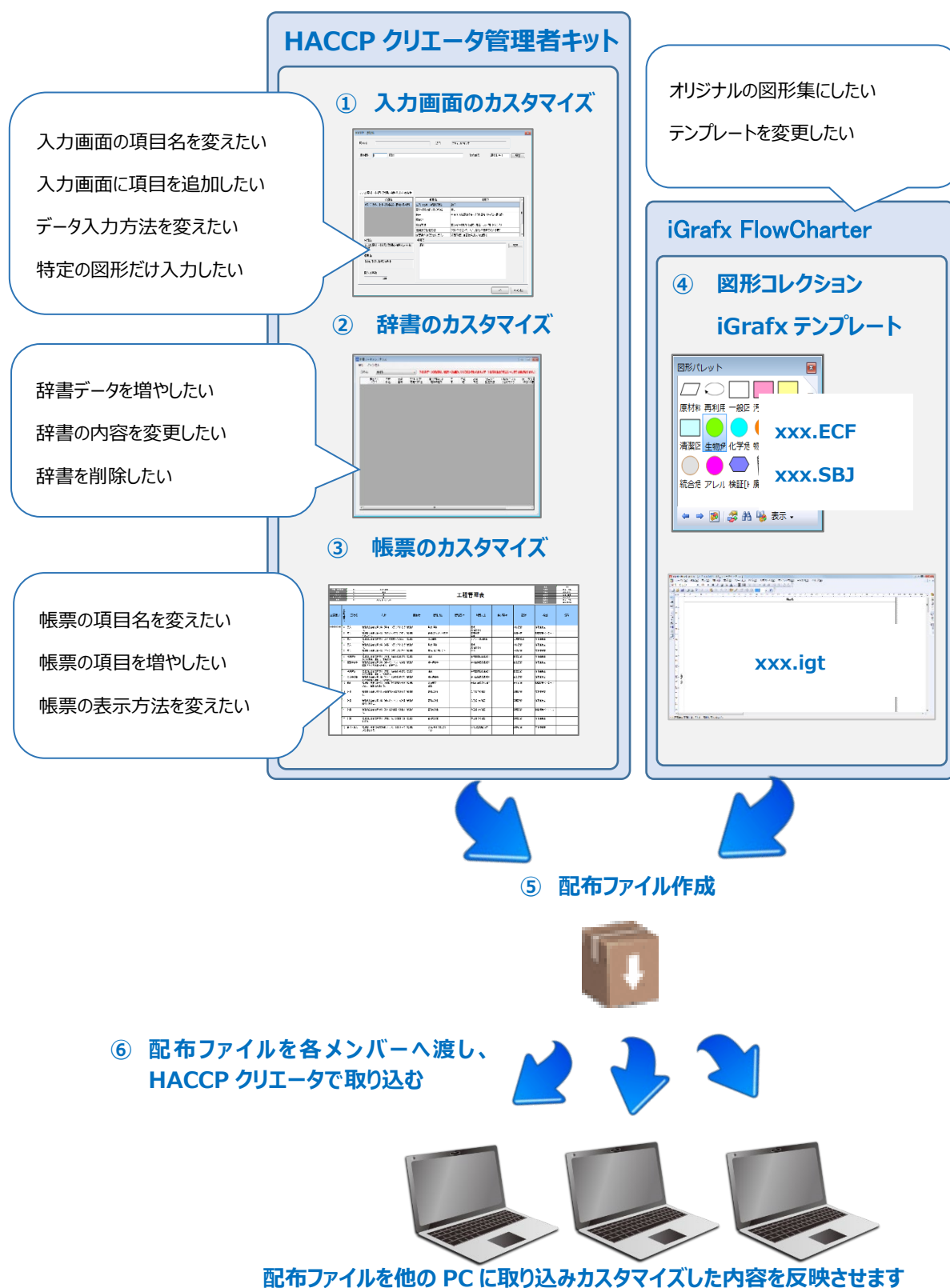
管理者キットの定義情報は、使用するユーザーごとに保存されています。

定義情報は、初期化するか、配布ファイルを読み込んだりしない限り、それまでの編集内容がそのまま保持されます。

管理者キットの各カスタマイズ機能で変更を行った場合、変更を行ったユーザーの定義情報を更新します。変更が多い場合や、変更内容を試したい場合は、必ずそれまでの状態を配布ファイルとして保存するようにしてください。

変更を繰り返した後に元に戻したい場合、最後に保存した配布ファイルを取り込むことで以前の状態に戻すことができます。直前の変更だけを部分的に戻すことはできませんので、操作に応じて適切に配布ファイルを保存するようにしてください。

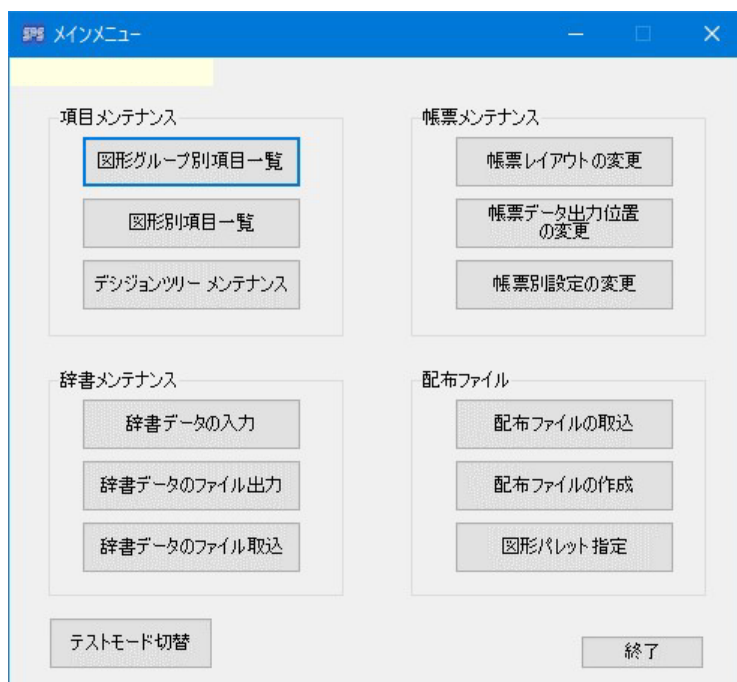
HACCPクリエータ管理者キット使用の流れ（イメージ）



第 2 章 HACCPクリエータ管理者キットの機能

この章では、管理者キットの機能の概要について説明します。
管理者キットの各メニューで変更した内容は、自動的に定義情報に保存されます。

HACCPクリエータ管理者キットのメインメニュー



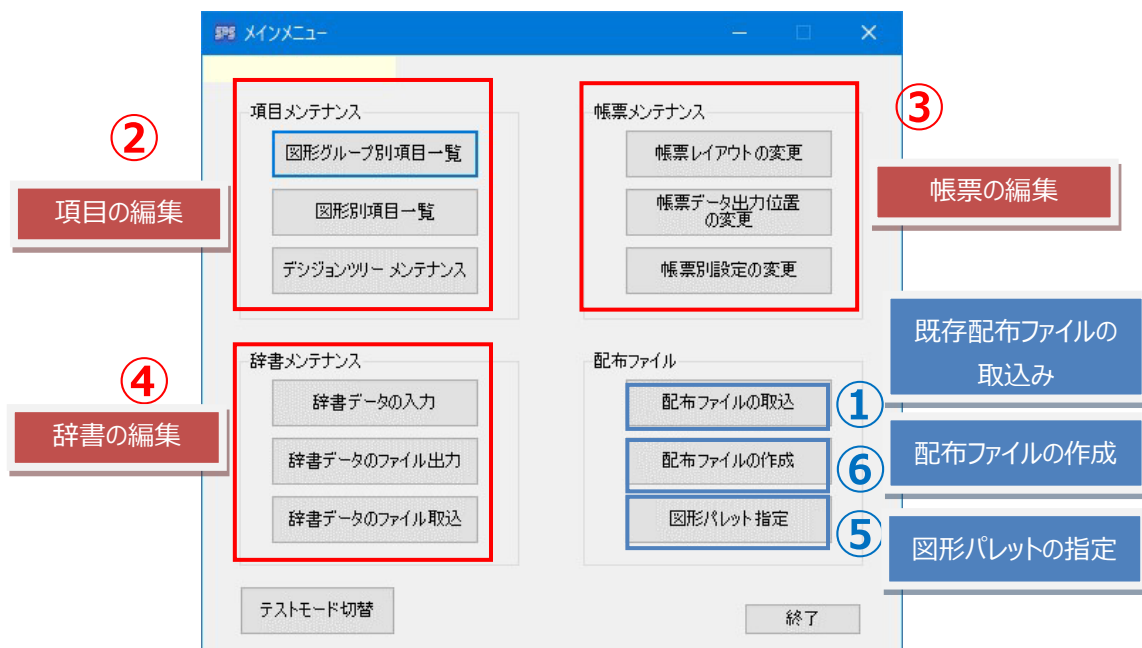
管理者キットの主な機能は以下の通りです。

項目メンテナンス			(→第4章 P16～)
	図形グループ別項目一覧	図形グループごとのプロセス情報（図表）、タブページ、分類、項目の設定を行います。また、図形グループ別にメモ表設定を行います。	
	図形別項目一覧	危害図形別のタブページ、分類、項目の変更を行います。	
	デシジョンツリー メンテナンス	質問の定義	デシジョンツリーの質問内容を定義します。
		表示の設定	デシジョンツリーの質問の応答形式を設定します。
帳票メンテナンス			(→第5章 P58～)
	帳票レイアウトの変更	帳票のテンプレートファイル（Excel形式）を開き、帳票レイアウトを変更します。 設定の「初期化」「復元」を行うことができます。	
	帳票データ出力位置の変更	帳票出力時の項目名の表示・非表示や出力位置の設定を行います。 設定の「初期化」「復元」を行うことができます。	
	帳票別設定の変更	ハザード分析表において危害分析状況の出力有無、分析済の出力文字列の設定を行います。 使用しない帳票の設定を行うことができます。	

辞書メンテナンス		(→第 6 章 P73～)
	辞書データの入力	HACCP図形入力時に辞書入力が行えるよう、あらかじめ図形別（原材料、工程、生物危害、化学危害、物理危害、品質、統合危害、アレルギー危害）に辞書内容を登録します。
	辞書データのファイル出力	管理者キットの辞書データをExcelファイルに出力します。
	辞書データのファイル取込	Excelファイルの辞書データを管理者キットに取り込みます。
配布ファイル作成		(→第 7 章 P79～)
	配布ファイルの取込	配布ファイルから定義情報を管理者キットに取り込むことができます。設定の初期化も行うことができます。
	配布ファイルの作成	管理者キットの定義情報を配布ファイルとして保存します。
	図形パレット指定	iGrafxテンプレートにデフォルト表示する図形パレットを指定します。
その他		(→第 2 章 P12～)
	テストモード切替	管理者キットの設定を一時的に同じPCにインストールされているHACCPクリエータに同期させることができ、設定内容を確認しながらカスタマイズができます。

HACCPクリエータ管理者キットの使用手順

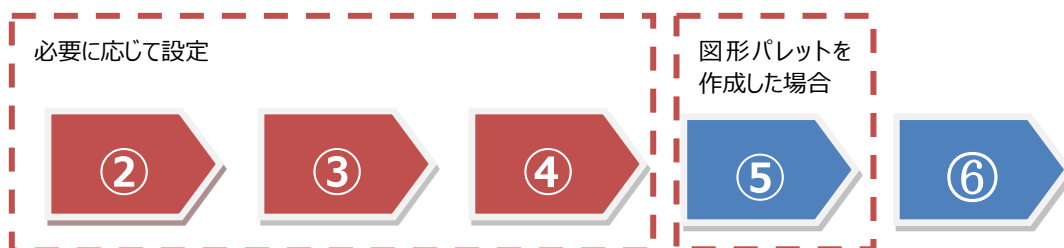
管理者キットでは、いくつかのカスタマイズ機能を持っていますが、ここでは目的に応じた使用手順を簡単に説明します。



1. 初めて配布ファイルを作成する場合

(項目を変更後、帳票フォーマットの変更と辞書登録を行って配布ファイルを作成します。)

※自社用の図形集を作成した場合は、iGrafx テンプレートにデフォルトの図形パレット(自社用の図形集)を指定する⑤の操作を行います。



2. 既存の配布ファイルまたは他のPCで定義設定を行った配布ファイルを更新する場合指定



HACCPクリエータ管理者キットを効率的にご利用頂くために

管理者キットでカスタマイズした定義情報は、配布ファイルを作成して iGrafx の HACCP メニューで取り込むことによって、カスタマイズした定義データが反映され、設定内容を確認することができます。

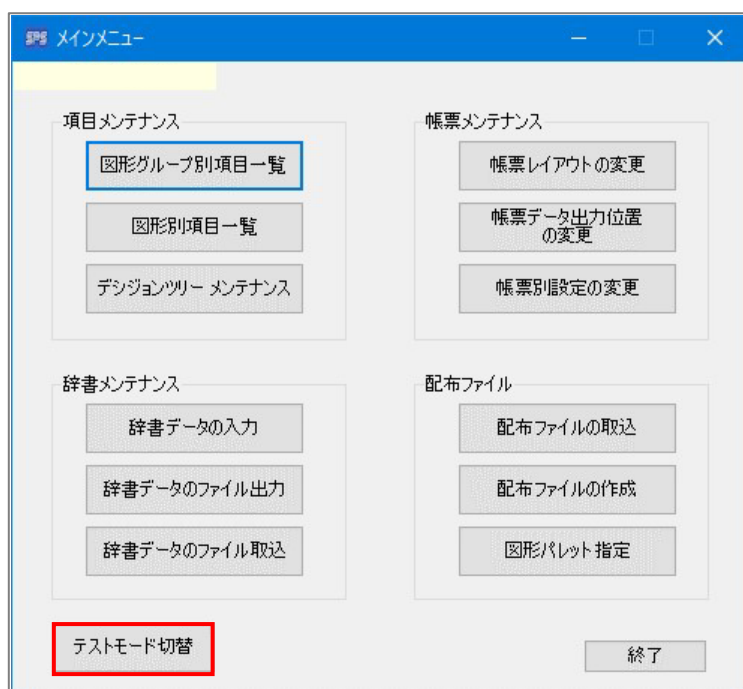
しかし、カスタマイズの際に配布ファイルの作成、取り込みの繰り返しは大変な作業となります。

管理者キットでは、HACCP クリエータに配布ファイルを取り込まずにカスタマイズした内容を反映させ、画面および帳票を確認することができる「テストモード切替」の機能を備えています。

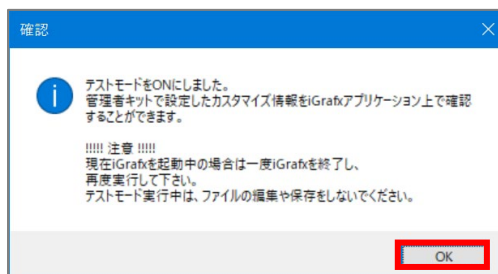
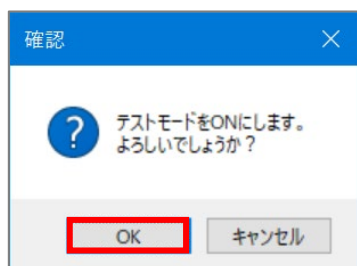
テストモード切替

テストモード切替を適用すると、同じ PC にインストールされている HACCP クリエータが管理者キットの設定に同期して動作します。

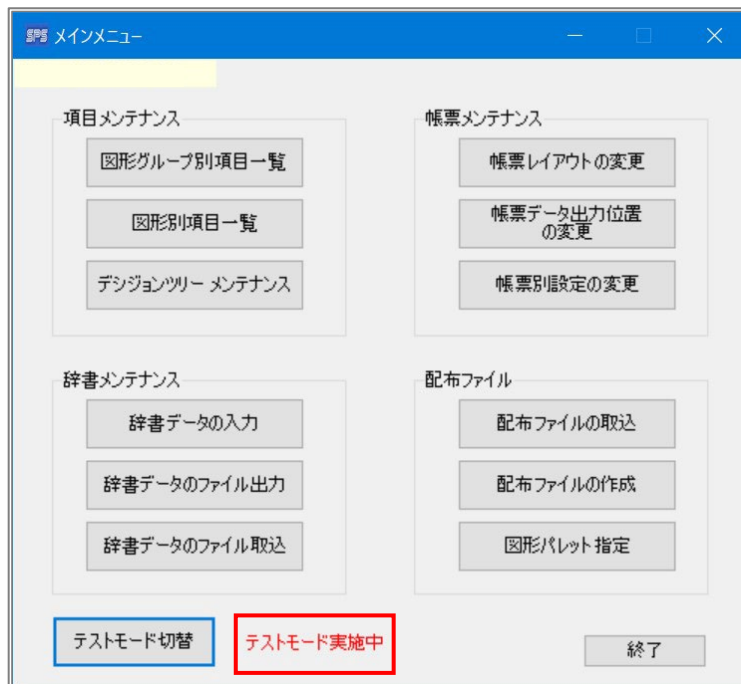
- ① メインメニューの「テストモード切替」ボタンをクリックします。



- ② 確認メッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。



③ 管理者キットのメインメニューに「テストモード実施中」と表示されます。



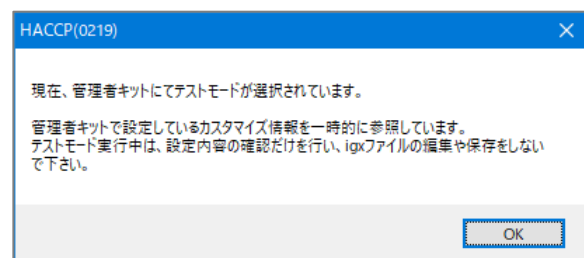
テストモード設定は、「テストモード切替」ボタンをもう一度クリックまたは管理者キットを終了するまで有効です。
テストモードの間は、設定内容の確認のみを行い、フローチャートの編集や保存を行わないようにしてください。

※iGrafx を起動したままテストモードを実行した場合は、iGrafx を再起動し、新しい文書を開く、または、変更可能なフローダイアグラムを開いて確認してください。

テストモード実行中のメッセージと確認方法

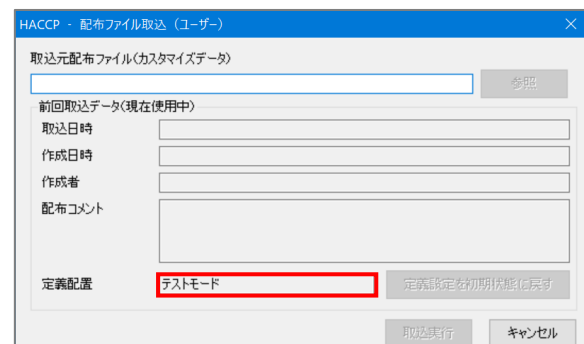
iGrafxツールを起動した場合

テストモード実施中に iGrafx を起動した場合、起動時にメッセージが表示されます。
メッセージ確認し「OK」ボタンをクリックしてください。



HACCPクリエイタの画面で確認する場合

フローダイアグラムを編集集中にテストモードであることを確認する場合は、「HACCP」メニューの「バージョン情報」を開き、「配布ファイル取込」ボタンをクリックすると「定義配置」に「テストモード」と表示されます。



第3章 配布ファイルの取込み

「配布ファイルの取込」機能は、既に存在する配布ファイルを取込み、以前の設定内容を引継ぎます。
この機能は、以下のようなケースに使用します。

- HACCP クリエータのバージョンアップに伴い、配布ファイルのバージョンアップを行う場合、旧バージョンの定義情報を最新バージョンの管理者キットに取り込みます。
- PC の入れ替えがあった場合、新しい PC にインストールした管理者キットに最新の配布ファイルを読み込み、以前の PC で作成していた設定を引き継ぎます。
- 配布ファイル作成者が変更になった場合、以前の担当者が作成した配布ファイルを新しい担当者の管理者キットに読み込み、以前の担当者が作成していた設定を引き継ぎます。
- 配布ファイルが以前のバージョンの場合、バージョンアップを行います。
バージョンアップは Ver3.0.0 以降が対象となります。

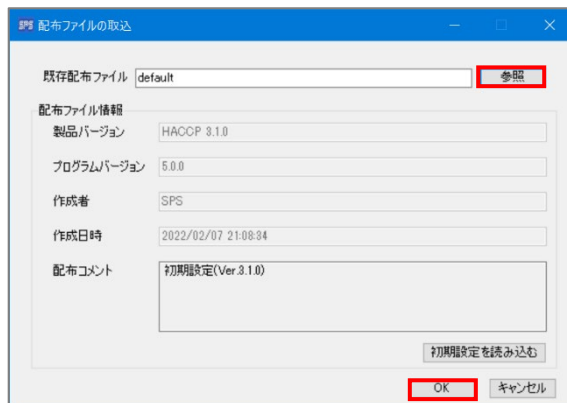
既存配布ファイルの取込み手順

既存の配布ファイルの定義データを取り込む手順は以下の通りです。

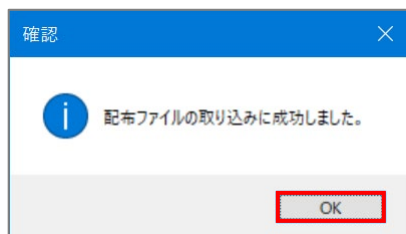
- ① メインメニューの「配布ファイルの取込」ボタンをクリックし、「配布ファイルの取込」ダイアログボックスを開きます。



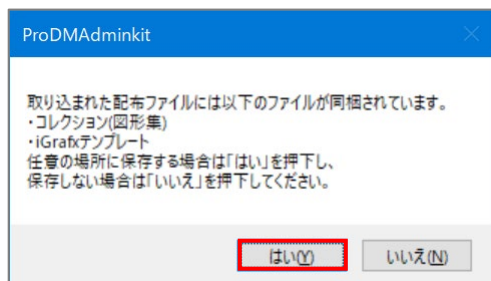
②「参照」ボタンより取込み対象の配布ファイルを指定し、「OK」ボタンをクリックします。



③ 取込完了すると以下のメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックします。



④ 配布ファイルに図形集とiGrafxテンプレートが含まれている場合は、以下のメッセージが表示されます。保存する場合は「はい」をクリックし、保存先を指定します。



「配布ファイルの取込」ダイアログボックスの各項目は以下の通りです。

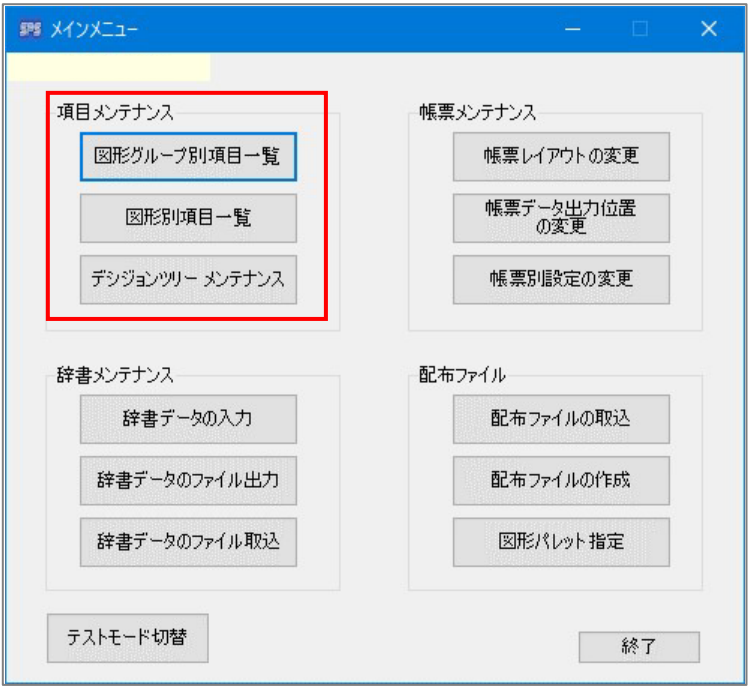
内容	説明
既存配布ファイル	取込対象の配布ファイルを指定します。
配布ファイル情報	指定した配布ファイルの詳細データが表示されます。(変更不可)
初期設定を読み込む	すべての設定内容を初期状態に戻します。 ※処理後「OK」ボタンをクリックすることで初期状態に戻す処理が実行されます。

※テストモードを実行している場合、配布ファイルの取込みは行えません。

テストモードを終了し、「配布ファイルの取込」を行ってください。

第 4 章 項目メンテナンス

HACCP 図形の入力項目の編集や追加とデシジョンツリーの使用や内容を編集します。

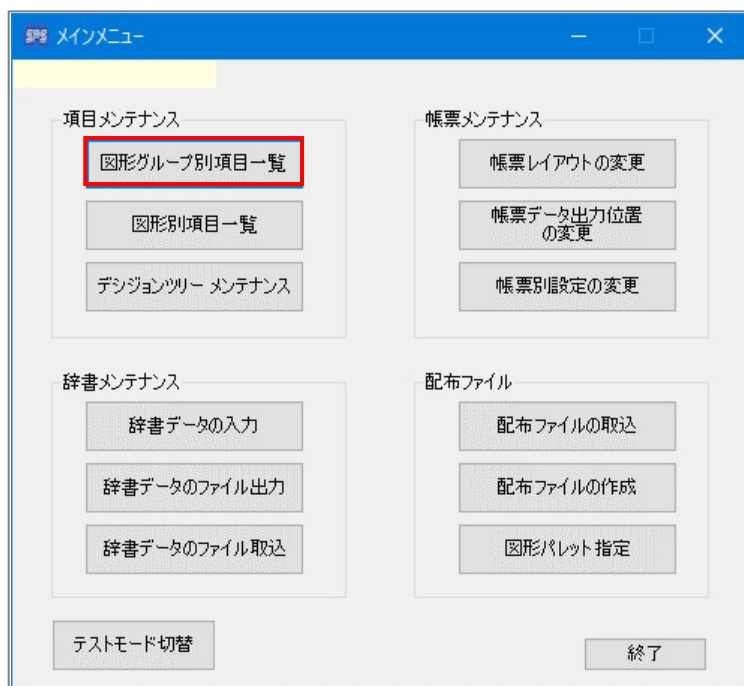


項目メンテナンスの機能は以下の通りです。

名称	説明
図形グループ別項目一覧	HACCP図形の図形グループ別にプロセス情報(図表)、タブページ、分類、項目の設定を行います。 ・図形グループのメモ表示設定 ・追加、変更、削除、並び替え ・項目の使用／不使用、必須入力の設定 ・項目の入力形式、桁数の指定
図形別項目一覧	図形グループ別項目一覧で定義された危害図形別（生物危害、化学危害、物理危害、品質、統合危害、アレルギー危害）にタブページ、分類、項目の設定を行います。 ・名称変更 ・項目の使用／不使用 ・入力桁数の変更
デシジョンツリー メンテナンス	デシジョンツリー入力項目に表示する質問内容と回答結果の結果値を設定します。

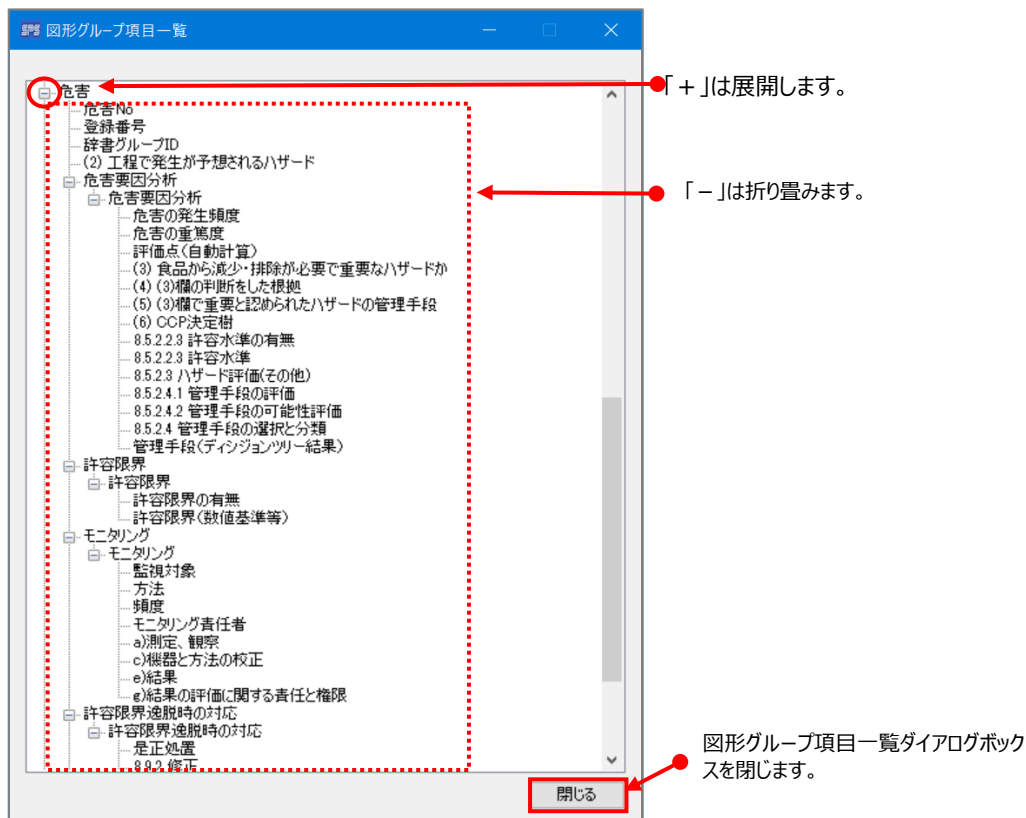
図形グループ別項目一覧

図形グループ別に文書情報と HACCP 図形の登録画面をカスタマイズします。



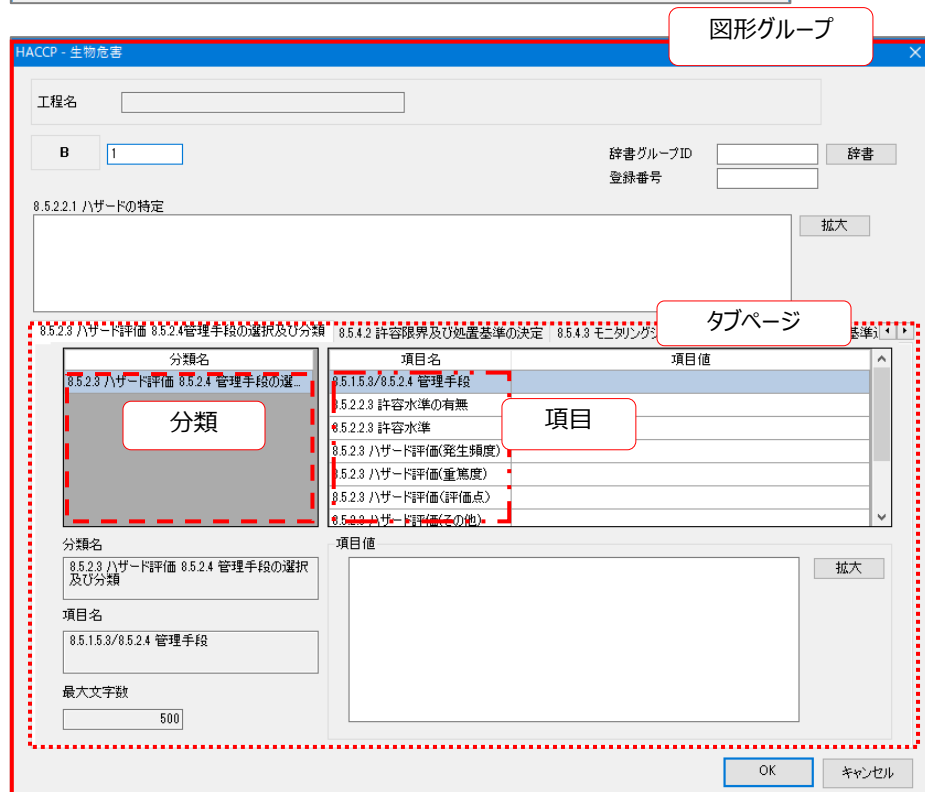
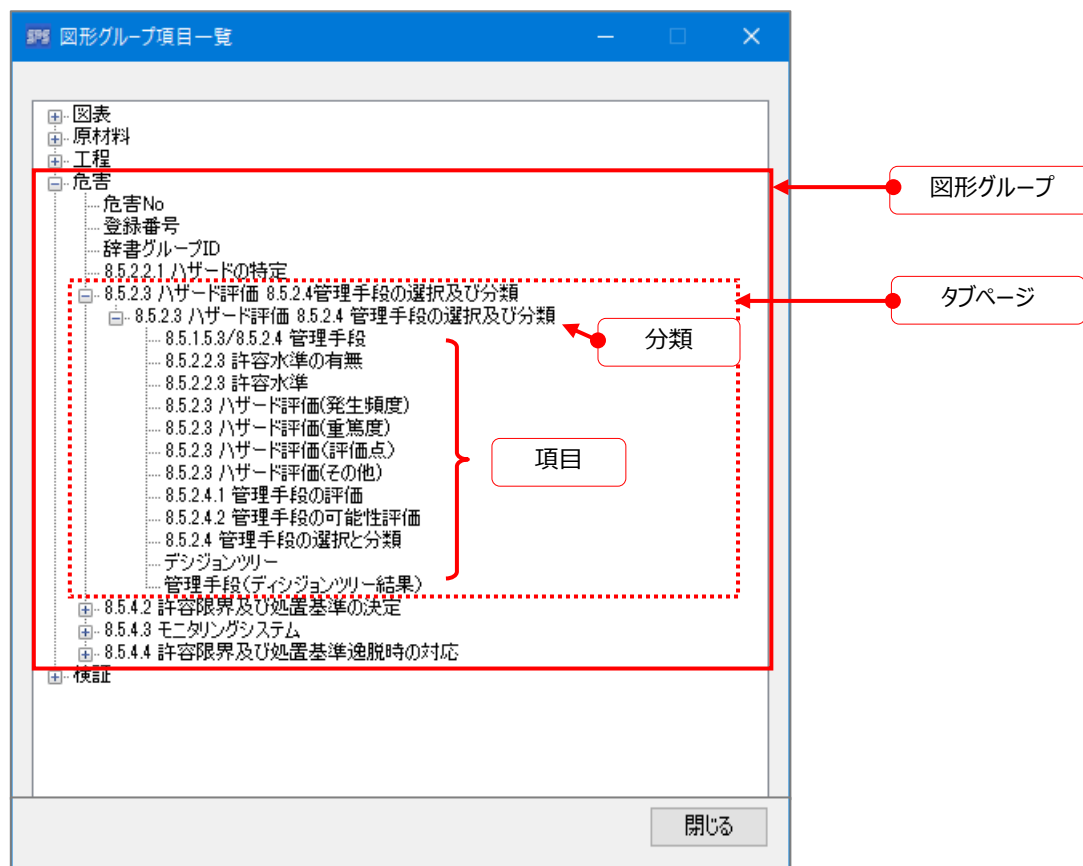
図形グループ項目一覧の選択方法

対象項目の「+」「-」をクリックすると、詳細な項目箇所をツリー構造で表示します。



ツリー構造の見方

ツリー構造は以下の階層で構成され、ダイアログボックスのタブ名、分類名、項目名を示しています。

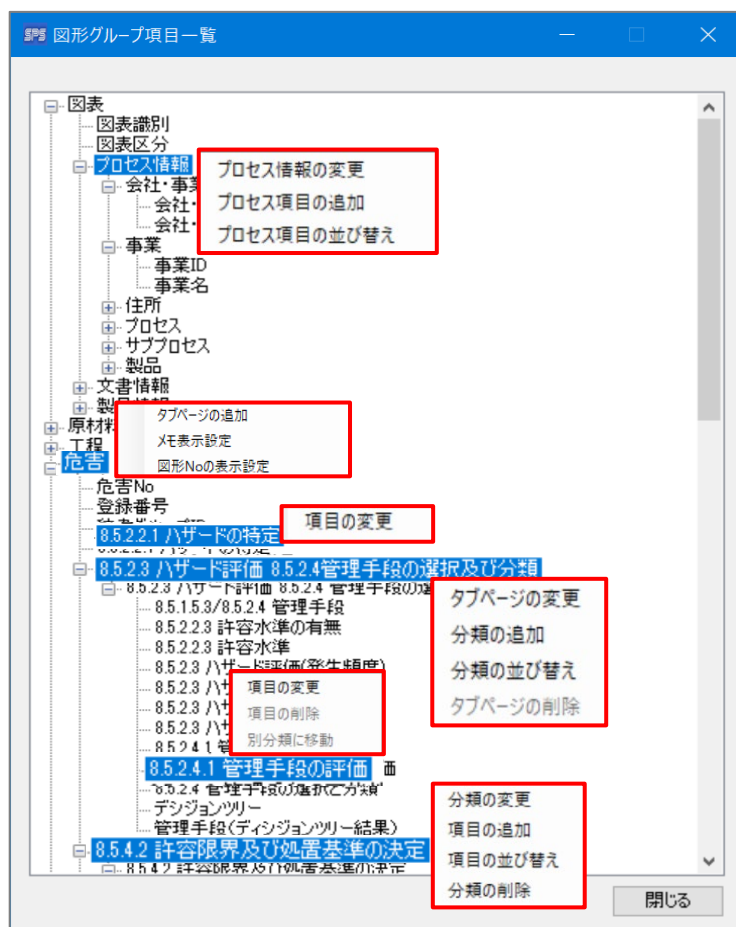


階層名	説明
図形グループ	HACCP図形のグループです。 図形グループには以下の文書情報、HACCP図形を含みます。 ・図表：文書情報 ・原材料：原材料 ・工程：再利用・アウトソース、一般区域、汚染区域、準清潔区域、清潔区域 ・危害：生物危害、化学危害、物理危害、品質、統合危害、アレルギー危害 ・検証：検証
タブページ	HACCP図形グループ内の図形ダイアログボックスに表示されるタブページを指定します。
分類	タブページ内の分類名を指定します。 なお、図表グループのプロセス情報にはタブページはありません。
項目	図形グループ内や分類内の項目名を指定します。 HACCP図形ダイアログボックスに登録する入力項目を指定します。

編集メニューの操作

「図形グループ項目一覧」のツリー内を右クリックすると操作可能な編集メニューが表示されます。

項目の階層により表示される編集メニューが異なり、操作できない項目はグレーアウト表示されます。



「編集メニュー」の主な機能は以下の通りです。

編集メニュー名	説明
プロセス情報の変更	プロセス情報の項目名を変更
プロセス項目の追加、並び替え	プロセス情報の項目の追加、並び替えをします。
タブページの追加、変更、削除	タブページの追加、編集、削除を変更します。
メモ表示設定	図形メモ表示（ポップアップ表示）の設定を変更します。
図形Noの表示設定	図形のナンバーをゼロ埋めの表示設定を変更します。
分類の追加、変更、削除、並び替え、	分類の追加、編集、削除、並び替えをします。
項目の追加、変更、削除、並び替え	項目の追加、編集、削除、並び替えをします。
別分類に移動	タブページ内に複数の分類がある場合、項目を別分類に移動します。

使用可能な最大項目数

プロセス：最大 10 個

タブ：最大 10 個

分類：1つのタブにつき最大 20 個

項目：1つの分類に最大 25 個

※各項目の最大数から、使用している数を引いた項目数を追加することができます。

図表グループ別の編集

図形グループ別に登録画面をカスタマイズします。

プロセス情報の編集

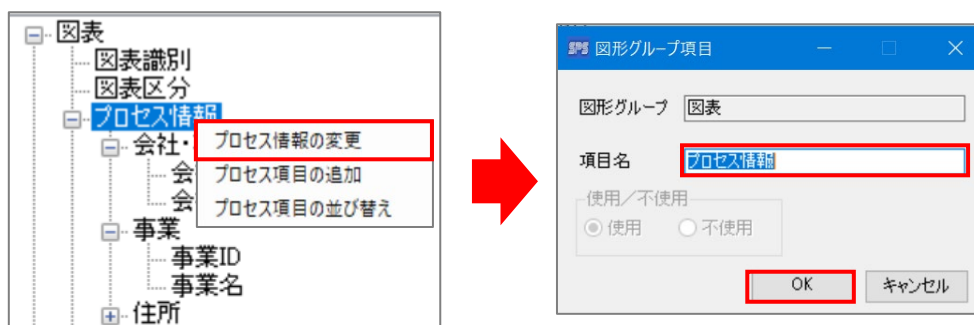
文書情報ダイアログボックスのプロセス情報名の変更、追加、並び替えをします。

図表グループ以下の「プロセス情報」を右クリックして「プロセス情報の変更」を選択するとダイアログボックスが表示されます。この時、操作できない項目はグレーアウト表示されます。

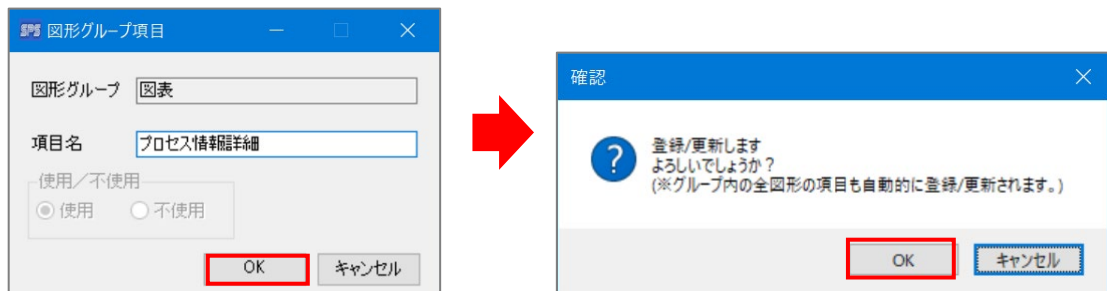
プロセス情報の変更

「プロセス情報の変更」はプロセス情報の項目名を変更します。

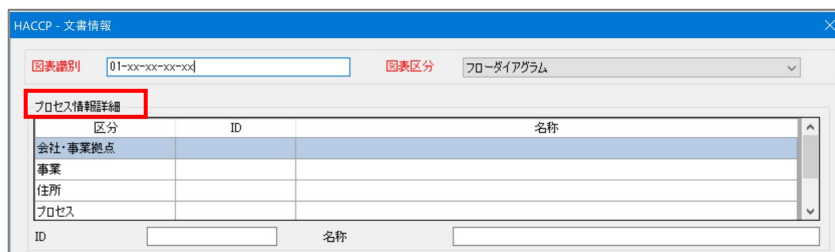
①「プロセス情報」を右クリックし、「プロセス情報の変更」を選択して項目名を変更します。



- ② 設定内容を変更後、「OK」ボタンをクリックします。
- ③ 確認メッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックして登録します。



設定された内容は HACCP クリエイト上の文書情報ダイアログボックスに表示されます。



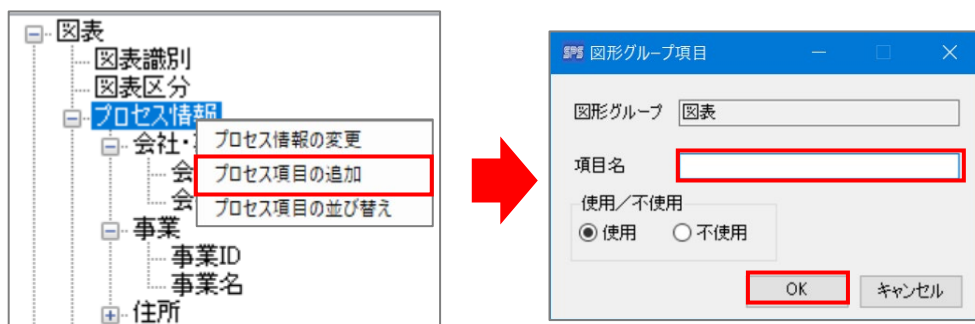
「図形グループ項目」ダイアログボックスの各項目は以下の通りです。

内容	説明
図形グループ	選択した項目の図形グループを表示します。(変更不可)
項目名	選択したプロセス情報名を指定します。(最大文字数：50)
使用／不使用	— (操作できません。)

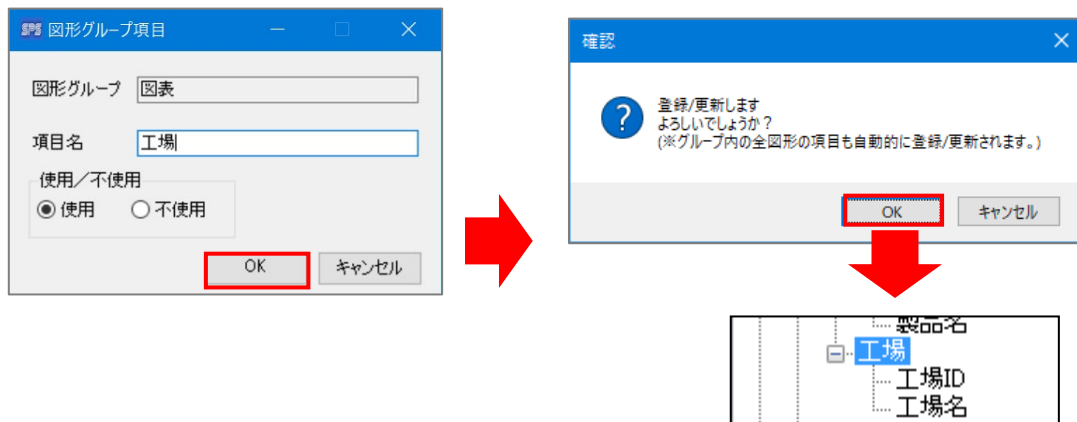
プロセス項目の追加

「プロセス情報」は、プロセス情報に新たに項目を追加します。項目を追加するとプロセス情報名以下に ID、名称が追加されます。

- ① 図表グループ以下のプロセス情報タブを右クリックし、「プロセス項目の追加」を選択して「図形グループ項目」の項目名を入力します。



- ② 設定内容を変更後、「OK」ボタンをクリックします。
- ③ 確認メッセージが表示されますので「OK」ボタンをクリックして登録します。



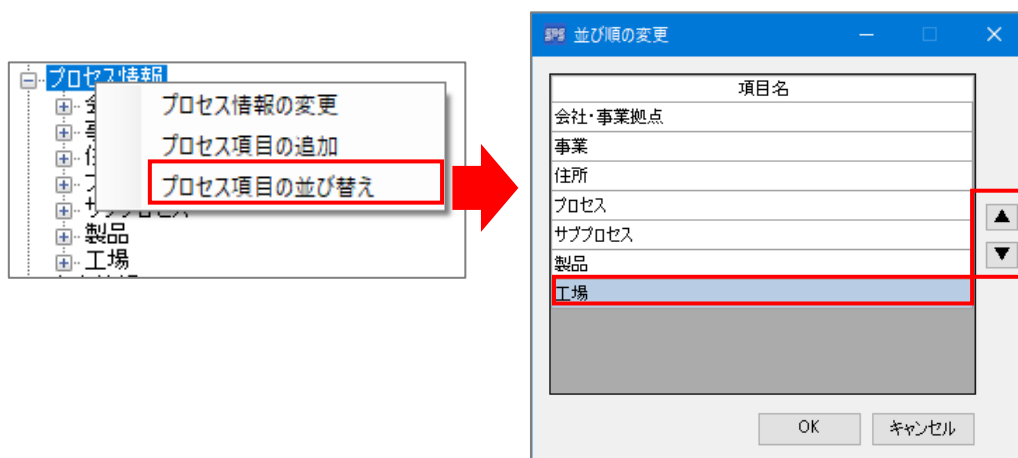
「図形グループ項目」ダイアログボックスの各項目は以下の通りです。

内容	説明
図形グループ	選択した項目の図形グループを表示します。(変更不可)
項目名	プロセス情報以下に追加する項目を指定します。(最大文字数：50)
使用／不使用	ダイアログボックスへの表示／非表示を設定します。

プロセス項目の並び替え

「プロセス項目の並び替え」は、プロセス情報の項目名を並び替えます。

- ① 「プロセス情報」を右クリックし、「プロセス項目の並び替え」を選択します。
- ② 「並び順の変更」ダイアログボックスの項目名を選択し、上下の矢印ボタンをクリックし移動します。



項目名は HACCP クリエータの文書情報ダイアログボックスのプロセス情報内に表示されます。

「並び順の変更」ダイアログボックスの各項目は以下の通りです。

内容	説明
項目名	HACCP文書情報ダイアログボックス内に表示されるプロセス情報の項目順を指定します。 項目を選択して▲▼で順番を入れ替えます。

図形グループ別の編集

図形グループ別（図表、原材料、工程、危害、検証）に登録画面をカスタマイズします。

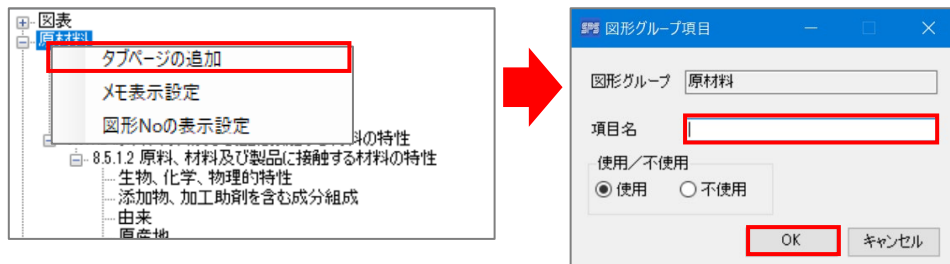
図形グループ名称（図表、原材料、工程、危害、検証）を右クリックすると編集メニューを選択できます。

タブページの追加

「タブページの追加」は、ダイアログボックス内に新たにタブページを追加します。

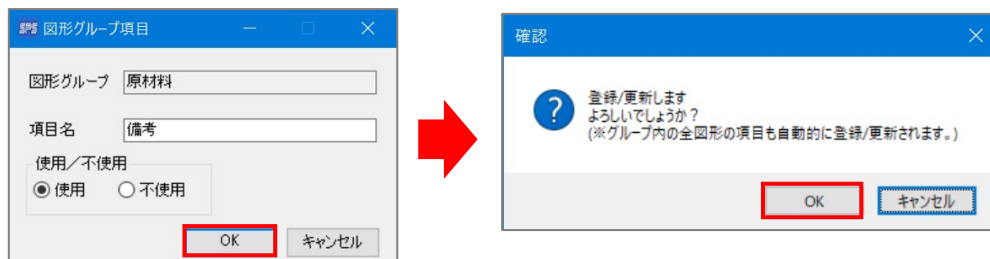
タブページには、分類と項目を追加します。（P28、P32）

① 図形グループ名を右クリックし、「タブページの追加」を選択して項目名を入力します。



② 項目名を入力後、「OK」ボタンをクリックします。

③ 確認メッセージが表示されますので「OK」ボタンをクリックして登録します。



「図形グループ項目」ダイアログボックスの各項目は以下の通りです。

内容	説明
図形グループ	選択した項目の図形グループを表示します。(変更不可)
項目名	選択した図形グループ以下に追加するタブページ名を指定します。(最大文字数：50)
使用/不使用	ダイアログボックスへの表示/非表示を設定します。

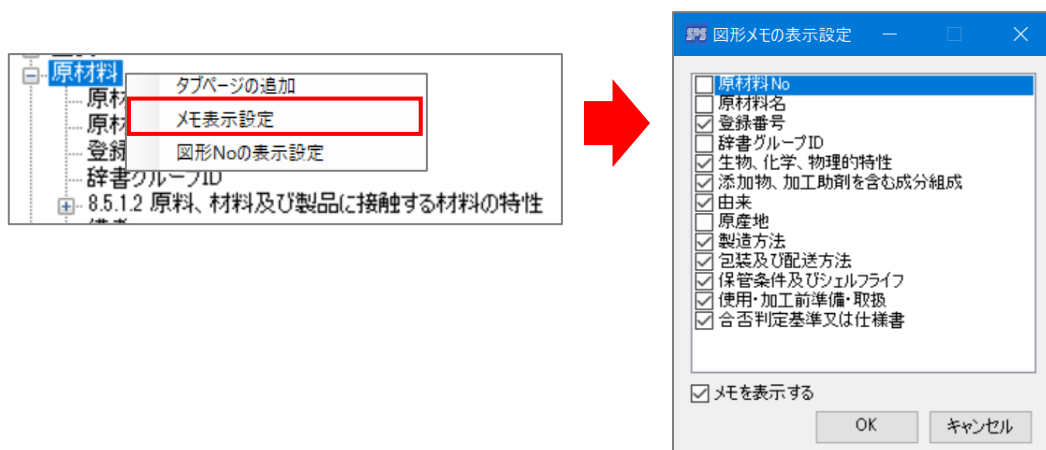
メモ表示設定

フローダイアグラムの各図形にマウスポインタを重ねた時に表示する「ポップアップ表示」機能の表示項目を設定します。

図形グループ別 (原材料、工程、危害、検証) に設定します。図表グループにはメモ表示設定は選択できません。

① 図形グループ名を右クリック、「メモ表示設定」を選択します。

② 「図形メモの表示設定」ダイアログボックスの項目にチェックを入れ表示される項目を設定します。



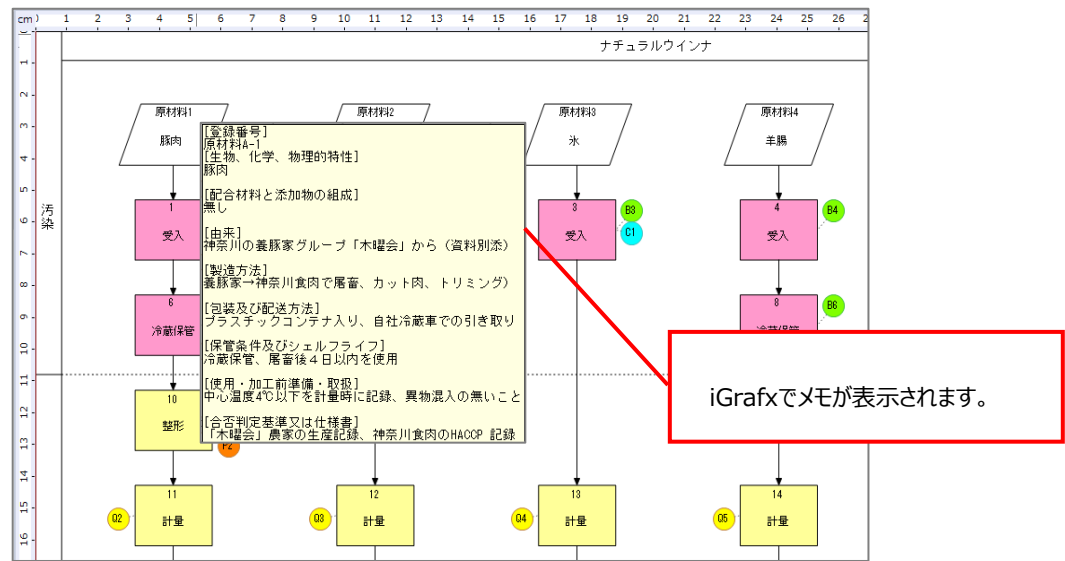
※ポップアップ表示を使用しない場合は、「メモ表示する」のチェックをオフに設定します。

「図形メモの表示設定」ダイアログボックスの各項目は以下の通りです。

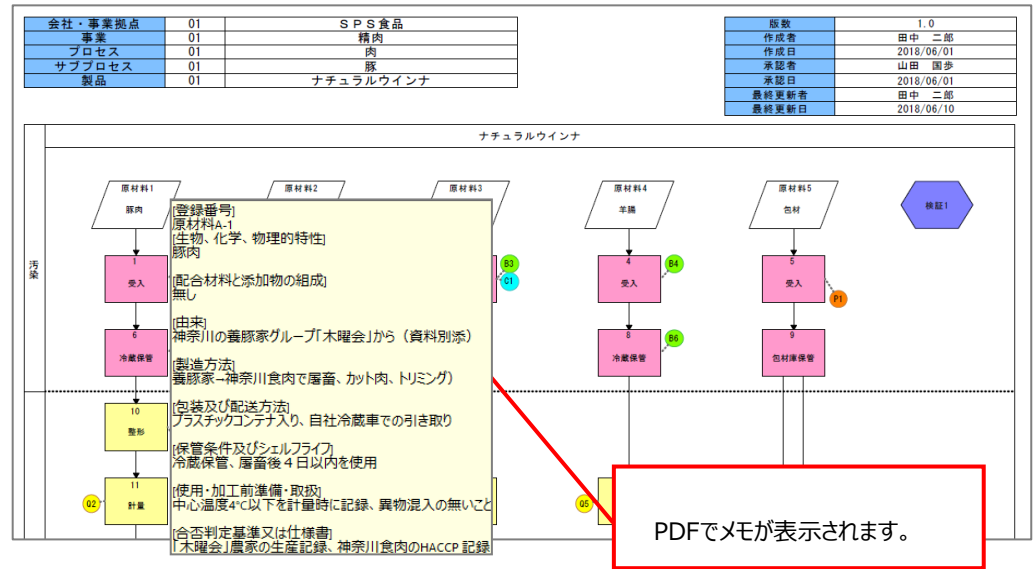
項目タイプ	説明
項目名	図形メモに表示する項目名を指定します。
メモを表示する	フローチャート上の対象図形にマウスポインタを移動することでメモを表示します。

メモ表示設定を行うことで、iGrafx 上で対象グループの図形にマウスポインタを合わせると設定された項目がポップアップ表示されます。これにより、ダイアログボックス表示機能を持たない他のファイル形式に出力された図表（PDF 出力）においても、登録された「内容」をポップアップ表示できるようになります。

(iGrafx 画面)



(PDF 画面)



図形Noの表示設定

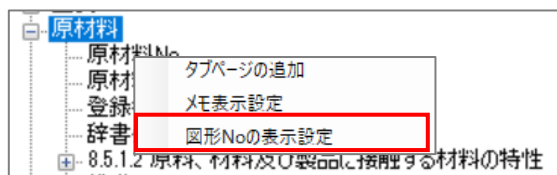
各種図形のナンバーをゼロ埋めして表示することができます。

ナンバーは 2 桁表示から 4 桁表示の間で選択できます。

例) ゼロ埋めして 2 桁で表示する場合

The diagram illustrates the application of zero-padding to the figure number. On the left, a box contains the number '01'. On the right, a process flow diagram shows a box labeled '前工程' (Previous Process) and a box labeled '01' with a '手順' (Procedure) label below it.

- ① 図形グループ名を右クリックし、「図形Noの表示設定」を選択します。
- ② 図形のナンバーをゼロ埋めで表示させる場合「ナンバーをゼロ埋め表示する」にチェックを入れ、表示させたい桁数を入力します。（2から4の数字）



The screenshot shows the '図形Noの表示設定' (Figure No. Display Setting) dialog box. The checkbox '図形Noをゼロ埋め表示する' (Zero-pad Figure No. for display) is checked. The '桁数' (Number of digits) field is set to '2'. The 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons are at the bottom.

設定されたゼロ埋め表示のナンバーは、出力する帳票にも反映されます。

タブページの編集

タブページの変更または削除、分類の追加や並び替えなどカスタマイズします。

タブページの変更

「タブページの変更」はタブ名の変更、タブの使用／不使用の設定を設定します。

※表示が必須の場合、「使用／不使用」は操作できません。

- ① 対象のタブ名を右クリックし、「タブページの変更」を選択します。「図形グループ項目」ダイアログボックスの「項目名」を変更し「OK」ボタンをクリックします。

- ② 確認メッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックして登録します。

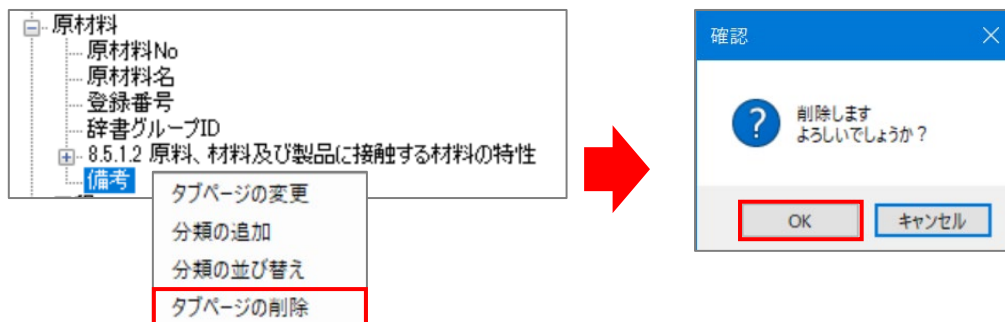
「図形グループ項目」ダイアログボックスの各項目は以下の通りです。

内容	説明
図形グループ	選択した項目の図形グループを表示します。(変更不可)
項目名	タブページ名を変更します。(最大文字数：50)

タブページの削除

「タブページの削除」はタブページを削除します。

- ① 削除対象のタブ名を右クリックし、「タブページの削除」を選択します。
- ② 確認メッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックして登録します。

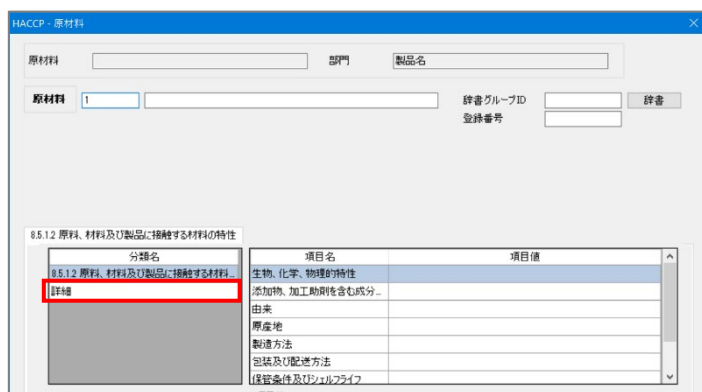


※初期設定されている分類や配下に項目名が存在する場合は削除できません。

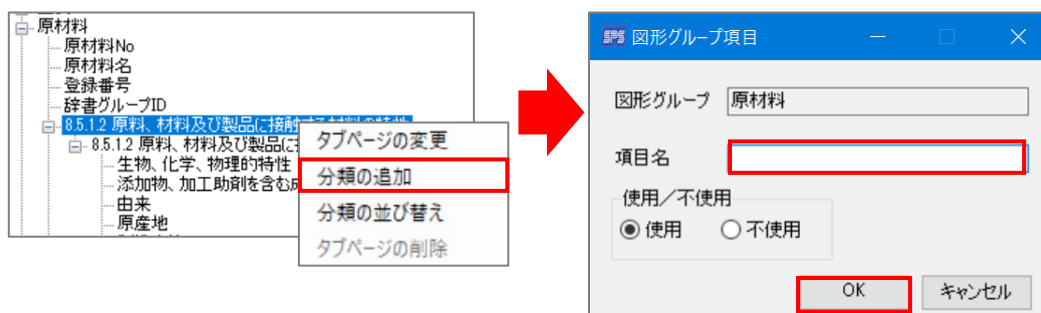


分類の追加

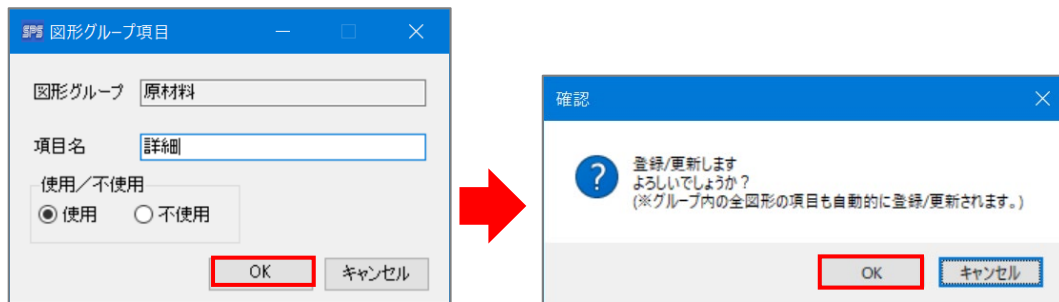
「分類の追加」は各図形グループ以下のタブページに新たに分類名を追加します。



- ① タブページ名を右クリックし、「分類の追加」を選択します。
- ② 「図形グループ項目」ダイアログボックスの項目名を入力し、「OK」ボタンをクリックして登録します。



③ 確認メッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックして登録します。



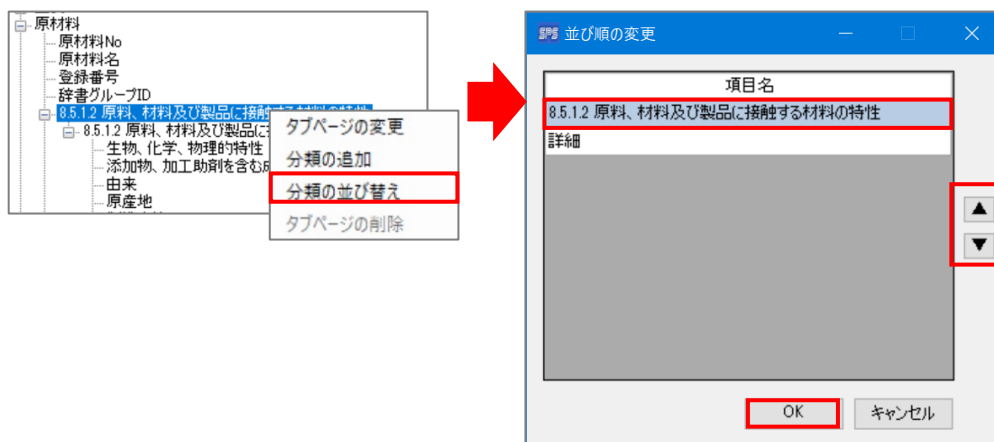
「図形グループ項目」ダイアログボックスの各項目は以下の通りです。

内容	説明
図形グループ	選択した項目の図形グループを表示します。(変更不可)
項目名	分類名を指定します。(最大文字数：50)
使用／不使用	HACCP図形ダイアログボックス上への表示／非表示を設定します。

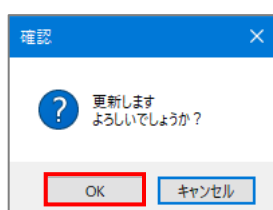
分類の並び替え

「分類の並び替え」は、各図形グループ以下の分類名を並び替えます。

- ① タブページ名を右クリックし、「分類の並び替え」を選択します・
- ② 「並び順の変更」ダイアログボックスの分類名を選択して上下の矢印ボタンをクリックし移動します。
- ③ 設定内容を変更後、「OK」ボタンをクリックします。



④ 確認メッセージが表示されますので「OK」ボタンをクリックして登録します。



「並び順の変更」ダイアログボックスの各項目は以下の通りです。

内容	説明
項目名	選択されているタブページ以下の分類順を指定します。 項目を選択して▲▼で順番を入れ替えます。

分類の変更

「分類の変更」は分類名の変更、使用／不使用を設定します。

- ① 対象の分類名を右クリックし、「分類の変更」を選択します。
- ② 「図形グループ項目」ダイアログボックスの項目名または使用／不使用を変更し、「OK」ボタンをクリックします。

- ③ 設定内容を変更後、「OK」ボタンをクリックします。
- ④ 確認メッセージが表示されますので「OK」ボタンをクリックして登録します。

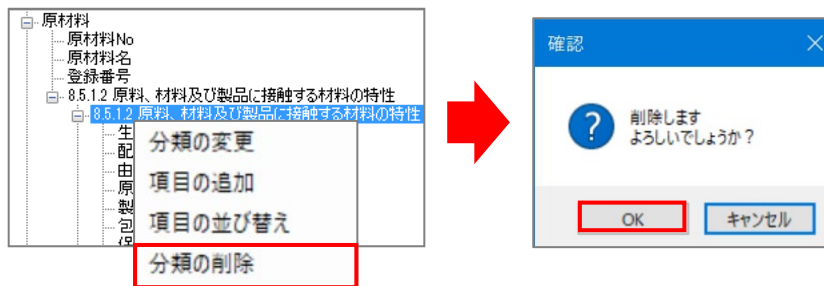
「図形グループ項目」ダイアログボックスの各項目は以下の通りです。

内容	説明
図形グループ	選択した項目の図形グループを表示します。(変更不可)
項目名	分類名を変更します。(最大文字数：50)
使用／不使用	HACCP図形ダイアログボックス上への表示／非表示を設定します。

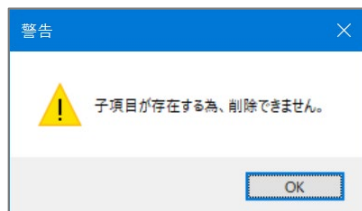
分類の削除

「分類の削除」は分類を削除します。

- ① 対象の分類名を右クリックし、「分類の削除」を選択します。
- ② 確認メッセージが表示されますので「OK」ボタンをクリックします。

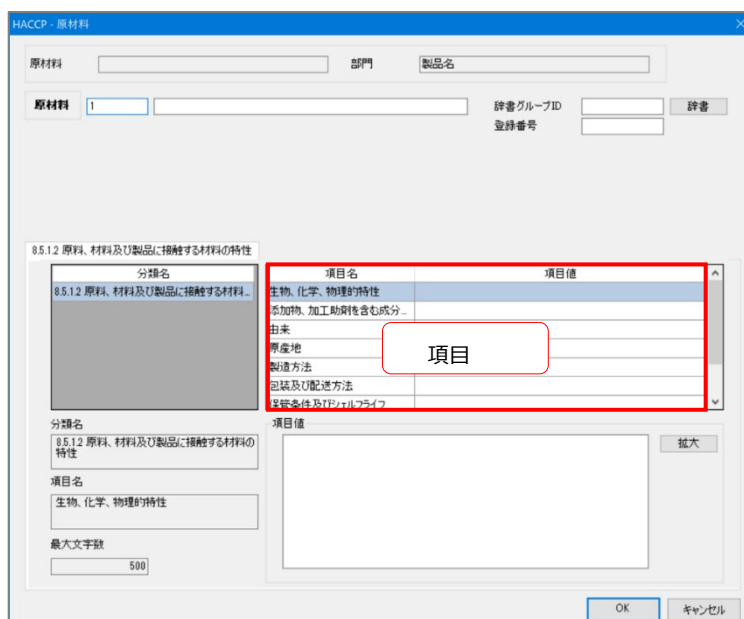


※初期設定されている分類や配下に項目名が存在する場合は削除できません。



項目の編集

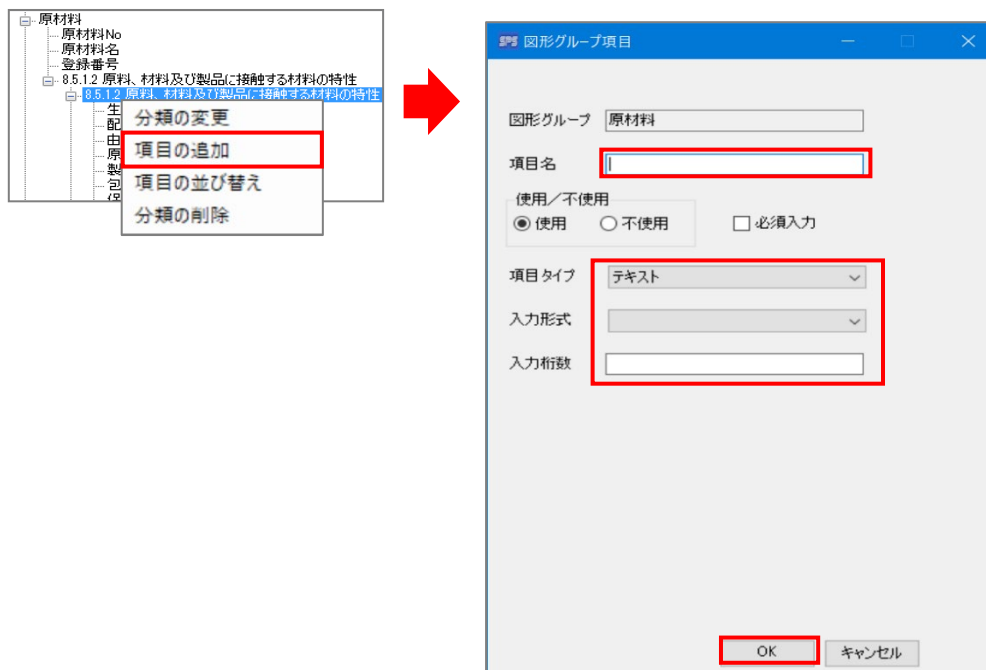
項目の追加、並び替え、項目名の変更、削除などカスタマイズします。



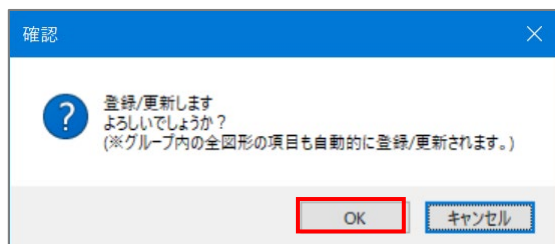
項目の追加

「項目の追加」は分類に新たに項目を追加します。

- ① 分類名を右クリックし、「項目の追加」を選択します。
- ② 「図形グループ項目」ダイアログボックスの「項目名」「項目タイプ」「入力形式」「入力桁数」を入力します。



- ③ 項目名など入力後、「OK」ボタンをクリックします。
- ④ 確認メッセージが表示されますので「OK」ボタンをクリックして登録します。



「図形グループ項目」ダイアログボックスの各項目は以下の通りです。

内容	説明
図形グループ	選択した項目の図形グループを表示します。(変更不可)
項目名	追加する項目名を指定します。(最大文字数：50)
使用／不使用	HACCP図形ダイアログボックス上への表示／非表示を設定します。
必須入力	入力が必要な場合はチェックを入れます。
項目タイプ	項目に入力する際の入力方法を指定します。
入力形式	項目タイプで指定された内容により入力形式を指定します。
入力桁数	項目タイプで指定された内容により入力可能な桁数を指定します。

項目タイプで指定できる内容は以下の通りです。

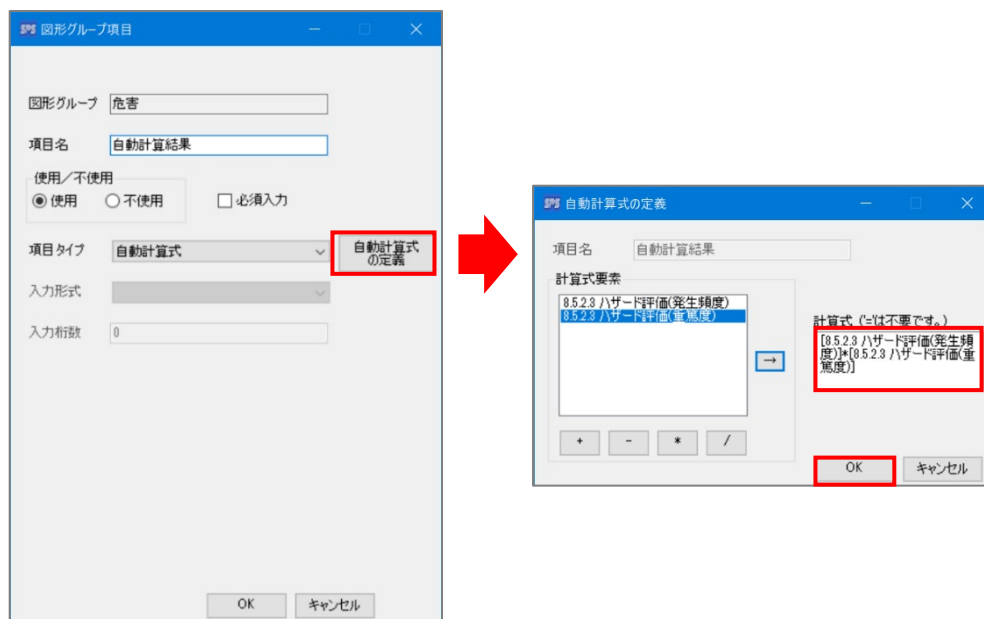
項目タイプ	説明
テキスト	改行を含まないテキスト入力を指定します。
テキスト(複数行)	改行を含むテキスト入力を指定します。
リスト選択(複数)	複数項目が選択できるリストボックスを指定します。
リスト選択(単一)	1項目のみ選択できるリストボックスを指定します。
デシジョンツリー	デシジョンツリー質問入力を指定します。 質問分岐の設定ボタンから質問分岐を設定します。
自動計算式	自動計算を行います。 自動計算式の定義ボタンにより計算式を指定します。
クロスマトリックス	評価マトリックスのX軸（横）、Y軸（縦）を指定します。

入力形式で指定できる内容は以下の通りです。

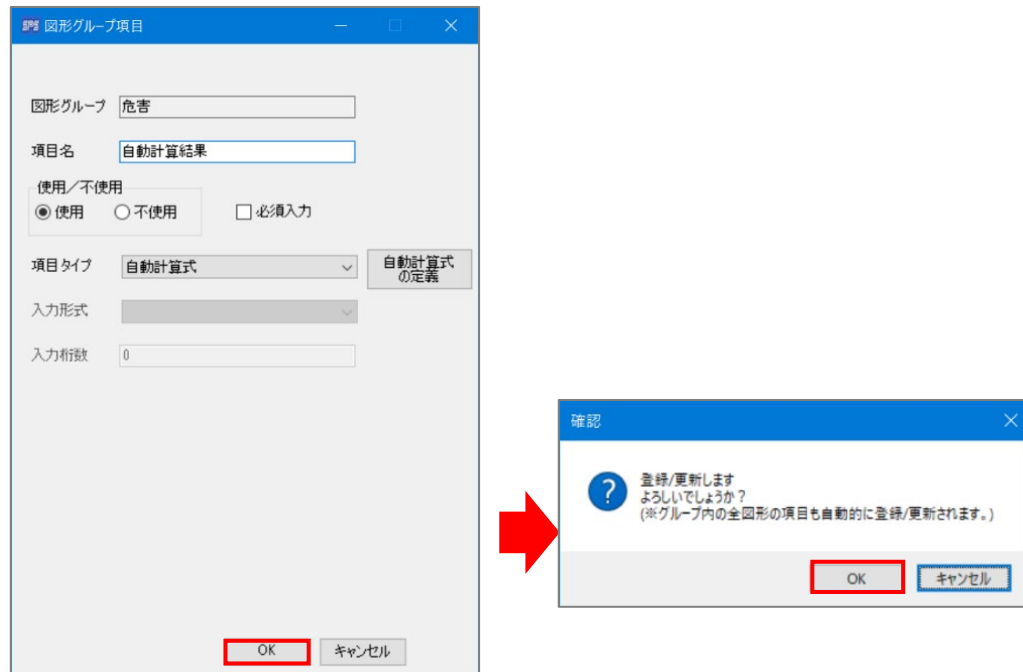
入力形式	説明
指定なし(空白)	入力形式の制限をしません。
半角数字	半角数字のみ入力できます。
半角英数字	半角数字と英数字のみ入力できます。
数値	マイナス、小数点を含む半角数字のみ入力できます。
半角英数字か半角記号【. # - _】	半角英数字と半角記号のみ入力できます。

1. 項目タイプが自動計算式の場合

- ① 「自動計算式の定義」をクリックすると「自動計算式の定義」ダイアログボックスが表示され、計算式を登録することができます。



- ② 計算式を設定後、「OK」ボタンをクリックします。
- ③ 「図形グループ項目」ダイアログボックスが表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。
- ④ 確認メッセージが表示されますので「OK」ボタンをクリックして登録します。



「自動計算式の定義」ダイアログボックスで指定できる内容は以下の通りです。

内容	説明
項目名	図形グループ項目ダイアログボックスで指定された項目名。(変更不可)
計算式要素	半角数字と数値入力の項目が表示されます。 項目を選択して→をクリックすると計算式テキストボックスに項目名を記述します。
+ - * /	指定した演算記号を計算式テキストボックスに記述します。
計算式	該当の項目名に設定する計算式を記述します。「=」は不要です。 計算式に不正がある場合、自動計算が正しく行われない場合があります。

2. クロスマトリックス

評価マトリックスを登録してハザード評価点を算出することができます。

- ① 項目タイプに「クロスマトリックス」を選択し、「マトリックスの設定」ボタンをクリックします。
- ② 「クロスマトリックス入力」ダイアログボックスのX軸（横）Y軸（縦）をリストより選択し、「決定」ボタンをクリックします。
※X軸（横）Y軸（縦）のリストに表示される項目は、項目タイプが「リスト選択(単一)」の項目名が表示されます。

図形グループ項目

図形グループ 危害

項目名

使用/不使用
☒ 使用 ☐ 不使用 ☐ 必須入力

項目タイプ **クロスマトリックス** **マトリックスの設定**

入力形式

入力桁数 0

OK キャンセル

クロスマトリックス入力

適用 リスト初期化 キャンセル

軸とする項目を選択してください

X軸(横) **8.5.2.3 ハザード評価(発生頻度)**

Y軸(縦) **8.5.2.3 ハザード評価(重篤度)** **決定**

- ③ マトリックス登録画面が表示されますので、該当する評価点を登録します。
 ※数値以外も入力可能です。
- ④ 登録は「適用」ボタンをクリックします。
- ⑤ 確認メッセージが表示されますので「OK」ボタンをクリックして登録します。

クロスマトリックス入力

適用 リスト初期化 キャンセル

軸とする項目を選択してください

X軸(横) 8.5.2.3 ハザード評価(発生頻度)

Y軸(縦) 8.5.2.3 ハザード評価(重篤度)

	1	2	3	4	5
1					
2					
3					
4					
5					

→

クロスマトリックス入力

適用 リスト初期化 キャンセル

軸とする項目を選択してください

X軸(横) 8.5.2.3 ハザード評価(発生頻度)

Y軸(縦) 8.5.2.3 ハザード評価(重篤度) **決定**

	1	2	3	4	5
1	高	高	高	9	11
2	高	高	中	12	16
3	高	中	13	17	2...
4	10	14	18	21	23
5	1...	19	22	24	25

↓

確認

? 入力された内容を適用します。
 よろしいでしょうか?
 (※データの確定は「図形グループ項目画面」でOKボタン押下にて行われます。)

OK キャンセル

項目の並び替え

「項目の並び替え」は、項目名を並び替えます。

HACCP - 原材料

原材料: 部門: 製品名:

原材料: 碎書グループID: 碎書:

登録番号:

8.5.1.2 原料、材料及び製品に接触する材料の特性 備考

分類名	項目名	項目値
8.5.1.2 原料、材料及び製品に接触する材料の特性	生物、化学、物理的特性	
	添加物、加工助剂を含む成分	
	由来	
	原産地	
	製造方法	
	包装及び配送方法	
	保管条件及び Shelf Life	

- ① 分類名を右クリックし、「項目の並び替え」を選択します。
- ② 「並び順の変更」ダイアログボックスの項目名を選択し、上下の矢印ボタンをクリックし移動します。
- ③ 設定内容を変更後、「OK」ボタンをクリックします。

並び順の変更

項目名

- 8.5.1.5.3/8.5.2.4 管理手段
- 8.5.2.2.3 許容水準の有無
- 8.5.2.2.3 許容水準
- 8.5.2.3 ハザード評価(発生頻度)
- 8.5.2.3 ハザード評価(重篤度)
- 8.5.2.3 ハザード評価(評価点)
- 8.5.2.3 ハザード評価(その他)
- 8.5.2.4.1 管理手段の評価
- 8.5.2.4.2 管理手段の可能性評価

OK キャンセル

- ④ 確認メッセージが表示されますので「OK」ボタンをクリックして登録します。

「並び順の変更」ダイアログボックスの各項目は以下の通りです。

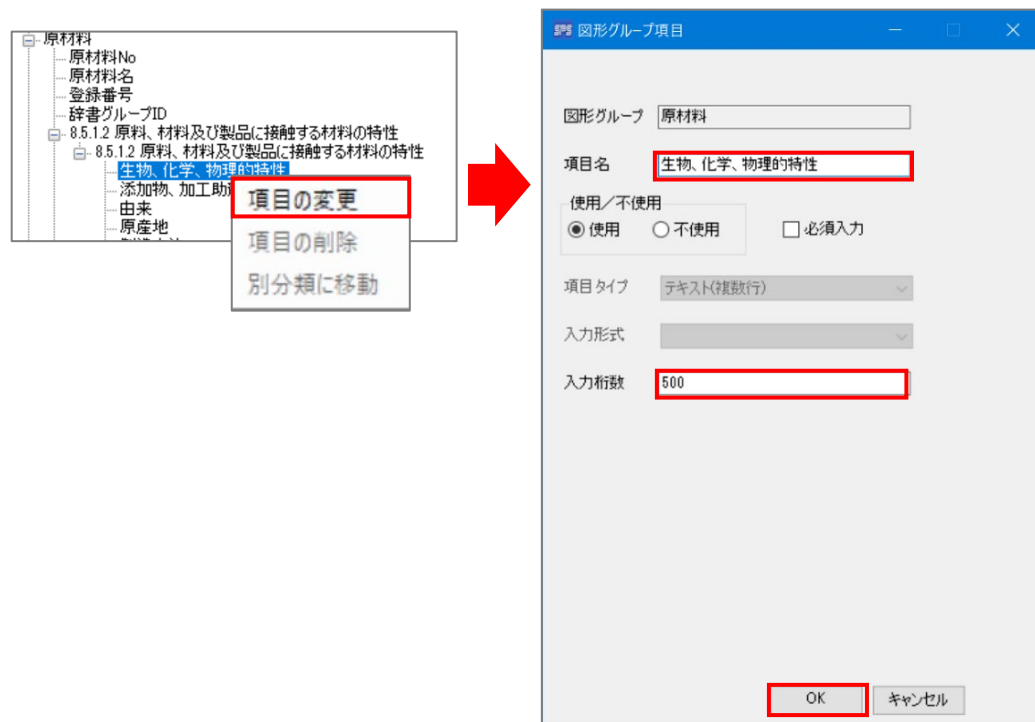
内容	説明
項目名	選択されている分類以下の項目順を指定します。▲▼で順番を入れ替えます。

項目の変更

「項目の変更」は項目名の変更、使用／不使用、入力桁数を設定します。

- ① 項目名を右クリックし、「項目の変更」を選択します。

- ② 「図形グループ項目」ダイアログボックスの「項目名」または使用／不使用、入力桁数を変更し、「OK」ボタンをクリックします。



- ③ 設定内容を変更後、「OK」ボタンをクリックします。
- ④ 確認メッセージが表示されますので「OK」ボタンをクリックして登録します。

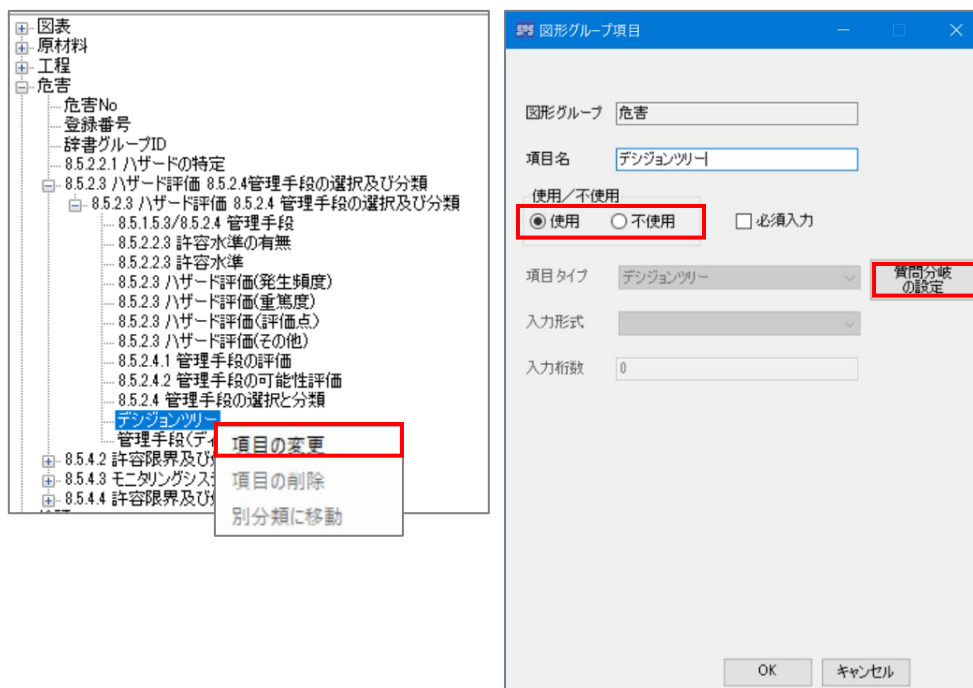
「図形グループ項目」ダイアログボックスの各項目は以下の通りです。

内容	説明
図形グループ	選択した項目の図形グループを表示します。(変更不可)
項目名	変更する項目名を指定します。(最大文字数：50)
使用／不使用	HACCP図形ダイアログボックス上への表示／非表示を設定します。
必須入力	入力が必要な場合はチェックを入れます。
入力桁数	項目タイプで指定された内容により入力可能な桁数を指定します。

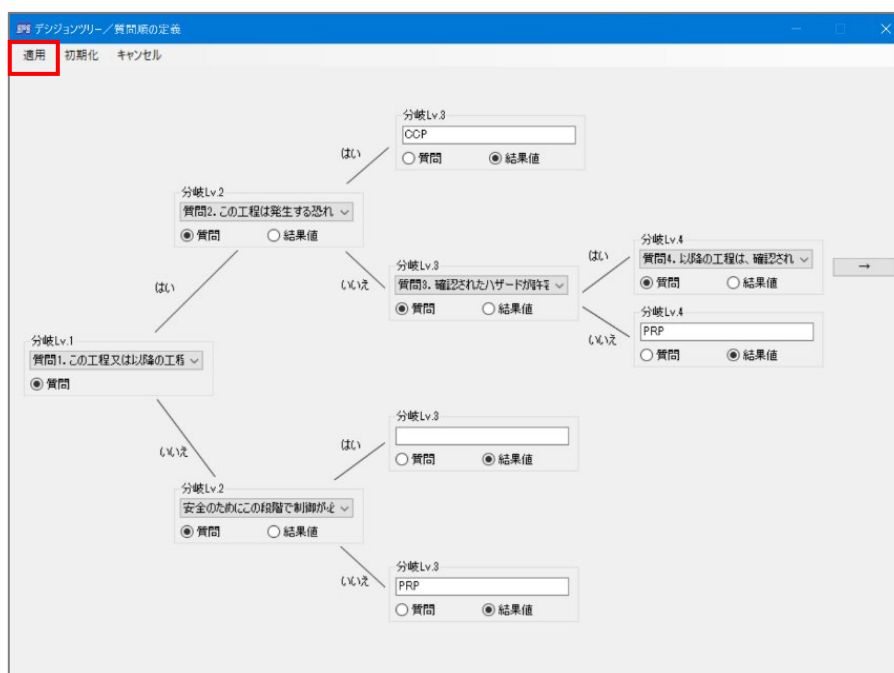
項目の変更（デシジョンツリー）

「デシジョンツリー」を使用する場合は、デシジョンツリーの設定を使用に変更します。

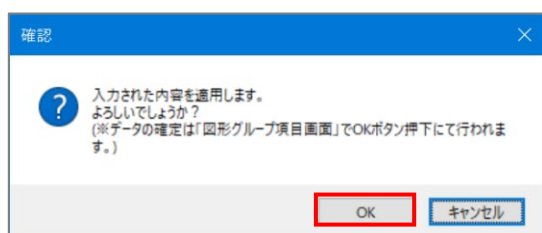
- ① 「デシジョンツリー」を右クリックし、「項目の変更」を選択します。
- 「図形グループ項目」ダイアログボックスの「使用／不使用」を使用クリックし、「質問分岐の設定」ボタンをクリックします。



- ② 「デジジョンツリー／質問順の定義」の分岐Lvごとに「質問」「結果値」を設定し、「適用」を選択します。
 ※質問内容はあらかじめ「デジジョンツリー メンテナンス」機能に登録されている内容がリスト表示されます。



- ③ 確認メッセージが表示されますので「OK」ボタンをクリックして登録します。



「8.5.2.4 管理手段の選択と分類」、または「デシジョンツリー」、「管理手段（デシジョンツリー結果）」の項目にCCPやOPRPと入力した危害の情報を「ハザード管理プラン表.xlsx」、「ハザード管理プラン単票.xlsx」に出力します。

※各帳票の詳細については、帳票の構成(P58)を参照ください。

「8.5.2.4 管理手段の選択と分類」、「デシジョンツリー」、「管理手段（デシジョンツリー結果）」の項目のいずれかの項目を必ず使用するようにしてください。

（上記の項目名称を変更して使用することができます）

※項目の詳細については、危害グループ(P43)を参照ください。

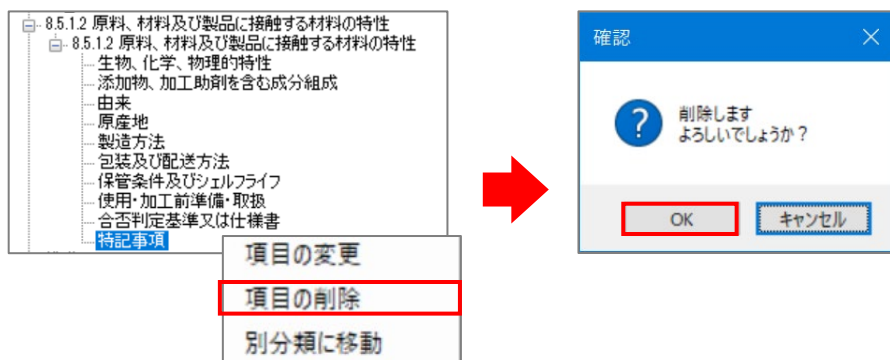
「デシジョンツリー／質問順の定義」ダイアログボックスで指定できる内容は以下の通りです。

内容	説明
適用	設定されたデシジョンツリーの質問順定義を保存します。
初期化	設定されたデシジョンツリーの質問順定義を編集前の状態に戻します。
キャンセル	デシジョンツリー／質問順の定義ダイアログボックスを閉じます。
分岐Lv	質問内容もしくは結果値を指定します。最大Lv.9まで指定できます。 分岐Lv.1は最初の質問となる為、結果値の指定はできません。
質問	デシジョンツリー メンテナンスで定義された質問内容を選択します。 質問が選択されると次の分岐Lvが表示されます。
結果値	質問の結果に対する結果値を指定します。 結果値は自由に指定できますが、主に「OPRP」「CCP」「中止」が設定されることを想定しています。 次の分岐Lvが設定されている状態で質問から結果値に切り替えた場合、次の質問以降のツリーは破棄されます。
→ ←	分岐Lvが多い場合、次のページ,前のページに移動します。

項目の削除

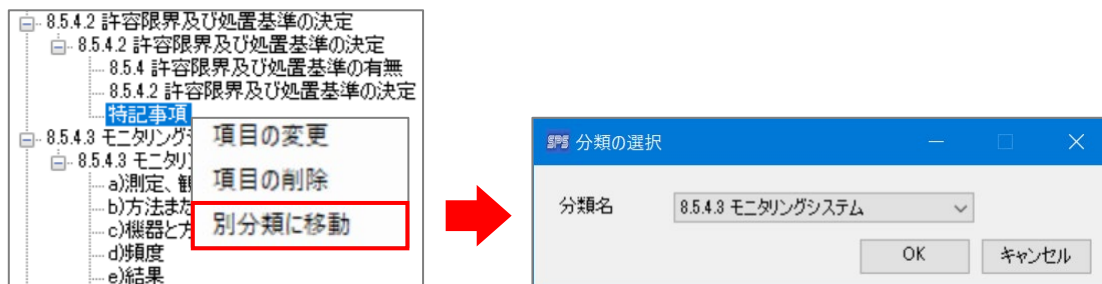
「項目の削除」は、項目を削除します。 ※初期設定時の項目は削除できません。

- ① 項目名を右クリックし、「項目の削除」を選択します。
- ② 削除前に確認メッセージが表示されますので「OK」ボタンをクリックします。



項目の別分類に移動

「項目の別分類に移動」は、同図形グループ内の他の分類に移動します。
※初期設定時の項目は移動できません。



「分類の選択」ダイアログボックスの各項目は以下の通りです。

内容	説明
分類名	移動先の分類名を指定します。 図形グループ内に含まれる分類名が選択できます。

図表グループの定義情報

図表

文書情報ダイアログボックスの中の編集可能項目のデータ定義を行います。

初期設定の項目名	使用／不使用	必須入力	項目タイプ	入力形式	入力桁数
図表識別	使用	○	テキスト	半角英数字 か半角記号 【. #- _】	20
図表区分	使用	○	ドロップダウン	--	10 (データリスト)
プロセス情報					
会社・事業拠点					
会社・事業拠点ID	使用	--	プロセス情報／ID	半角英数字 か半角記号 【. #- _】	4
会社・事業拠点	使用	--	プロセス情報／名称	--	20
事業					
事業ID	使用	--	プロセス情報／ID	半角英数字 か半角記号 【. #- _】	4
事業名	使用	--	プロセス情報／名称	--	20

初期設定の項目名		使用／ 不使用	必須 入力	項目タイプ	入力形式	入力桁数
住所						
	住所ID	未使用	--	プロセス情報／ID	半角英数字 か半角記号 【. #- _】	4
	住所	使用	--	プロセス情報／名称	--	100
プロセス						
	プロセスID	使用	--	プロセス情報／ID	半角英数字 か半角記号 【. #- _】	4
	プロセス名	使用	--	プロセス情報／名称	--	20
サブプロセス						
	サブプロセスID	使用	--	プロセス情報／ID	半角英数字 か半角記号 【. #- _】	4
	サブプロセス名	使用	--	プロセス情報／名称	--	20
製品						
	製品ID	使用	--	プロセス情報／ID	半角英数字 か半角記号 【. #- _】	4
	製品名	使用	--	プロセス情報／名称	--	20
文書情報						
文書情報						
	版数	使用	--	テキスト	--	10
	作成者	使用	--	テキスト	--	10
	作成日	使用	--	テキスト	--	11
	更新者	使用	--	テキスト	--	10
	更新日	使用	--	テキスト	--	11
	承認者	使用	--	テキスト	--	10
	承認日	使用	--	テキスト	--	11
	最終更新者	使用	--	テキスト	--	10
	最終更新日	使用	--	テキスト	--	11

初期設定の項目名	使用／ 不使用	必須 入力	項目タイプ	入力形式	入力桁数
製品情報					
8.5.1.3 最終製品の特性/8.5.1.4意図した用途					
組成	使用	--	テキスト(複数行)	--	1000
生物、化学、物理的特性	使用	--	テキスト(複数行)	--	1000
シェルライフ及び保管条件	使用	--	テキスト(複数行)	--	1000
包装	使用	--	テキスト(複数行)	--	1000
表示、取扱、調整、使用法	使用	--	テキスト(複数行)	--	1000
配送方法	使用	--	テキスト(複数行)	--	1000
意図した用途	使用	--	テキスト(複数行)	--	1000

原材料グループ

原材料ダイアログボックスの中の編集可能項目のデータ定義を行います。

初期設定の項目名	使用／ 不使用	必須 入力	項目タイプ	入力形式	入力桁数
原材料No	使用	○	テキスト	半角数字	4
原材料名	使用	--	テキスト	半角数字	30
登録番号	使用	--	テキスト		10
辞書グループID	使用	--	テキスト		20
8.5.1.2 原料、材料及び製品に接触する材料の特性					
8.5.1.2 原料、材料及び製品に接触する材料の特性					
生物、化学、物理的特性	使用	--	テキスト(複数行)		500
添加物、加工助剤を含む成分組成	使用	--	テキスト(複数行)		500
由来	使用	--	テキスト(複数行)		500
原産地	使用	--	テキスト(複数行)		500
製造方法	使用	--	テキスト(複数行)		500
包装及び配送方法	使用	--	テキスト(複数行)		500
保管条件及びシェルライフ	使用	--	テキスト(複数行)		500
使用・加工前準備・取扱	使用	--	テキスト(複数行)		500

初期設定の項目名		使用／ 不使用	必須 入力	項目タイプ	入力形式	入力桁数
	合否判定基準又は仕様書	使用	--	テキスト(複数行)		500

工程グループ

工程ダイアログボックスの中の編集可能項目のデータ定義を行います。

初期設定の項目名		使用／ 不使用	必須 入力	項目タイプ	入力形式	入力桁数
工程No		使用	必須	テキスト	半角数字	4
工程名		使用	--	テキスト	--	30
手順		使用	--	テキスト(複数行)	--	2048
登録番号		使用	--	テキスト	--	10
辞書グループID		使用	--	テキスト	--	20
工程管理						
工程管理						
担当者		使用	--	テキスト(複数行)	--	800
管理項目		使用	--	テキスト(複数行)	--	800
管理基準		使用	--	テキスト(複数行)	--	800
測定方法		使用	--	テキスト(複数行)	--	800
要求事項		使用	--	テキスト(複数行)	--	800
記録		使用	--	テキスト(複数行)	--	800
検証		使用	--	テキスト(複数行)	--	800
確認済み		使用	--	リスト(単一)	--	10 データリスト： 済
備考		使用	--	テキスト(複数行)	--	800

危害グループ

危害ダイアログボックスの中の編集可能項目のデータ定義を行います。

初期設定の項目名		使用／ 不使用	必須 入力	項目タイプ	入力形式	入力桁数
危害No		使用	必須	テキスト	半角数字	4
登録番号		使用	--	テキスト	--	10

初期設定の項目名	使用／ 不使用	必須 入力	項目タイプ	入力形式	入力桁数
辞書グループID	使用	--	テキスト	--	20
8.5.2.2.1 ハザードの特定	使用	--	テキスト(複数行)	--	2048
8.5.2.3 ハザード評価 8.5.2.4管理手段の選択及び分類					
8.5.2.3 ハザード評価 8.5.2.4 管理手段の選択及び分類					
8.5.1.5.3/8.5.2.4 管 理手段	使用	--	テキスト(複数行)	--	10
8.5.2.2.3 許容水準の 有無	使用	--	リスト選択(単一)	--	20 データリスト： あり なし
8.5.2.2.3 許容水準	使用	--	テキスト(複数行)	--	500
8.5.2.3 ハザード評価(発 生頻度)	使用	--	リスト選択(単一)	数値	30 データリスト： 1 2 3 4 5
8.5.2.3 ハザード評価(重 篤度)	使用	--	リスト選択(単一)	数値	50 データリスト： 1 2 3 4 5
8.5.2.3 ハザード評価 (評価点)	使用	--	自動計算式	--	0 計算式： [8.5.2.3 ハザード 評価(発生頻 度)]*[8.5.2.3 ハ ザード評価(重 篤度)]
8.5.2.3 ハザード評価(そ の他)	使用	--	テキスト(複数行)	--	100
8.5.2.4.1 管理手段の 評価	使用	--	リスト選択(複数)	--	100 データリスト： b-4)複合である a)安定してできる b)重大な事故につ ながる b-1)効果は十分で ある b-2)最終段階であ る b-3)重大な事故を 防止できる

初期設定の項目名		使用／ 不使用	必須 入力	項目タイプ	入力形式	入力桁数
	8.5.2.4.2 管理手段の 可能性評価	使用	--	リスト選択(複数)	--	100 データリスト： a)許容限界または 処置基準を確立でき る b)許容限界または 処置基準の逸脱を 検知できる c)逸脱の際にその 場で判断・修正でき る
	8.5.2.4 管理手段の選 択と分類	使用	--	リスト選択(単一)	--	50 データリスト： CCP OPRP PRP
	デシジョンツリー	不使用	--	デシジョンツリー	--	0
	管理手段（デシジョンツ リー結果）	不使用	--	テキスト	--	10
	8.5.2.4 管理手段の選択と分類」、または「デシジョンツリー」、「管理手段（デシジョンツリー結果）」の項目にCCPやOPRPと 入力した危害の情報を「ハザード管理プラン表.xlsx」、「ハザード管理プラン単票.xlsx」に出力します。 ※CCPやOPRPは半角英字で入力されたものに限りです。 「8.5.2.4 管理手段の選択と分類」、「デシジョンツリー」、「管理手段（デシジョンツリー結果）」の項目のいずれかの項目を必 ず使用するようになしてください。					
	8.5.4 許容限及び処置 基準の有無	使用	--	リスト選択(単一)	--	50 データリスト： あり なし
	8.5.4.2 許容限界及び 処置基準の決定	使用	--	テキスト(複数行)	--	300
8.5.4.3 モニタリングシステム						
8.5.4.3 モニタリングシステム						
	a)測定、観察	使用	--	テキスト(複数行)	--	300
	b)方法または機器	使用	--	テキスト(複数行)	--	300
	c)機器と方法の校正	使用	--	テキスト(複数行)	--	300
	d)頻度	使用	--	テキスト(複数行)	--	300
	e)結果	使用	--	テキスト(複数行)	--	300
	f)責任と権限	使用	--	テキスト(複数行)	--	300
	g)結果の評価に関する責 任と権限	使用	--	テキスト(複数行)	--	300

初期設定の項目名	使用／ 不使用	必須 入力	項目タイプ	入力形式	入力桁数
8.5.4.4 許容限界逸脱時の対応					
8.5.4.4 許容限界逸脱時の対応					
8.9.2 修正	使用	--	テキスト(複数行)	--	800
8.9.3 是正	使用	--	テキスト(複数行)	--	800
8.9.4 製品が不適合かリリースできるのか	使用	--	テキスト(複数行)	--	800
8.9.4.2 リリースの場合	使用	--	テキスト(複数行)	--	800
8.9.4.3 不適合の場合	使用	--	テキスト(複数行)	--	800

検証グループ

検証ダイアログボックスの中の編集可能項目のデータ定義を行います。

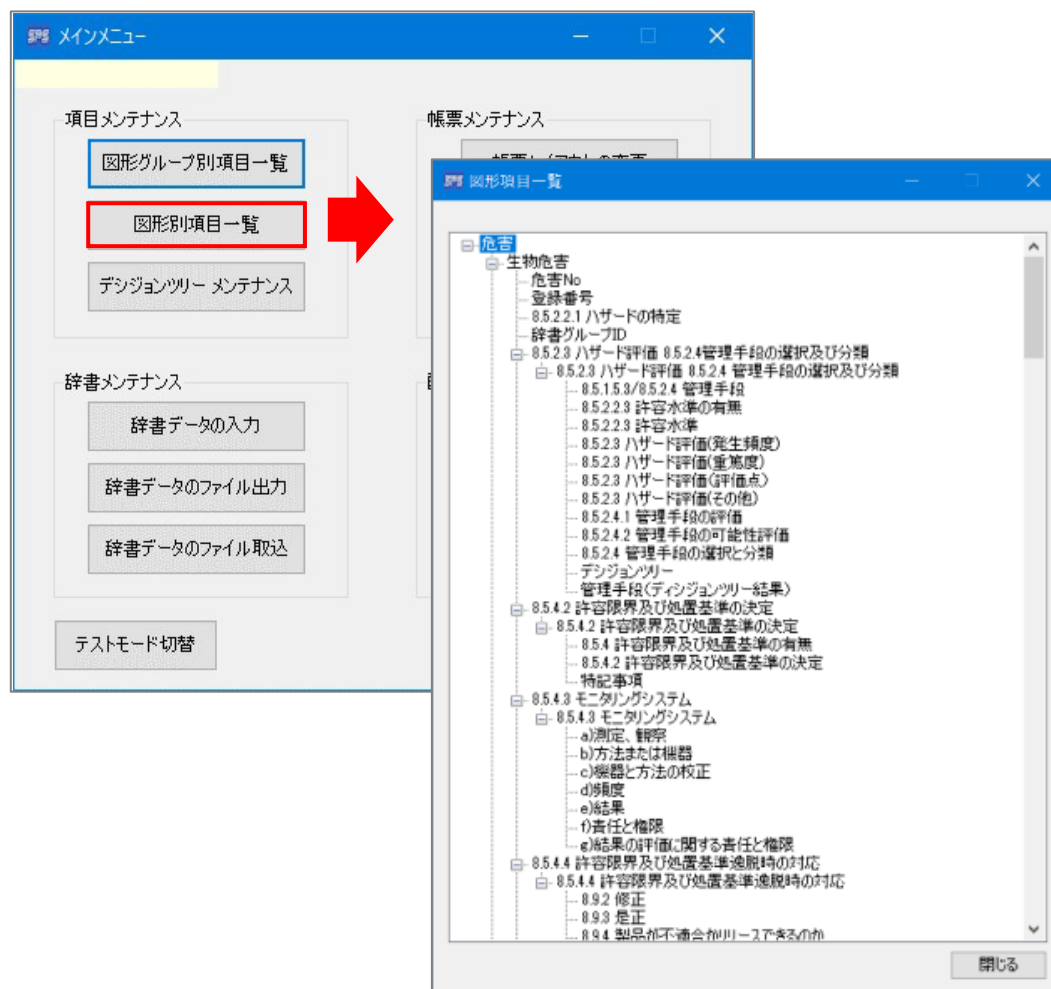
初期設定の項目名	使用／ 不使用	必須 入力	項目タイプ	入力形式	入力桁数
検証No	使用	必須	テキスト	半角数字	4
登録番号	不使用	--	テキスト	--	10
辞書グループID	不使用	--	テキスト	--	20
8.8.1 検証					
a)PRPの実施確認					
方法	使用	--	テキスト(複数行)		500
頻度	使用	--	テキスト(複数行)		500
責任	使用	--	テキスト(複数行)		500
記録	使用	--	テキスト(複数行)		500
b)HACCPプランの効果確認					
方法	使用	--	テキスト(複数行)		500
頻度	使用	--	テキスト(複数行)		500
責任	使用	--	テキスト(複数行)		500
記録	使用	--	テキスト(複数行)		500
c)危害レベルが許容水準内の確認					
方法	使用	--	テキスト(複数行)		500

初期設定の項目名		使用／ 不使用	必須 入力	項目タイプ	入力形式	入力桁数
	頻度	使用	--	テキスト(複数行)		500
	責任	使用	--	テキスト(複数行)		500
	記録	使用	--	テキスト(複数行)		500
d)ハザード分析の更新						
	方法	使用	--	テキスト(複数行)		500
	頻度	使用	--	テキスト(複数行)		500
	責任	使用	--	テキスト(複数行)		500
	記録	使用	--	テキスト(複数行)		500
e)その他の組織が決定した手順の効果確認						
	方法	使用	--	テキスト(複数行)		500
	頻度	使用	--	テキスト(複数行)		500
	責任	使用	--	テキスト(複数行)		500
	記録	使用	--	テキスト(複数行)		500
※クレーム・回収						
	方法	使用	--	テキスト(複数行)		500
	頻度	使用	--	テキスト(複数行)		500
	責任	使用	--	テキスト(複数行)		500
	記録	使用	--	テキスト(複数行)		500

図形別項目一覧

危害図形（生物危害、化学危害、物理危害、品質、統合危害、アレルギー危害）別に登録画面をカスタマイズします。

※項目などの追加は、「図形グループ別項目一覧」で行います。

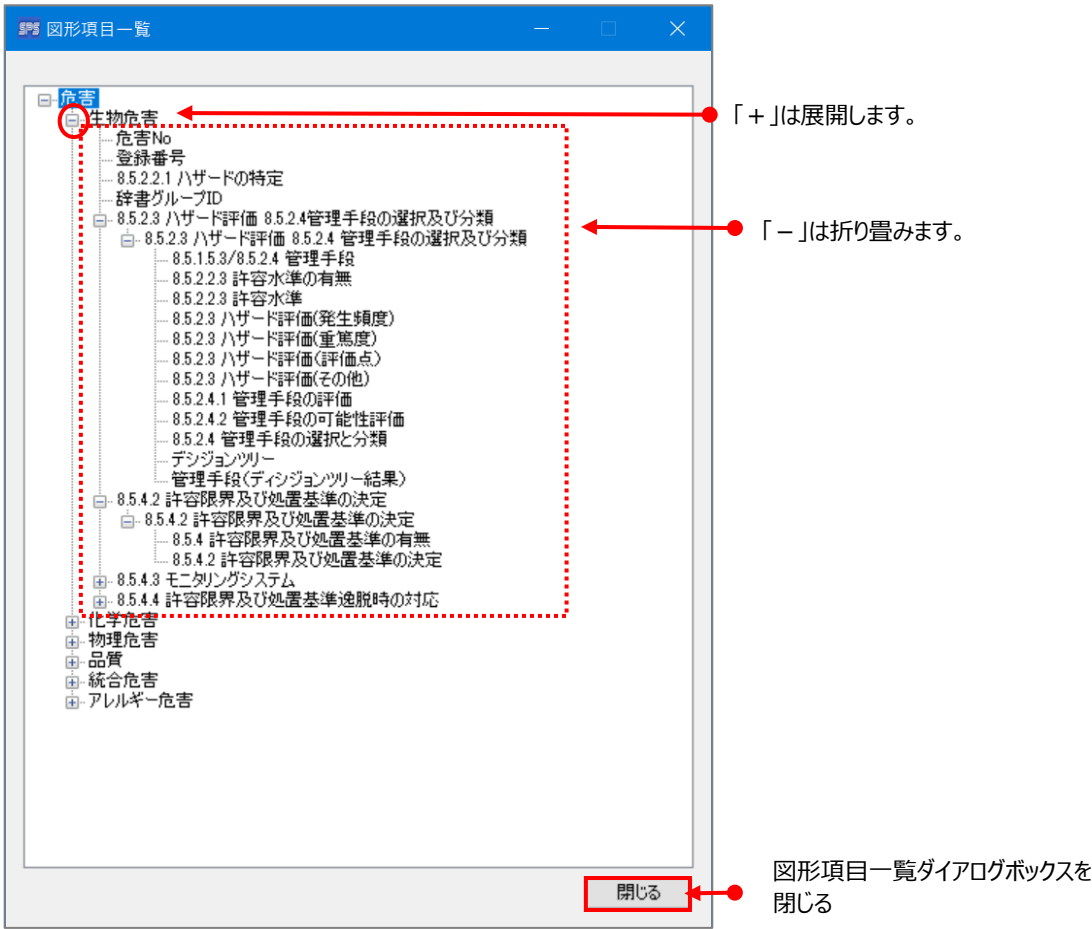


ツリー構造は以下の階層で構成されています。

階層名	説明
図形グループ	HACCP危害図形のグループ名です。
図形	危害図形名を表示します。 危害図形には以下のHACCP図形を含みます。 <ul style="list-style-type: none"> ・生物危害 ・化学危害 ・物理危害 ・品質 ・統合危害 ・アレルギー危害
タブページ	HACCP危害図形に含まれるタブページ名です。
分類	タブページに含まれる分類名です。
項目	図形グループ内や分類内の項目名です。

図形別項目一覧の選択方法

対象項目の「+」「-」をクリックすると、詳細な項目箇所をツリー構造で表示します。



「図形項目一覧」ダイアログボックスの各項目は以下の通りです。

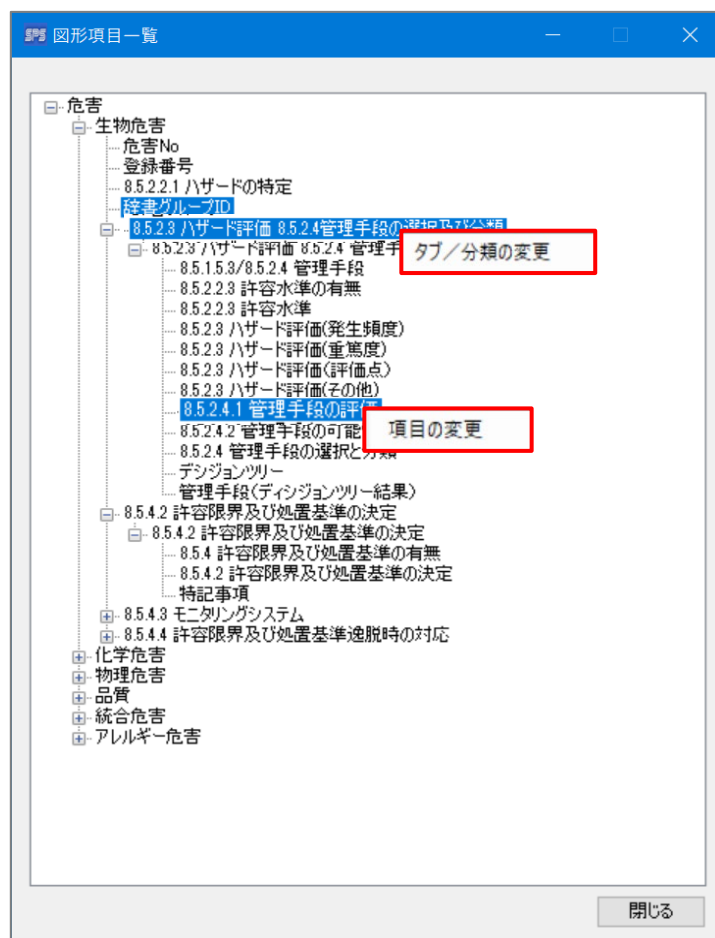
内容	説明
「+」「-」	操作対象のツリーを展開、折り畳みます。 初期状態ではすべてのツリーが展開されています。
メニュー	項目上で右クリックすることで、該当項目で行える操作がメニューで表示されます。 選択されている項目により選択できるメニュー内容が異なります。

ツリー構造は以下の階層で構成されています。

階層名	説明
図形グループ	HACCP危害図形のグループ名です。
図形	<p>危害図形名を表示します。 危害図形には以下のHACCP図形を含みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物危害 ・化学危害 ・物理危害 ・品質 ・統合危害 ・アレルギー危害
タブページ	HACCP危害図形に含まれるタブページ名です。
分類	タブページに含まれる分類名です。
項目	図形グループ内や分類内の項目名です。

メニューの操作

「図形別項目一覧」のツリー内を右クリックすると「タブ／分類の変更」「項目の変更」が表示されます。

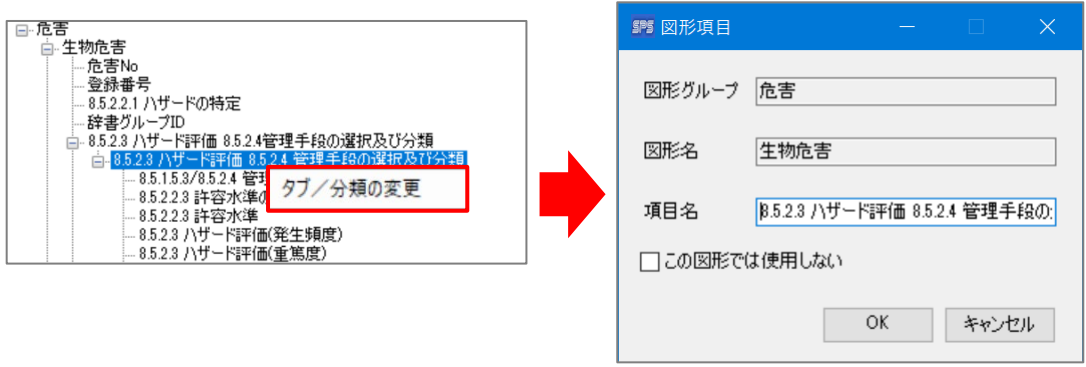


図形別の編集

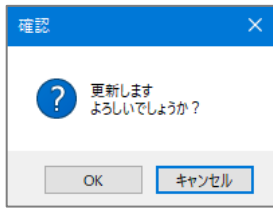
タブ／分類の変更

「タブ／分類の変更」はタブページ名または分類名を変更します。

- ① 対象の危害図形のタブまたは分類を選択し、「タブ／分類の追加」を選択します。
- ② 「図形項」ダイアログボックスの項目名を変更します。



- ③ 確認メッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックして登録します。



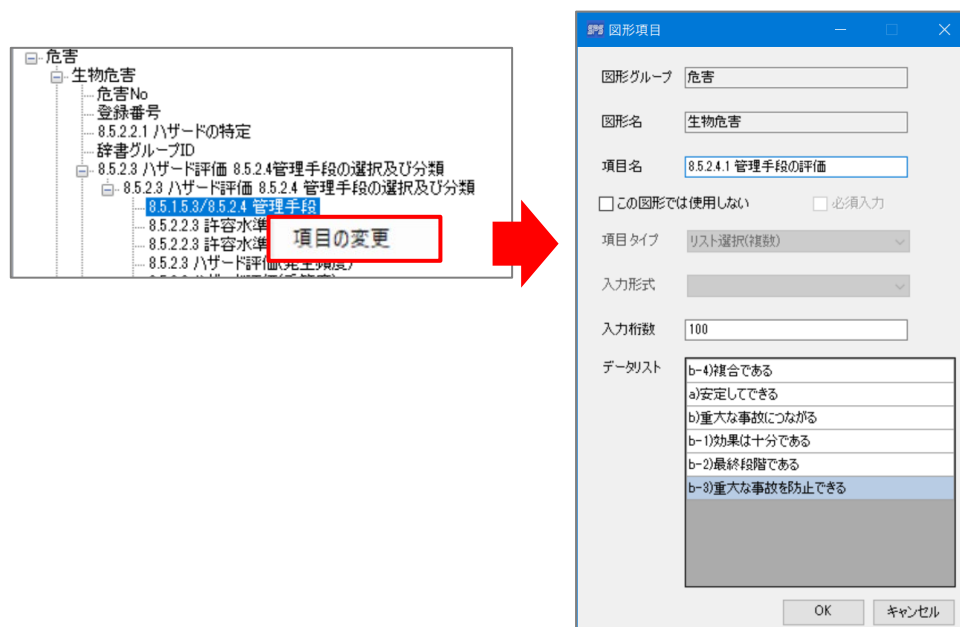
「図形項目」ダイアログボックスの各項目は以下の通りです。

内容	説明
図形グループ	選択した項目の図形グループを表示します。（変更不可）
図形名	選択した項目の図形名を表示します。（変更不可）
項目名	選択した項目名を指定します。（最大文字数：50） 図形グループ別項目一覧で定義された項目名が設定されています。
この図形では使用しない	HACCP図形ダイアログボックス上への表示／非表示を設定します。

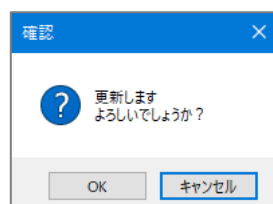
項目の変更

「項目の変更」は項目名の変更および設定を変更します。

- ① 対象の項目名を右クリックし、「項目の変更」を選択します。
- ② 「図形項目」ダイアログボックスの「項目名」、「入力桁数」、「データリスト」を編集します。



- ③ 確認メッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックして登録します。

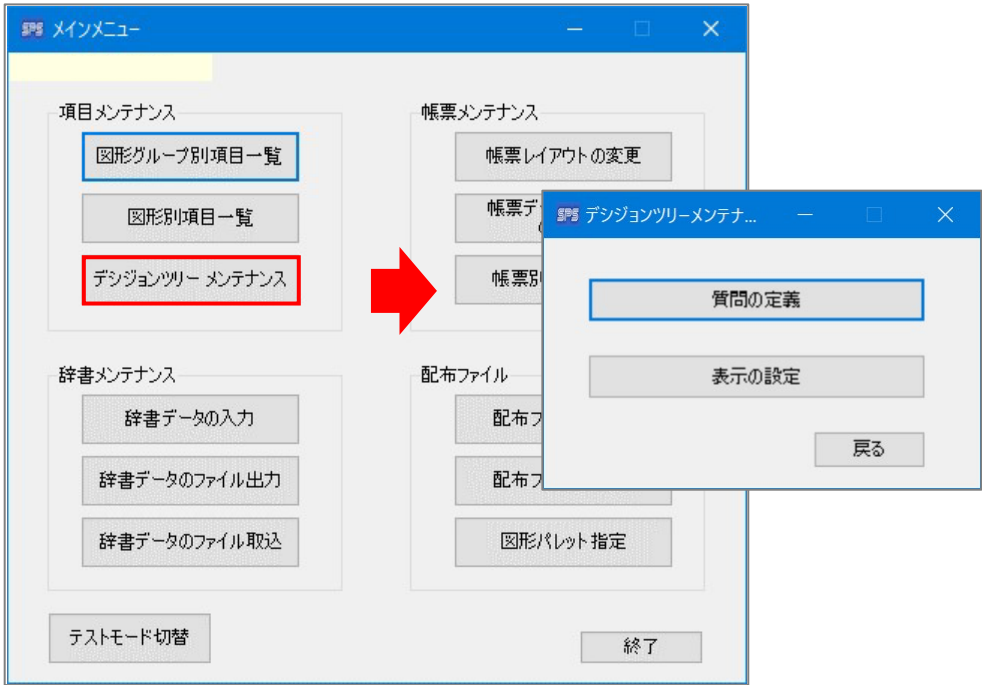


「図形項目」ダイアログボックスの各項目は以下の通りです。

内容	説明
図形グループ	選択した項目の図形グループを表示します。(変更不可)
図形名	選択した項目の図形名を表示します。(変更不可)
項目名	選択した項目名を指定します。(最大文字数：50) 図形グループ別項目一覧で定義された項目名が設定されています。
この図形では使用しない	図形名で表示されているHACCP図形ダイアログボックス上へ表示／非表示を設定します。
入力桁数	項目タイプで指定された内容により入力可能な桁数を指定します。
データリスト	選択したリスト名を指定します。 図形グループ別項目一覧で定義されたデータリストが設定されています。

デシジョンツリー メンテナンス

管理者キット メインメニューより「デシジョンツリー メンテナンス」をクリックし、「デシジョンツリー メンテナンスメニュー」ダイアログボックスを起動します。



デシジョンツリー メンテナンスの編集

デシジョンツリー関連機能を起動します。

機能	説明
質問の定義	デシジョンツリー項目の入力時に表示される質問内容を定義します。
表示の設定	デシジョンツリーの質問に対して「はい」「いいえ」の回答方法を指定します。

質問の定義

デシジョンツリーの質問内容を定義します。

登録された質問内容は、図形グループ別項目一覧から項目タイプがデシジョンツリーの項目より質問順の定義ダイアログボックスで指定することができます。

SPS デシジョンツリー／質問の定義

質問一覧

ID	内容
Q001	質問1. この工程又は以降の工程に確認されたハザードに対する管理手段はあるか？
Q002	質問2. この工程は発生する恐れのあるハザードを除去又は許容レベルまで低下させるために...
Q003	質問3. 確認されたハザードが許容レベルを超えるか、又は限度を超えて増加する可能性があ...
Q004	質問4. 以降の工程は、確認されたハザードを除去又は許容レベルまで低下させるか？
Q005	ハザードを許容レベルまで低下することに寄与するか？
Q006	安全のためにこの段階で制御が必要か？

質問内容

質問1. この工程又は以降の工程に確認されたハザードに対する管理手段はあるか？

戻る

「デシジョンツリー／質問の定義」ダイアログボックスの各項目は以下の通りです。

内容	説明
質問一覧	登録済みのデシジョンツリー 質問内容を表示します。 初期設定では標準的な質問内容が登録されています。 質問一覧の質問内容で右クリックすることでメニューを表示します。
質問内容	質問一覧で選択されている質問内容を表示します。

質問一覧で右クリックし、メニューを表示します。

SPS デシジョンツリー／質問の定義

質問一覧

ID	内容
Q001	質問1. この工程又は以降の工程に確認されたハザードに対する管理手段はあるか？
Q002	質問2. この工程は発生する恐れのあるハザードを除去又は許容レベルまで低下させるために...
Q003	質問3. 確認されたハザードが許容レベルを超えるか、又は限度を超えて増加する可能性があ...
Q004	質問4. 以降の工程は、確認されたハザードを除去又は許容レベルまで低下させるか？
Q005	ハザードを許容レベルまで低下することに寄与するか？
Q006	安全のためにこの段階で制御が必要か？

質問内容

質問1. この工程又は以降の工程に確認されたハザードに対する管理手段はあるか？

戻る

「質問一覧」のメニューは以下の通りです。

内容	説明
追加	質問内容を追加します。
変更	選択されている質問内容を変更します。
削除	選択されている質問内容を削除します。 図形グループ別項目一覧の項目でデシジョンツリーの質問が使用されている場合は削除できません。

メニューより「追加」もしくは「変更」をクリックすると「質問の入力」ダイアログボックスが表示されます。

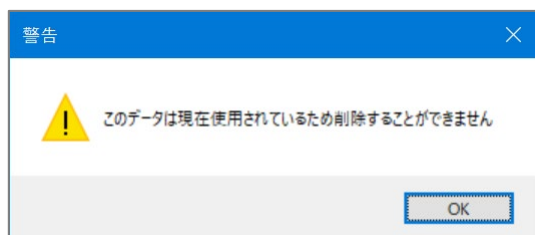
「質問の入力」ダイアログボックスの各項目は以下の通りです。

内容	説明
質問ID	任意の質問IDを指定します。必須入力です。（最大文字数：10）
内容	デシジョンツリーの質問内容を指定します。必須入力です。（最大文字数：1000）

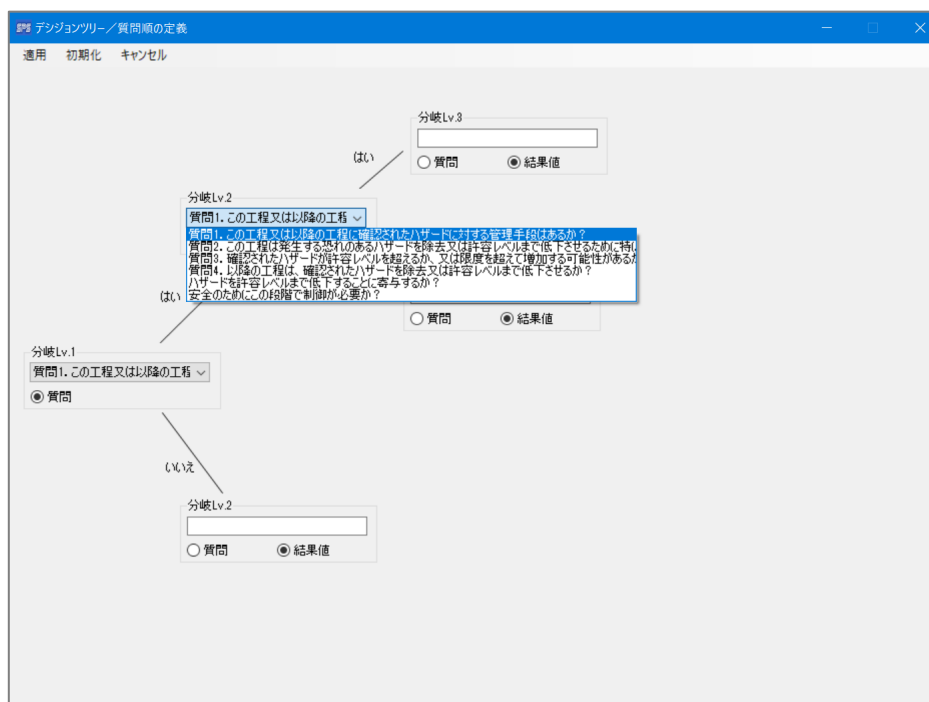
メニューより「削除」をクリックすると「質問の入力」ダイアログボックスが表示されます。

OK ボタンをクリックすると質問内容が削除されます。

ただし、デシジョンツリー使用中では、初期設定時に登録されている質問や、デシジョンツリーの質問順で定義されている場合は削除できません。



登録した質問内容は「デシジョンツリー／質問順の定義」ダイアログボックスにて質問として選択できます。

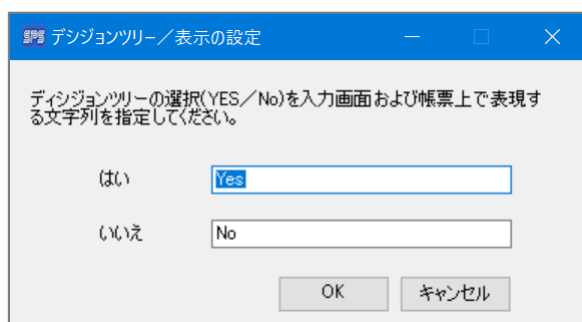


表示の設定

デシジョンツリーの質問回答時の形式を定義します。

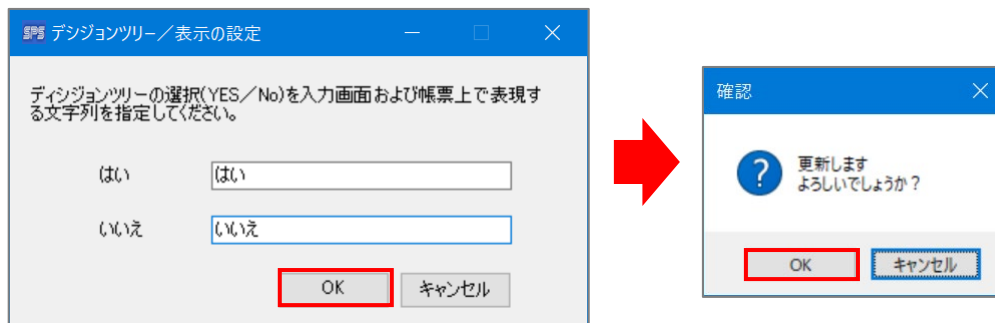
iGrafx の HACCP 図形でデシジョンツリー項目を入力する際、質問の回答を「はい」「いいえ」以外の形式で登録することができます。

また、設定内容は帳票出力時にデシジョンツリー項目に出力されます。

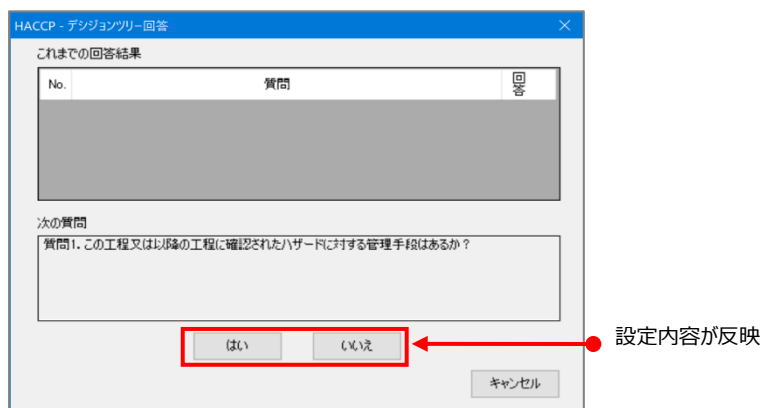


メニューより OK ボタンをクリックすると確認メッセージが表示されます。

OK ボタンをクリックすると設定内容が登録されます。



設定された内容は、iGrafx の HACCP 図形ダイアログボックスでデシジョンツリー項目または帳票出力時に反映されます。

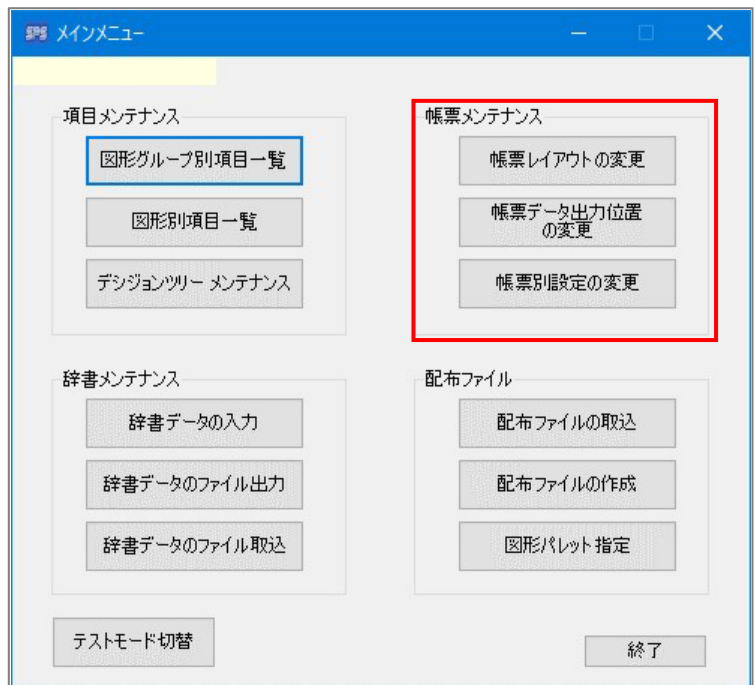


「デシジョンツリー／表示の設定」ダイアログボックスの各項目は以下の通りです。

内容	説明
はい	質問回答時の「はい」を選択した場合の文字を設定します。初期設定は「Yes」です。
いいえ	質問回答時の「いいえ」を選択した場合の文字を設定します。初期設定は「No」です。

第 5 章 帳票メンテナンス

iGrafx の HACCP メニューより帳票出力や一括取込で使用する帳票を編集します。



帳票ファイルと帳票の構成

帳票は帳票ファイル別に構成されています。

1 つの帳票ファイルに複数の帳票が含まれる場合、帳票出力時に別シートとして出力されます。

各帳票ファイルと帳票は以下の構成になります。

帳票ファイル名	帳票名	説明
製品の特性.xlsx	最終製品の特性	図表識別ごとの文書情報より、製品の特性に関する内容をシート別に出力します。
	原材料リスト	原材料に関する内容を一覧出力します。
工程管理表.xlsx	工程管理表	工程に関する内容を一覧出力します。
ハザード分析表.xlsx	ハザード分析表	工程に紐づく危害に関する内容を一覧出力します。
ハザード管理プラン表.xlsx	ハザード管理プラン表	工程に紐づく危害に関する内容を一覧出力します。 出力対象は、危害図形項目の「8.5.2.4 管理手段の選択と分類」、または「デシジョンツリー」、「管理手段（デシジョンツリー結果）」にCCPまたはOPRPと入力した危害図形です。
ハザード管理プラン単票.xlsx	ハザード管理プラン(CCP)	「8.5.2.4 管理手段の選択と分類」、または「デシジョンツリー」、「管理手段（デシジョンツリー結果）」にCCPと入力した危害図形に関する内容をシート別に出力します。

帳票ファイル名	帳票名	説明
	ハザード管理プラン(OPRP)	「8.5.2.4 管理手段の選択と分類」、または「デシジョンツリー」、「管理手段（デシジョンツリー結果）」にOPRPと入力した危害図形に関する内容をシート別に出力します。
検証プラン.xlsx	検証プラン	検証図形の内容を表形式で出力します。
パターンマトリクス.xlsx	パターンマトリクス	登録されたパターンと含まれる工程のマトリクス表を出力します。

帳票レイアウトの変更

帳票レイアウトを変更することができます。帳票レイアウトの変更は Excel 上で操作を行います。

メインメニューより「帳票レイアウトの変更」をクリックし、編集対象の帳票ファイル名を選択します。

選択した帳票ファイルが起動します。

レイアウト変更後、帳票ファイルを保存します。



帳票レイアウトの変更では以下の操作ができます。

操作内容	説明
列追加	指定の列を追加できます。 列を追加した場合、「帳票データ出力位置の変更」により編集集中の帳票の項目出力位置を追加した列数に合わせて変更する必要があります。 列を追加しても項目出力位置を変更しない場合、帳票の列名と出力データの内容が一致しくなくなります。
列削除	指定の列を削除できます。 列を削除した場合、「帳票データ出力位置の変更」により編集集中の帳票の項目出力位置を削除した列数に合わせて変更する必要があります。 列を削除しても項目出力位置を変更しない場合、帳票の列名と出力データの内容が一致しくなくなります。

操作内容	説明
セル書式設定	指定のセルの背景色、背景色、罫線など書式を変更することができます。 セルの書式を変更する場合、明細行の開始行が各行に適用されます。
文言の変更	帳票内の特定のセルに記述されている文言（帳票タイトル、列名など）を変更できます。 帳票内の文言は項目メンテナンスで変更された項目名と同期しません。 項目名を変更した場合は帳票内の文言も変更してください。
印刷設定の変更	Excelの印刷設定により、用紙サイズやページヘッダー／フッターなどを変更できます。

（注意事項）

- ・ 帳票ファイル編集時は以下の点に注意してください。
- ・ 帳票ファイル名の変更や帳票ファイルの削除は行わないでください。
- ・ 保存されているシート名の変更やシートの削除は行わないでください。
- ・ 帳票レイアウト内の既存の行を削除しないでください。
- ・ セル結合は帳票出力に影響しないセルのみ行ってください。
- ・ その他、特殊な帳票ファイルの設定により帳票出力が正しく行えない場合があるのでご注意ください。

「初期化」と「復元」ボタン

「帳票選択」ダイアログボックスには、帳票の操作を「初期化」するボタンと、編集したデータに戻す「復元」のボタンがあります。

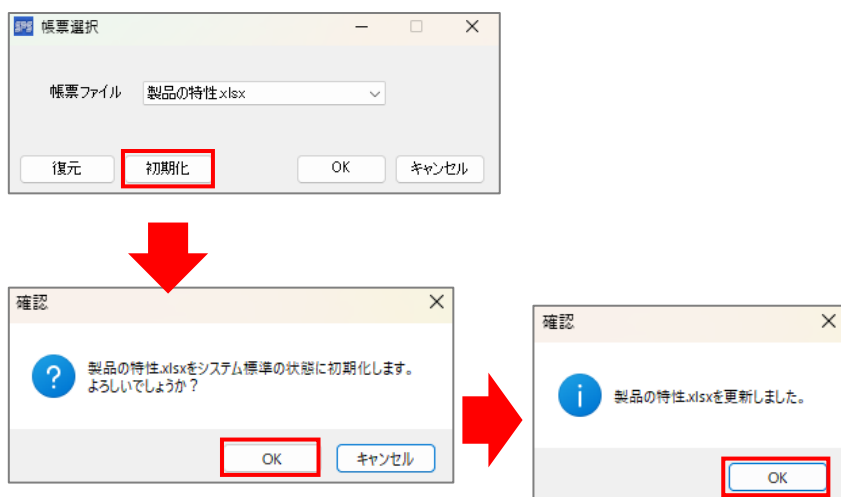
※「復元」は、配布ファイル（定義データ）を取り込むことで以前の状態に戻すため、必要に応じて配布ファイルを作成してください。

初期化

各帳票にカスタマイズした設定を初期に戻します。

「初期化」ボタンをクリックすると確認メッセージが表示されます。「OK」をクリックします。

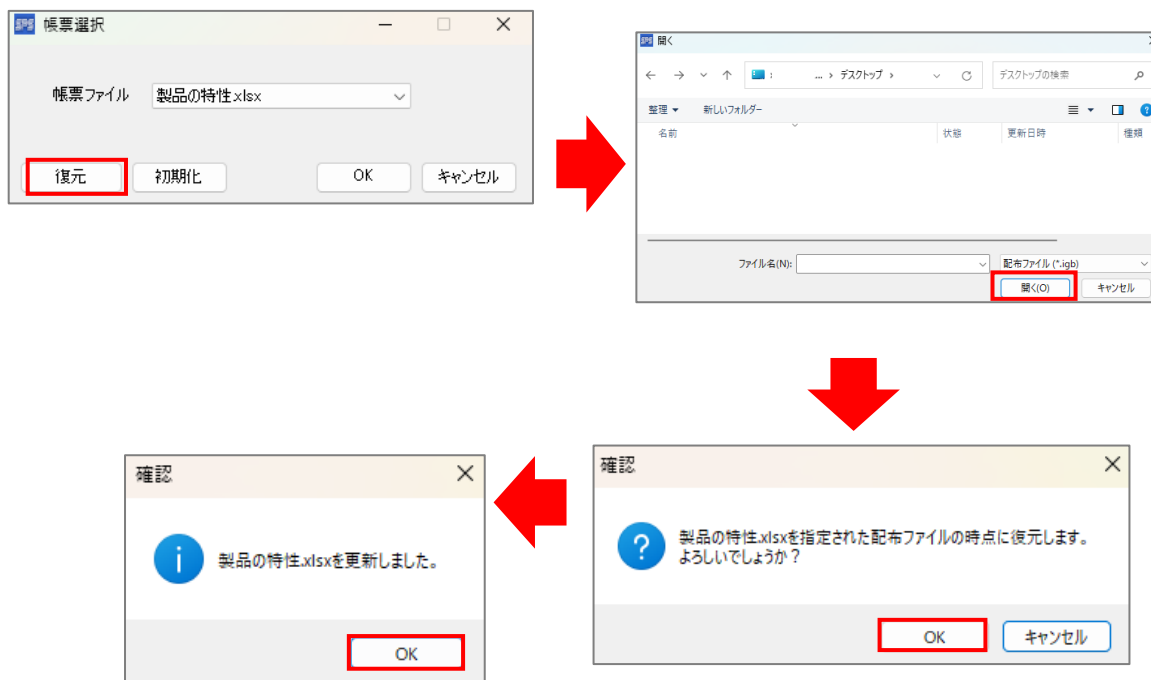
※カスタマイズした設定を保管したい場合は、配布ファイルを作成することをお勧めします。



復元

「配布ファイル」を取り込むことで、設置した定義データの状態まで復元することができます。

「復元」ボタンをクリックするとメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックします。

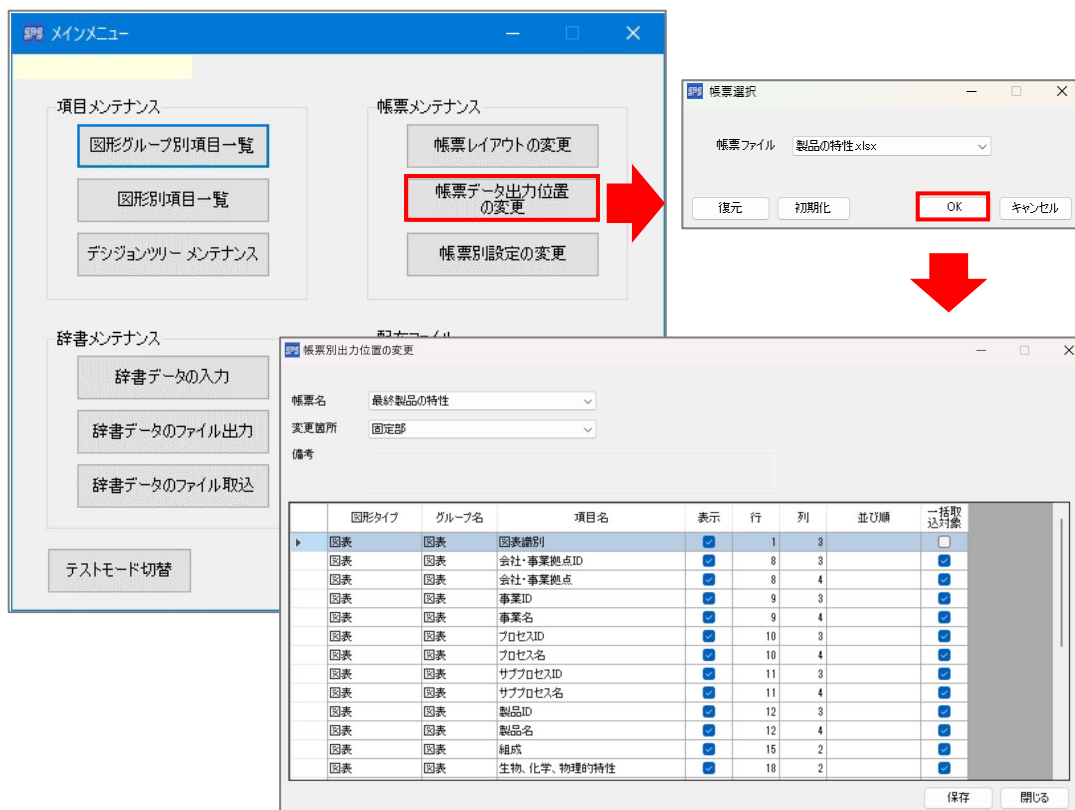


帳票データ出力位置の変更

各帳票に出力する項目の位置を変更できます。

メインメニューより「帳票データ出力位置の変更」をクリックし、編集対象の帳票ファイル名を選択します。

「帳票別出力位置の変更」ダイアログボックスが起動され、帳票別に出力項目の設定を行います。



※検証プランについては、帳票の特性上出力位置の変更ができません。

【原材料リストの項目】

帳票別出力位置の変更

帳票名 原材料リスト

変更箇所 固定部

備考 開始行:12

	図形タイプ	グループ名	項目名	表示	行	列	並び順	一括取 込対象
▶	図表	図表	版数	<input checked="" type="checkbox"/>	2	32		<input type="checkbox"/>
	図表	図表	作成者	<input checked="" type="checkbox"/>	3	32		<input type="checkbox"/>
	図表	図表	会社・事業拠点ID	<input checked="" type="checkbox"/>	4	18		<input type="checkbox"/>
	図表	図表	会社・事業拠点	<input checked="" type="checkbox"/>	4	21		<input type="checkbox"/>
	図表	図表	作成日	<input checked="" type="checkbox"/>	4	32		<input type="checkbox"/>
	図表	図表	事業ID	<input checked="" type="checkbox"/>	5	18		<input type="checkbox"/>
	図表	図表	事業名	<input checked="" type="checkbox"/>	5	21		<input type="checkbox"/>
	図表	図表	承認者	<input checked="" type="checkbox"/>	5	32		<input type="checkbox"/>
	図表	図表	プロセスID	<input checked="" type="checkbox"/>	6	18		<input type="checkbox"/>
	図表	図表	プロセス名	<input checked="" type="checkbox"/>	6	21		<input type="checkbox"/>
	図表	図表	承認日	<input checked="" type="checkbox"/>	6	32		<input type="checkbox"/>
	図表	図表	サブプロセスID	<input checked="" type="checkbox"/>	7	18		<input type="checkbox"/>
	図表	図表	サブプロセス名	<input checked="" type="checkbox"/>	7	21		<input type="checkbox"/>

保存 閉じる

内容	説明
帳票名	出力位置を変更する帳票名を指定します。
変更箇所	<p>「固定部」もしくは「明細部」を指定します。明細部が存在しない帳票では「固定部」のみ表示されます。</p> <p>「固定部」は帳票の特定の行列に出力される項目を指します。</p> <p>「明細部」は帳票の特定の行以下に複数行出力される項目を指します。</p>
備考	<p>選択されている帳票の情報を出力します。（変更不可）</p> <p>明細部が存在する帳票では開始行番号を表示します。</p>

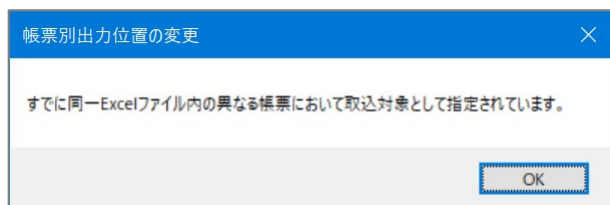
【原材料リスト】

2	4	6	7	8	10	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
原材料リスト																<div> <div>作成者</div> <div>作成日</div> <div>承認者</div> <div>承認日</div> <div>最終更新者</div> </div>
品質管理	№	許容 偏差 10	金具番号	原材料	生物・化学・物理的特性	配合材料及 添加物の組成	由来	原産地	製造方法	包装及び配送方法	保管条件及び シールドタイプ	使用又は加工前の準備 及び又は取り扱い	有害物質等又は 生物等			

62 HACCP クリエータ管理者キット ユーザーズガイド

内容	説明
図形タイプ	項目名が属する図形タイプです。(変更不可)
グループ名	項目名が属する図形グループです。(変更不可)
項目名	帳票に出力できる項目名です。(変更不可) 項目名は図形グループ別項目一覧で定義された項目名が表示されます。 項目名は図形タイプに属している為、図形名が異なる項目名はそれぞれ別の項目として扱います。
表示	帳票に出力する項目が指定します。明細部のみ変更できます。 出力が設定されている場合、項目の内容を出力します。 出力が設定されていない場合、列番号で指定された列に何も出力しません。
行	帳票上の出力行番号を指定します。 固定部の場合は列番号と合わせて行番号をしています。 明細部の場合は行番号の指定は不要です。(0行で固定)
列	帳票上の出力列番号を指定します。 明細部の場合、指定した列番号がすでに他の項目で指定されている場合は列番号を入れ替えます。
並び順	並び順を1～5までの数値で指定します。
一括取込対象	iGrafxのHACCPメニューの「一括取込」を行う場合に取込対象の項目とするかを指定します。

同一帳票ファイルに複数の帳票シートがあり、すでに取り込み対象の設定を行っている項目に「一括取込対象」を指定すると以下のメッセージが表示されます。



例)「製品の特性.xlsx」には、「最終製品の特性」「原材料」の二つの帳票が含まれておりどちらの帳票にも共通に含まれている項目が存在する場合、両方を取込対象にすることができません。)

【最終製品の特性の固定部】

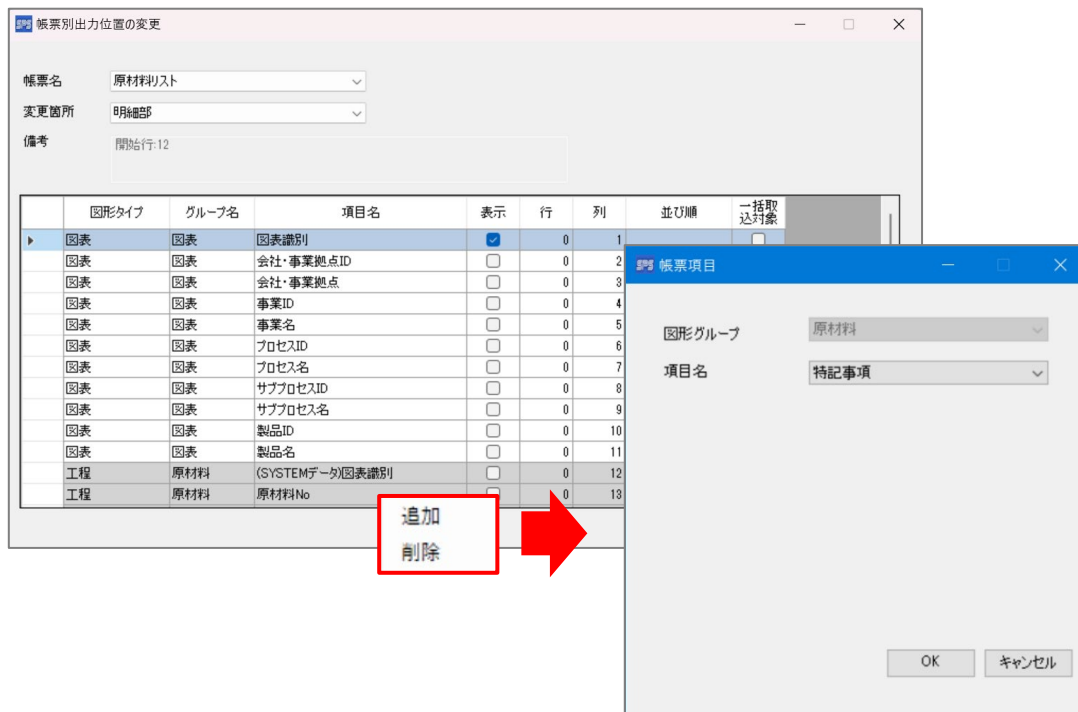
【原材料リストの固定部】

図形タイプ	グループ名	項目名	表示	行	列	並び順	一括取込対象
図表	図表	図表識別	●	1	3	1	●
図表	図表	会社・事業拠点ID	●	8	3	1	●
図表	図表	会社・事業拠点	●	8	4	1	●
図表	図表	事業ID	●	9	3	1	●
図表	図表	事業名	●	9	4	1	●
図表	図表	プロセスID	●	10	3	1	●
図表	図表	プロセス名	●	10	4	1	●
図表	図表	サブプロセスID	●	11	3	1	●
図表	図表	サブプロセス名	●	11	4	1	●
図表	図表	製品ID	●	12	3	1	●
図表	図表	製品名	●	12	4	1	●
図表	図表	組成	●	15	2	1	●
図表	図表	生物・化学・物理的性質	●	16	2	1	●

図形タイプ	グループ名	項目名	表示	行	列	並び順	一括取込対象
図表	図表	原料数	●	2	32	1	○
図表	図表	内訳書	●	3	32	1	○
図表	図表	会社・事業拠点ID	●	4	18	1	○
図表	図表	会社・事業拠点	●	4	21	1	○
図表	図表	内訳ID	●	4	32	1	○
図表	図表	事業ID	●	5	18	1	○
図表	図表	事業名	●	5	21	1	○
図表	図表	凍結量	●	5	32	1	○
図表	図表	プロセスID	●	6	18	1	○
図表	図表	プロセス名	●	6	21	1	○
図表	図表	凍結ID	●	6	32	1	○
図表	図表	サブプロセスID	●	7	18	1	○
図表	図表	サブプロセス名	●	7	21	1	○

帳票出力項目の追加

「図形グループ別項目一覧」で追加した項目の出力位置に行を追加し、データの出力順を整えます。

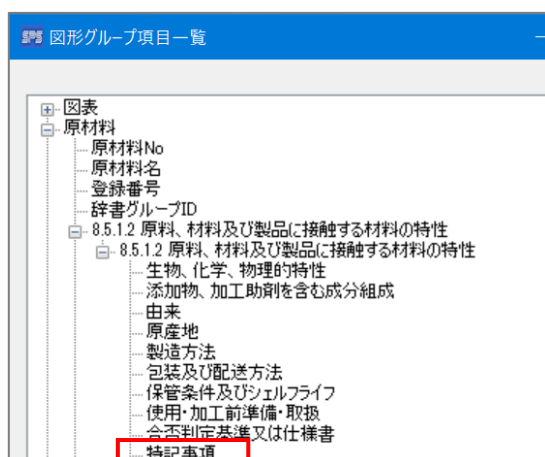


「帳票項目」ダイアログボックスの各項目は以下の通りです。

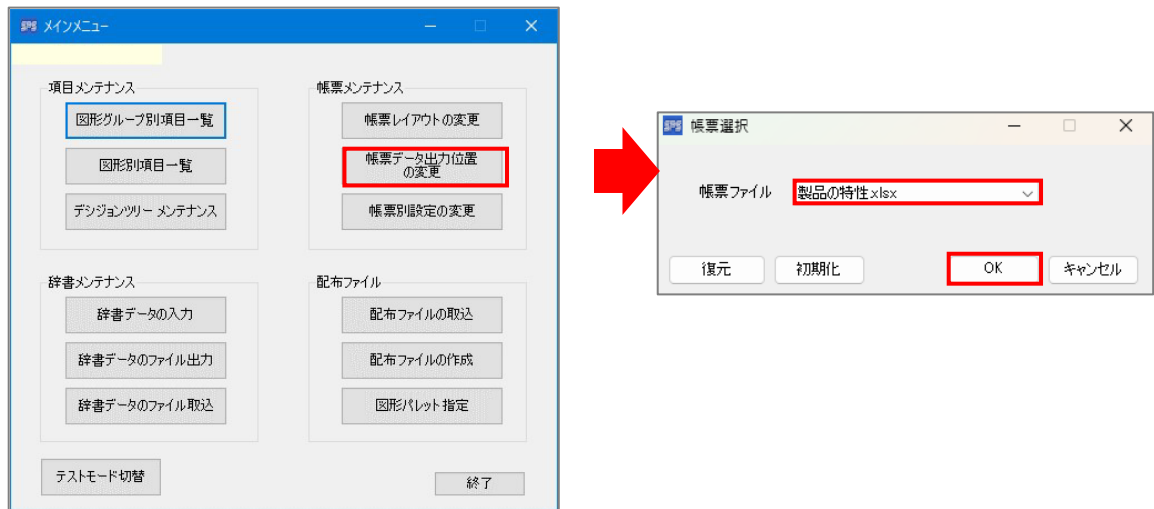
内容	説明
図形グループ	選択した項目の図形グループを表示します。（変更不可）
項目名	帳票に追加する項目を指定します。

帳票出力位置の追加手順

例）メインメニューの「図形グループ別項目一覧」で追加した「特記事項」を「原材料一覧」に追加する手順



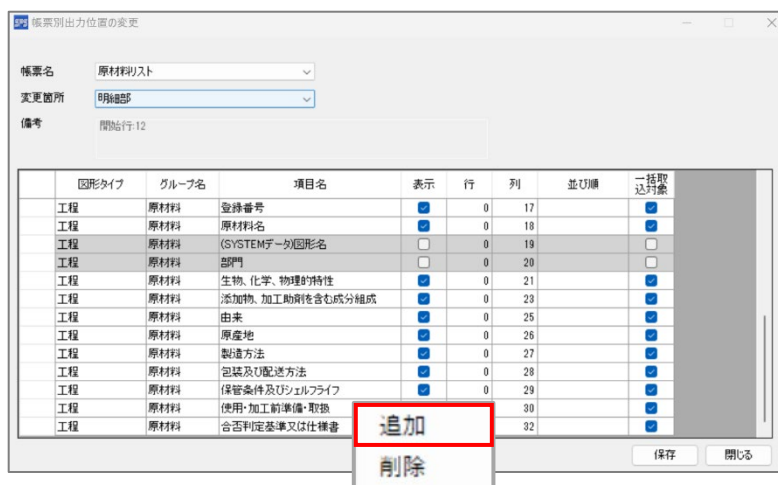
- ① メインメニューの「帳票データ出力位置の変更」をクリックし、「製品の特性.xlsx」を選択します。（項目のデータ出力に関連する帳票を選択します。）



- ② 帳票名は「原材料リスト」に切り替え、変更箇所は「明細部」を選択します。



- ③ 項目名を右クリックし、「追加」を選択します。（選択行の下に新しく行が追加されます。）



④ 項目名に作成した項目名を指定し「OK」ボタンをクリックします。

⑤ 「帳票別出力位置の変更」ダイアログボックスの指定位置に項目が追加され、列番号が振られます。追加項目以降の列番号は自動で繰り上がります。「保存」ボタンをクリックします。

図形タイプ	グループ名	項目名	表示	行	列	並び順	一括取込対象
工程	原材料	原材料名	<input checked="" type="checkbox"/>	0	18		<input checked="" type="checkbox"/>
工程	原材料	(SYSTEMデータ)図形名	<input type="checkbox"/>	0	19		<input type="checkbox"/>
工程	原材料	部門	<input type="checkbox"/>	0	20		<input type="checkbox"/>
工程	原材料	生物、化学、物理的特性	<input checked="" type="checkbox"/>	0	21		<input checked="" type="checkbox"/>
工程	原材料	添加物、加工助剤を含む成分組成	<input checked="" type="checkbox"/>	0	23		<input checked="" type="checkbox"/>
工程	原材料	由来	<input checked="" type="checkbox"/>	0	25		<input checked="" type="checkbox"/>
工程	原材料	原産地	<input checked="" type="checkbox"/>	0	26		<input checked="" type="checkbox"/>
工程	原材料	製造方法	<input checked="" type="checkbox"/>	0	27		<input checked="" type="checkbox"/>
工程	原材料	包装及び配送方法	<input checked="" type="checkbox"/>	0	28		<input checked="" type="checkbox"/>
工程	原材料	保管条件及び shelf life	<input checked="" type="checkbox"/>	0	29		<input checked="" type="checkbox"/>
工程	原材料	特記事項	<input checked="" type="checkbox"/>	0	30		<input type="checkbox"/>
工程	原材料	使用・加工前準備・取扱	<input checked="" type="checkbox"/>	0	31		<input checked="" type="checkbox"/>
工程	原材料	合否判定基準又は仕様書	<input checked="" type="checkbox"/>	0	32		<input checked="" type="checkbox"/>

⑥ 「OK」ボタンをクリックすると、確認メッセージが表示されます。

⑦ 次に「レイアウトを変更しますか。」とメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックして、帳票テンプレートのレイアウトを変更します。

- ⑧ 帳票フォーマット（Excel）の「原材料リスト」シートを選択し、追加する列番号にセルを挿入して項目名を入力します。
今回は「20」列目を追加し、項目名を入力します。列幅の調整が必要な場合は、セル幅の調整を行います。

図表識別	No	許容 グループ ID	室持番号	原材料名	生物・化学・物理的特性	配合材料と 添加物の構成	由来	原産地	製造方法	包装及び配送方法	保管条件及び シールドラップ	特記事項	使用又は加工時の準備 及び又は取り扱い	合否判定基準又は 仕様書
------	----	------------------	------	------	-------------	-----------------	----	-----	------	----------	-------------------	------	------------------------	-----------------

- ⑨ 帳票フォーマット（Excel）は、上書き保存をして、ファイルを閉じます。「OK」ボタンをクリックし、「帳票別出力位置の
変更」ダイアログボックスは「閉じる」をクリックします。

帳票別出力位置の変更

帳票名: 原材料リスト

変更箇所: 明細部

備考: 開始行: 12

	図形タイプ	グループ名	項目名	表示	行	列	並び順	一括取 込対象
	図表	図表	図表識別	<input checked="" type="checkbox"/>	0	1		<input type="checkbox"/>
	図表	図表	会社・事業拠点ID	<input type="checkbox"/>	0	2		<input type="checkbox"/>
	図表	図表	会社・事業拠点	<input type="checkbox"/>	0	3		<input type="checkbox"/>
	図表	図表	事業ID	<input type="checkbox"/>	0	4		<input type="checkbox"/>
	図表	図表	事業名	<input type="checkbox"/>	0	5		<input type="checkbox"/>
	図表	図表	プロセスID	<input type="checkbox"/>	0	6		<input type="checkbox"/>
	図表	図表	プロセス名	<input type="checkbox"/>	0	7		<input type="checkbox"/>
	図表	図表	サブプロセスID	<input type="checkbox"/>	0	8		<input type="checkbox"/>
	図表	図表	サブプロセス名	<input type="checkbox"/>	0	9		<input type="checkbox"/>
	図表	図表	製品ID	<input type="checkbox"/>	0	10		<input type="checkbox"/>
	図表	図表	製品名	<input type="checkbox"/>	0	11		<input type="checkbox"/>
工程	原材料	(SYSTEMデータ)図表識別		<input type="checkbox"/>	0	12	1	<input type="checkbox"/>
工程	原材料	原材料No		<input type="checkbox"/>	0	13	2	<input type="checkbox"/>

保存 閉じる

複数の内容から選択する項目を追加する場合、「帳票項目」ダイアログボックスに定義されている
選択内容が表示されます。表示された件数分、帳票に列が追加されます。

帳票項目

図形グループ: 危害

項目名: 8.5.2.4.1 管理手段の評価

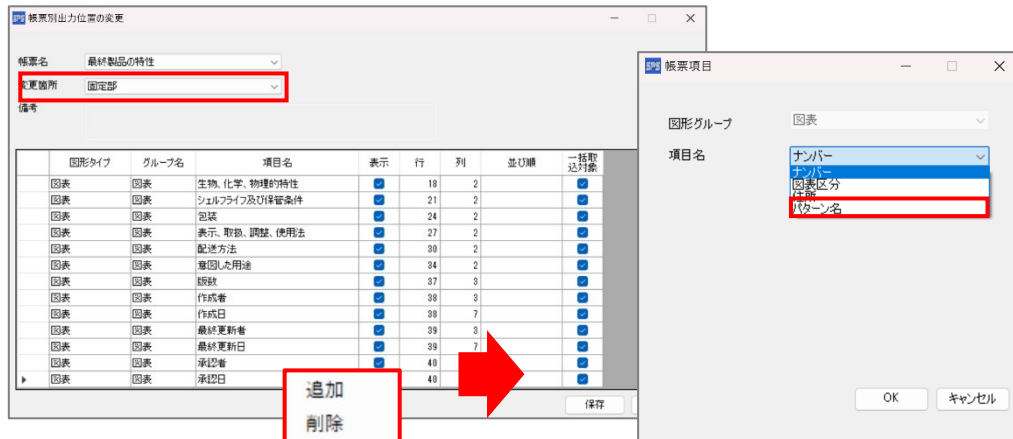
☒ b-4) 適合である
☐ a) 安定してできる
☐ b) 重大な事故につながる
☐ b-1) 効果は十分である
☐ b-2) 最終段階である
☐ h-3) 重大な事故を防止できる

OK キャンセル

出力する帳票に、「帳票出力」ダイアログボックスで指定するパターン名を追加することができます。

「帳票別出力位置の変更」ダイアログボックスから、「変更箇所」に「固定部」を指定し、追加ボタンをクリックします。

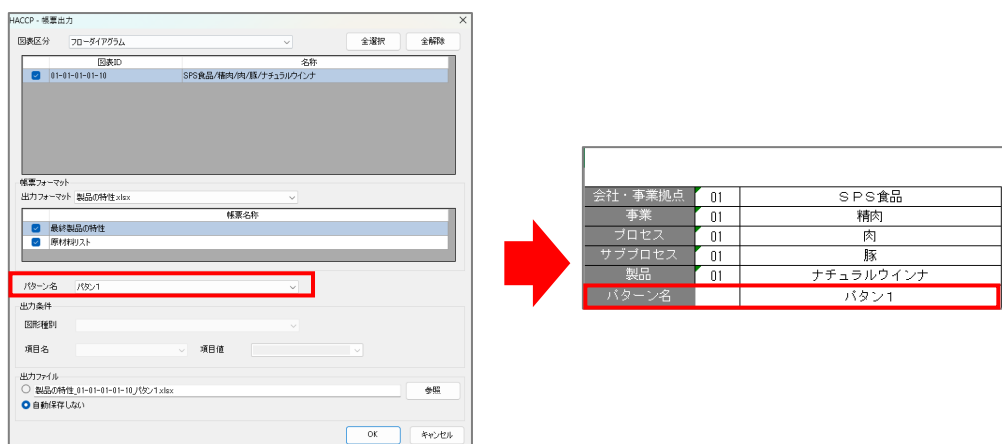
「帳票項目」ダイアログボックスから「項目名」に「パターン名」を指定します。



出力位置（行、列）を指定すると帳票上にパターン名を出力することができます。



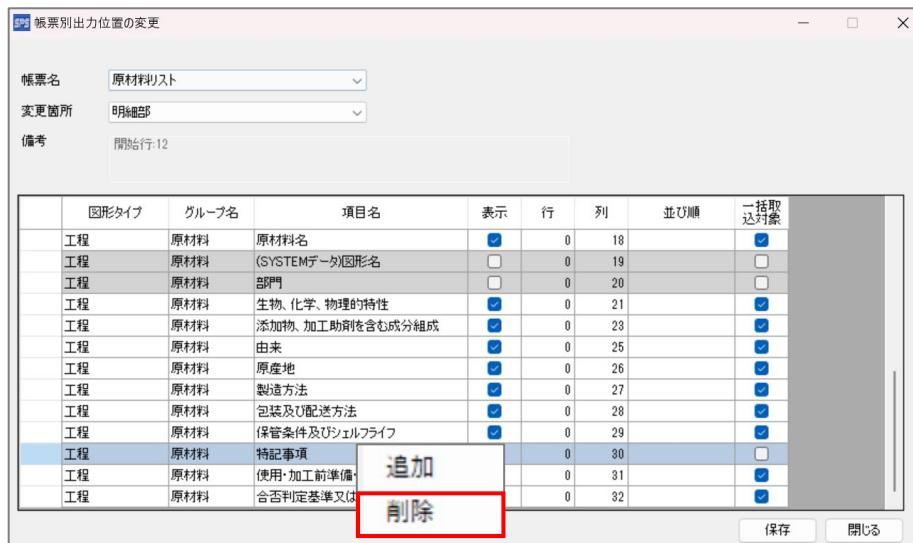
※帳票フォーマット（Excel）もタイトルやレイアウトを編集します。



（パターンについては、HACCPクリエイターユーザーズガイドをご参照ください。）

帳票出力項目の削除

リストより出力対象から削除する行を選択し、削除ボタンをクリックすると出力対象リストから選択された項目が削除できます。
ただし背景色は灰色に表示されているシステム管理用の項目は削除できません。



帳票名: 原材料リスト
変更箇所: 明細部
備考: 開始行:12

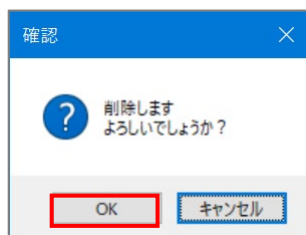
	図形タイプ	グループ名	項目名	表示	行	列	並び順	一括取 込対象
工程	原材料	原材料名		<input checked="" type="checkbox"/>	0	18		<input checked="" type="checkbox"/>
工程	原材料	(SYSTEMデータ)図形名		<input type="checkbox"/>	0	19		<input type="checkbox"/>
工程	原材料	部門		<input type="checkbox"/>	0	20		<input type="checkbox"/>
工程	原材料	生物、化学、物理的特性		<input checked="" type="checkbox"/>	0	21		<input checked="" type="checkbox"/>
工程	原材料	添加物、加工助剤を含む成分組成		<input checked="" type="checkbox"/>	0	23		<input checked="" type="checkbox"/>
工程	原材料	由来		<input checked="" type="checkbox"/>	0	25		<input checked="" type="checkbox"/>
工程	原材料	原産地		<input checked="" type="checkbox"/>	0	26		<input checked="" type="checkbox"/>
工程	原材料	製造方法		<input checked="" type="checkbox"/>	0	27		<input checked="" type="checkbox"/>
工程	原材料	包装及び配送方法		<input checked="" type="checkbox"/>	0	28		<input checked="" type="checkbox"/>
工程	原材料	保管条件及びシェルフライフ		<input checked="" type="checkbox"/>	0	29		<input checked="" type="checkbox"/>
工程	原材料	特記事項		<input type="checkbox"/>	0	30		<input type="checkbox"/>
工程	原材料	使用・加工前準備		<input checked="" type="checkbox"/>	0	31		<input checked="" type="checkbox"/>
工程	原材料	合否判定基準又は		<input checked="" type="checkbox"/>	0	32		<input checked="" type="checkbox"/>

追加
削除

保存 閉じる

削除前に確認ダイアログが表示されます。

確認メッセージが表示されるので「OK」ボタンをクリックして削除します。



確認

削除します
よろしいでしょうか？

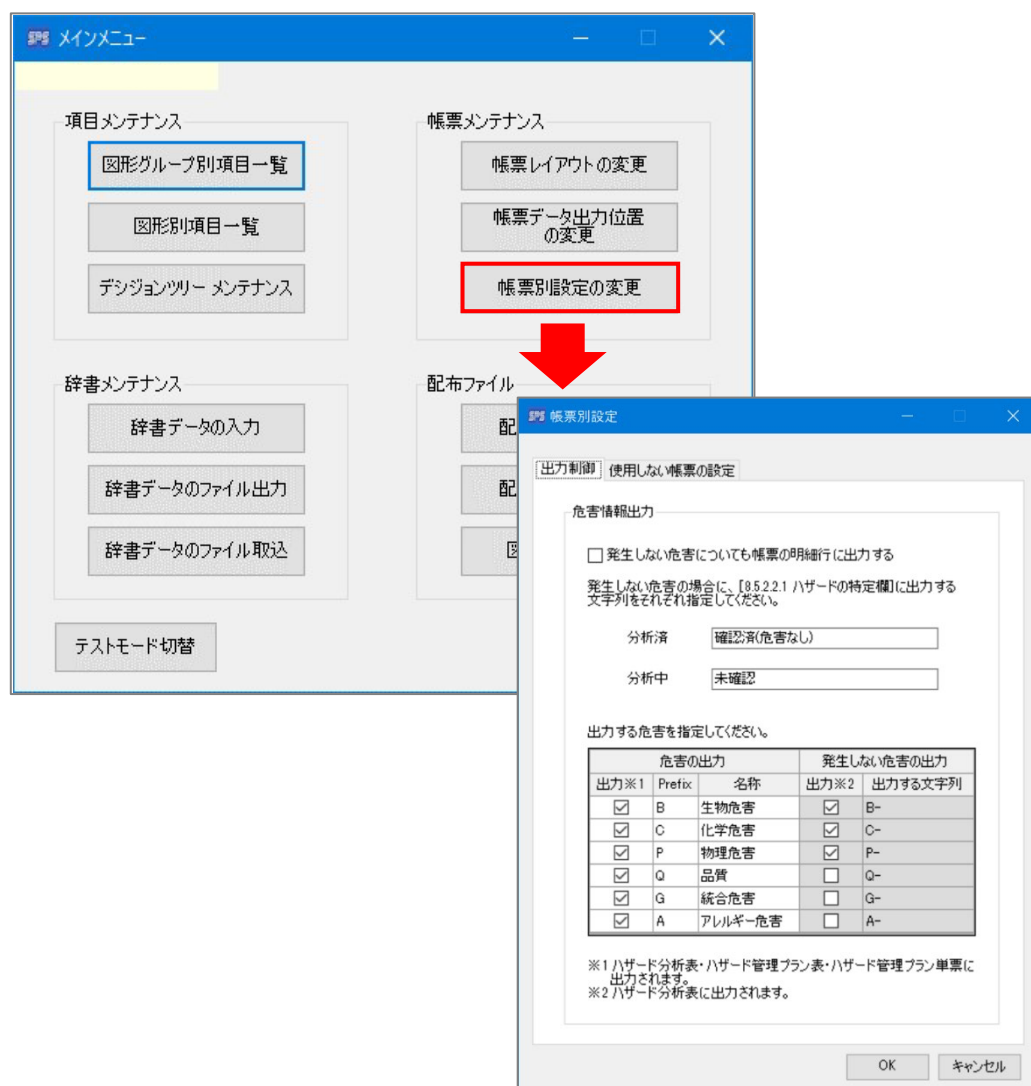
OK キャンセル

帳票別出力位置の変更ダイアログボックスの「保存」ボタンをクリックすると、削除情報が
確定します。

※項目を削除した場合は、列番号が欠番となりますので、直接列番号を修正し、帳票フォーマット（Excel）も列順を合わせ
てレイアウトを編集します。

帳票別設定の変更

各帳票の個別設定を行います。



出力制御

ハザード分析表・ハザード管理プラン表・ハザード管理プラン単票の帳票設定を行います。以下の設定を行います。

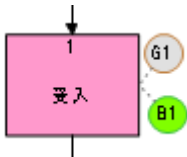
内容	説明
出力制御	発生しない危害についても帳票の明細行に出力する
分析済み	ハザード分析表の各工程図形の「確認済み」項目の状態によりハザード分析表内の「8.5.2.2.1 ハザードの特定」列の出力方法を制御します。詳細は「危害情報出力の条件」を参照してください。
分析中	ハザード分析表の各工程図形の「確認済み」にチェックが付いていない場合に、表示される文字列を指定します。初期設定では「未確認」が設定されています。

内容		説明
	危害の出力	ハザード分析表・ハザード管理プラン表・ハザード管理プラン単票に出力する危害を指定します。
	発生しない危害の出力	ハザード分析表に出力する「発生しない危害」を指定します。 ※「発生しない危害についても帳票の明細行に出力する」を使用する場合に設定が可能です。
使用しない帳票の設定		帳票出力時に表示しない帳票を指定します。

危害情報出力の条件

「発生しない危害についても帳票の明細行に出力」が設定されていない場合

紐づけられた危害図形の情報のみが表示されます。



危害情報出力

☐ 発生しない危害についても帳票の明細行に出力する

図表識別	工程番号	工程名	図表識別	分類	登録番号	8.5.1.5.3 現存の管理手段	8.5.2.2.1 ハザードの特定
01-01-01-01-10	1	受入	01-01-01-01-10	B1			生物危害の図形のハザードの特定
				G1	統合A-1	温度検査	品質・入荷時温度

「発生しない危害についても帳票の明細行に出力する」が設定されている場合

工程図形ダイアログボックス「工程管理」の「確認済み」の登録によって、ハザード分析表の「8.5.2.2.1 ハザードの特定」列の出力結果が異なります。

危害情報出力

☒ 発生しない危害についても帳票の明細行に出力する

発生しない危害の場合に、「8.5.2.2.1 ハザードの特定欄」に出力する文字列をそれぞれ指定してください。

分析済

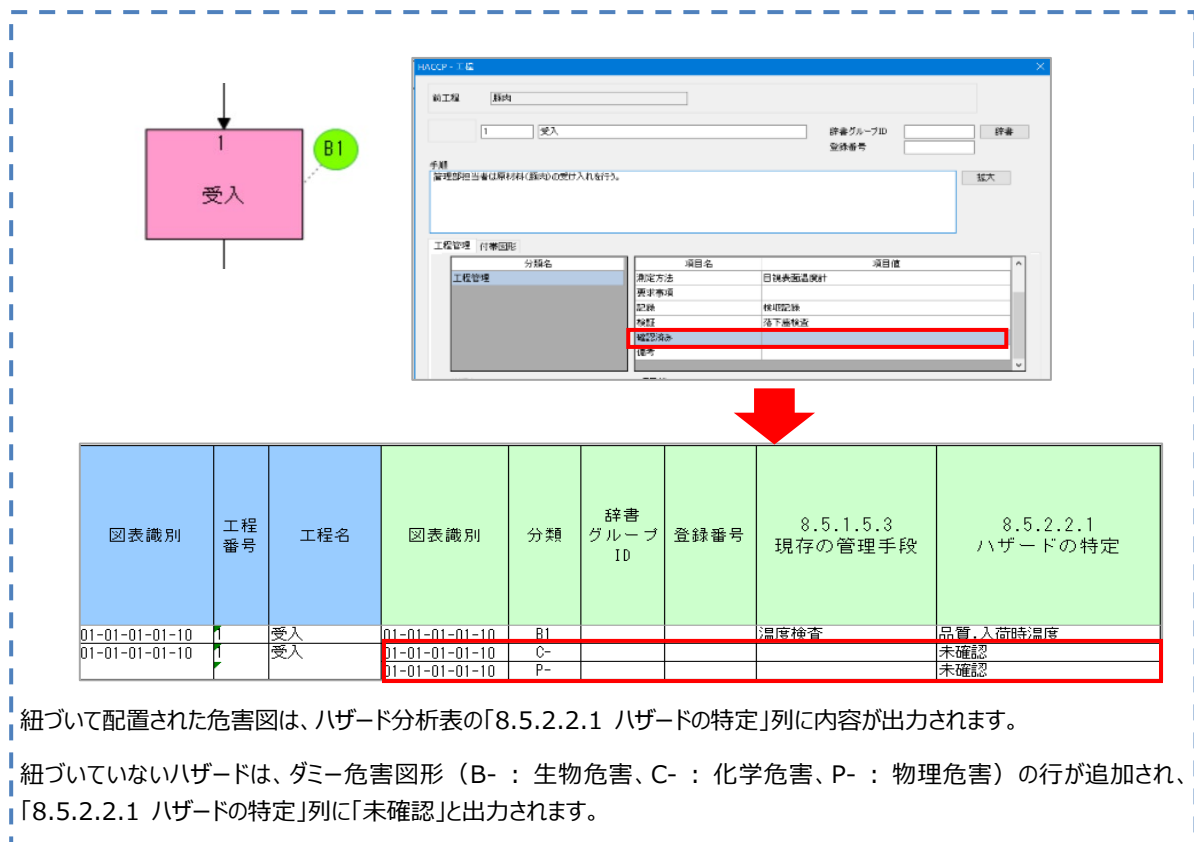
分析中

出力する危害を指定してください。

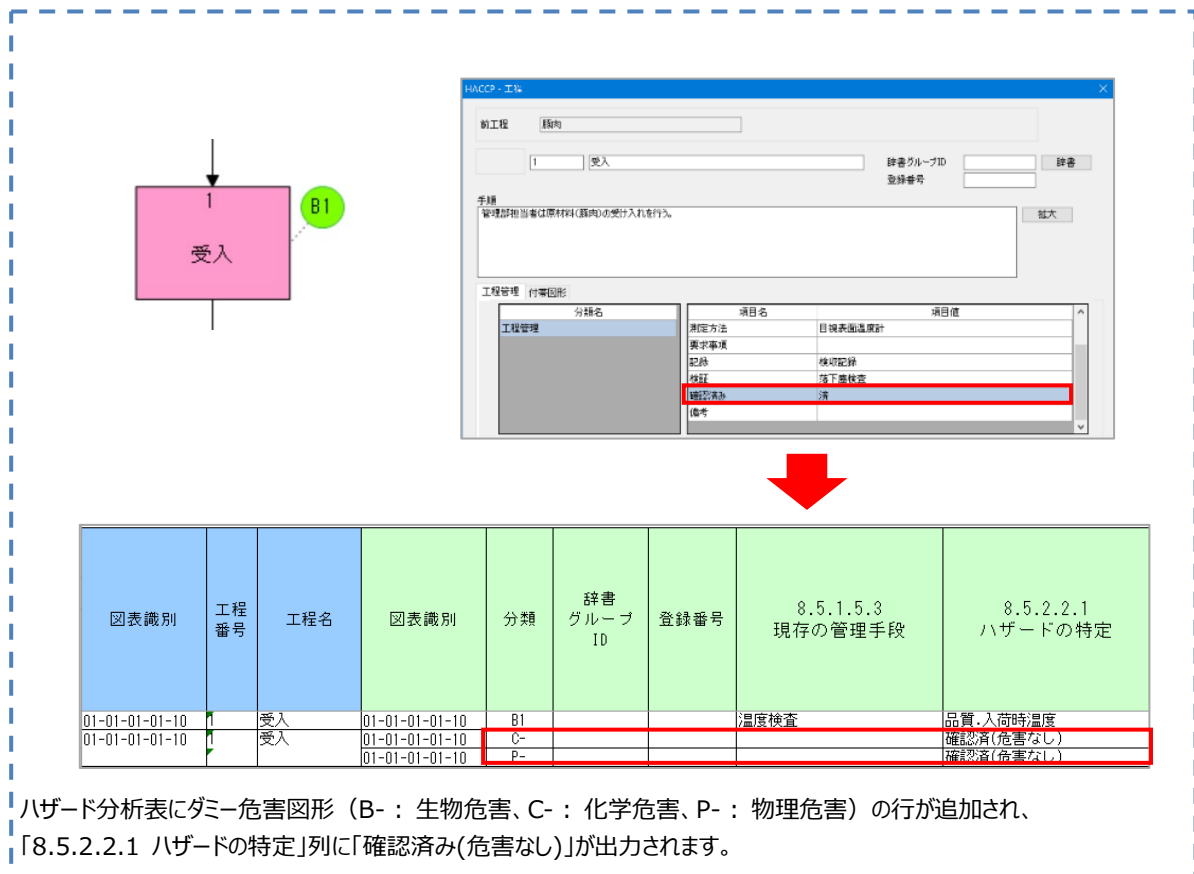
危害の出力			発生しない危害の出力	
出力※1	Prefix	名称	出力※2	出力する文字列
<input checked="" type="checkbox"/>	B	生物危害	<input checked="" type="checkbox"/>	B-
<input checked="" type="checkbox"/>	C	化学危害	<input checked="" type="checkbox"/>	C-
<input checked="" type="checkbox"/>	P	物理危害	<input checked="" type="checkbox"/>	P-
<input checked="" type="checkbox"/>	Q	品質	<input type="checkbox"/>	Q-
<input checked="" type="checkbox"/>	G	統合危害	<input type="checkbox"/>	G-
<input checked="" type="checkbox"/>	A	アレルギー危害	<input type="checkbox"/>	A-

※1 ハザード分析表・ハザード管理プラン表・ハザード管理プラン単票に出力されます。
※2 ハザード分析表に出力されます。

パターン 1：工程図形ダイアログボックスの「工程管理」の「確認済み」の項目が空白の場合



パターン 2：工程図形ダイアログボックスの「工程管理」の「確認済み」の項目が「済」の場合

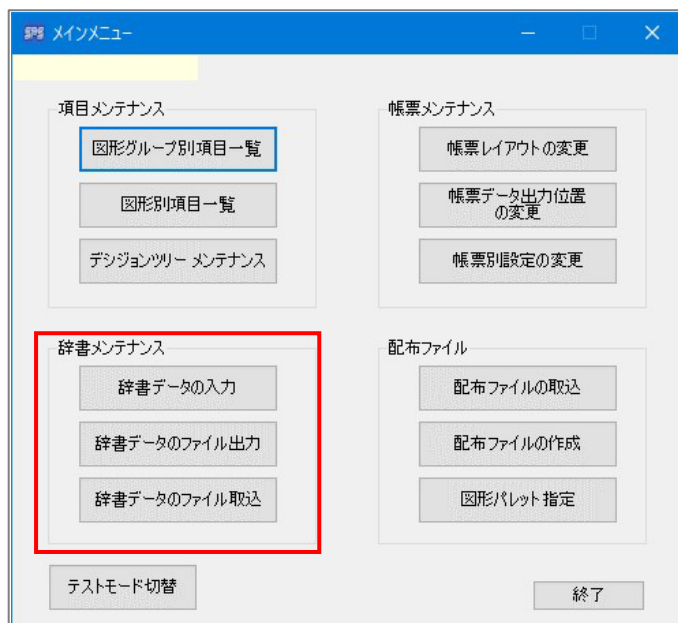


第 6 章 辞書メンテナンス

各 HACCP 図形に入力する内容をあらかじめ辞書として登録することができます。

辞書に登録された内容は HACCP 図形ダイアログボックスの辞書ボタンより呼び出します。

辞書の内容を呼び出すことで、入力操作を簡素化し、文言の統一を図ることができます。

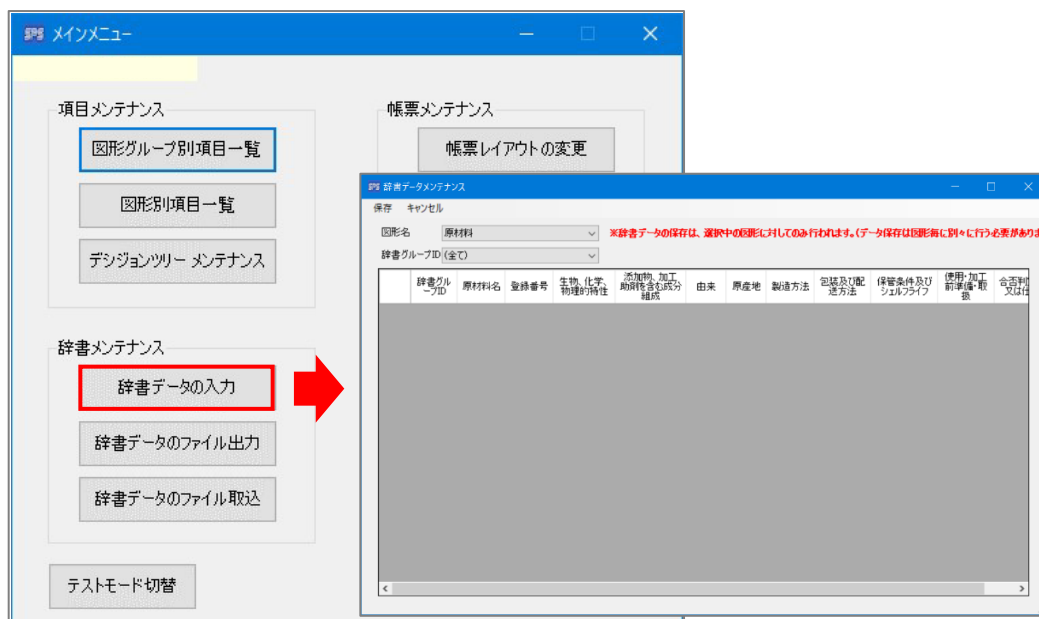


辞書データの入力

メインメニューの「辞書データの入力」ボタンをクリックし、「辞書データメンテナンス」ダイアログボックスを表示します。図形ごとに項目名が表示されます。必要な情報を入力し辞書に登録します。

すべての追加・編集後は、「保存」をクリックします。

※辞書データの保存は、選択中の図形に対してのみ行われます。図形毎にデータ保存を行う必要があります。



「辞書データメンテナンス」ダイアログボックスの各項目は以下の通りです。

内容	説明
保存	入力した辞書の内容を保存します。
キャンセル	辞書データメンテナンスダイアログボックスを閉じます。
図形名	辞書を登録する対象の図形名を指定します 以下の図形が指定できます。 ・原材料 ・工程 ・生物危害 ・化学危害 ・物理危害 ・品質 ・統合危害 ・アレルギー
辞書グループ I D	登録されている辞書の内容を表示します。

辞書の編集は辞書一覧内で右クリックし、メニューを表示します。



メニュー内容は以下の通りです。

内容	説明
行追加	辞書を新規登録します。辞書一覧に1行追加します。
行削除	選択されている辞書を削除します。
行挿入	選択されている行の上に行を追加します。
選択行コピー	選択されている行をコピーします。
貼り付け	選択行コピーでコピーされた行の内容を貼り付けます。

内容	説明
列幅の自動調整	各項目の列幅を自動的に調整します。
行幅の自動調整	各項目の行幅に合わせ自動的に調整します。

辞書データの入力には図形グループ別項目一覧もしくは図形別項目一覧で定義された項目が対象です。

ただし、対象項目が不使用の項目は辞書入力の対象外となります。

辞書一覧内の入力内容は以下の通りです。

内容	説明
辞書グループID	任意の辞書グループIDを入力します。（最大文字数：20）
登録番号	任意の登録番号を入力します。必須入力（最大文字数：10） 同じ図形名内で、辞書グループIDと登録番号で一意になるように入力します。
その他の項目	図形グループ項目一覧もしくは図形別項目一覧で定義された項目名が表示されます。 入力内容を確定する場合はENTERキーを入力します。 改行文字を入力する場合はCTRL+ENTERキーを入力します。 リスト選択した項目およびデジションツリーは、ダブルクリックすると専用の選択画面が表示されます。

登録された辞書は HACCP 図形ダイアログボックスの「辞書」ボタンより選択することができます。

選択した辞書の内容は図形ダイアログボックスに反映されます。

The first screenshot shows the 'HACCP - 原材料' dialog box. The '原材料' field is empty, and the '部門' field is set to 'ナチュラルウインナ'. The '辞書' button is highlighted with a red box.

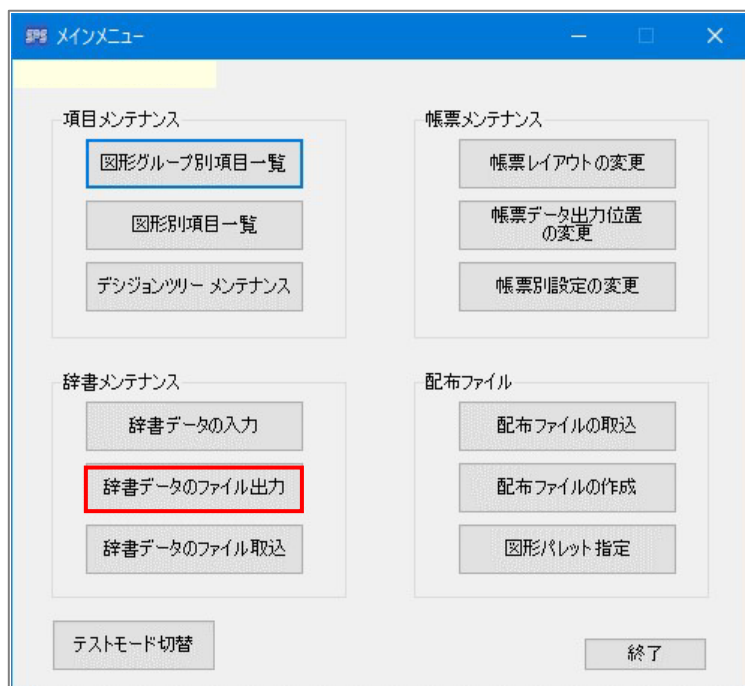
The second screenshot shows the 'HACCP - 辞書データ一覧' dialog box. It displays a list of dictionary entries. The entry for '加工品A' (Processed Product A) is selected, and the '辞書' button is highlighted with a red box.

The third screenshot shows the 'HACCP - 原材料' dialog box. The '原材料' field is now filled with '豚肉' (Pork). The '加工品A' button is highlighted with a red box.

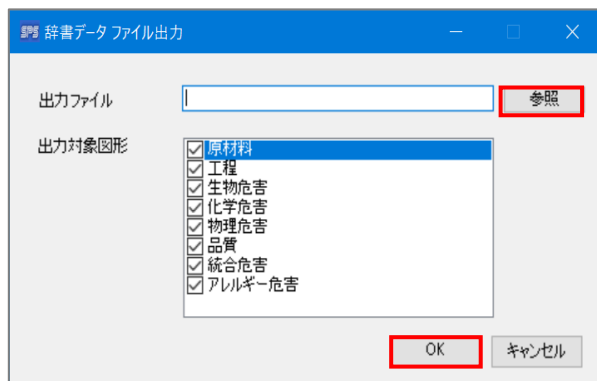
辞書データのファイル出力

辞書データは、Excel ファイルに出力することができます。
出力対象図形を複数選択した場合は、図形ごとにシートが出力されます。

- ① 「辞書データのファイル出力」ボタンをクリックします。



- ② 「辞書データファイル出力」ダイアログボックスの「参照」より保管場所を指定し、出力対象図形を選択します。



- ③ 確認メッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックします。



④ 指定した保管場所にExcelファイルが出力されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
	辞書グループ	登録番号	8.5.2.2.1 ハ	8.5.1.5.3/8	8.5.2.2.3 許容水準 の有無/ あり	8.5.2.2.3 許容水準 の有無/ なし	8.5.2.2.3	8.5.2.3 ハ ザード評価 (発生頻 度)/ 1	8.5.2.3 ハ ザード評価 (発生頻 度)/ 2	8.5.2.3 ハ ザード評価 (発生頻 度)/ 3	8.5.2.3 ハ ザード評価 (発生頻 度)/ 4	8.5.2.3 ハ ザード評価 (発生頻 度)/ 5	8.5.2.3 ハ ザード評価 (重篤度)/ 1	8.5.2.3 ハ ザード評価 (重篤度)/ 2	8.5.2.3 ハ ザード評価 (重篤度)/ 3	8.5.2.3 ハ ザード評価 (重篤度)/ 4	8.5.2.3 ハ ザード評価 (重篤度)/ 5
1																	
2																	
3																	
4																	
5																	
	原材料 工程 生物危害 化学危害 物理危害 品質 統合危害 アレルギー危害 +																

※辞書データファイル（Excel）は必要に応じて項目を入力してください。

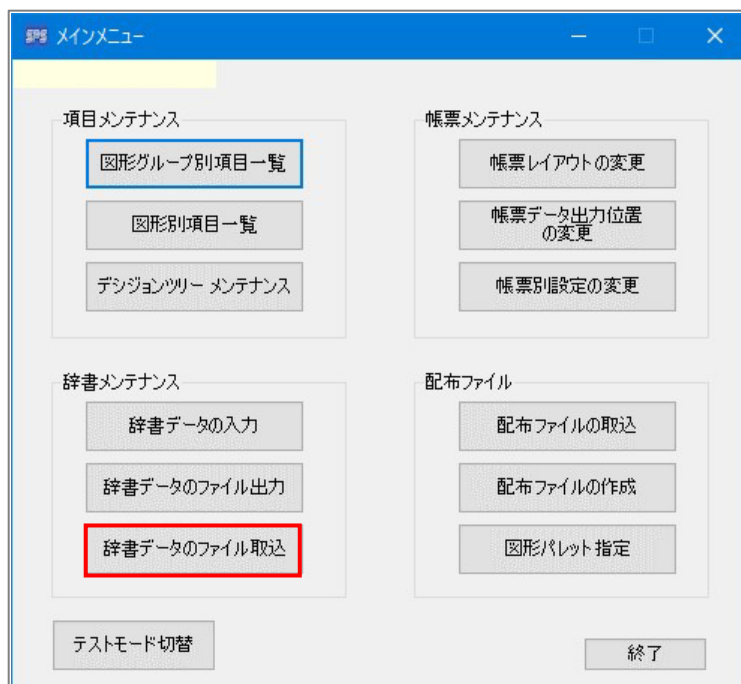
その際、「登録番号」を必ず入力してください。「登録番号」が入力をされていない場合、ファイルの保存はできますが、「辞書データのファイル取込」を行えません。

※「8.5.2.2.3 許容水準の有無」「8.5.2.3 ハザード評価(発生頻度)」な該当の項目を選択する場合は「○」（記号）を入力します。記号以外の入力の場合、エラーメッセージが表示されますので「○」（記号）に修正ください。

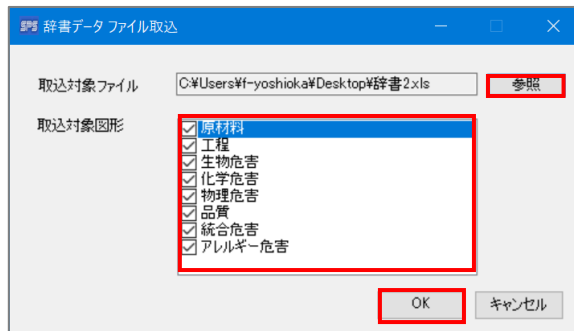
辞書データファイルの取り込み

「辞書データのファイル出力」で出力したフォーマットを更新したファイルを取り込むことができます。

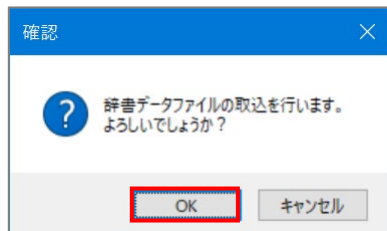
① メインメニューの「辞書データのファイル取込」ボタンをクリックします。



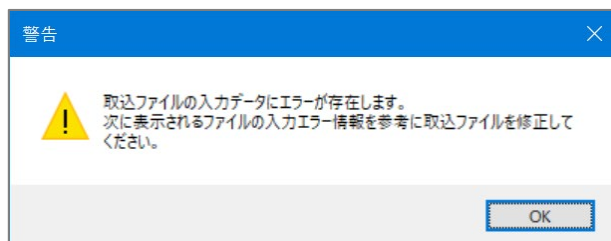
- ② 「辞書データのファイル取込」ダイアログボックスの「参照」よりファイルを指定し、取り込むExcelファイルに複数のシートがある場合、「取り込み対象図形」に表示されます。取り込み対象の図形名にチェックを入れて「OK」ボタンをクリックします。



- ③ 確認メッセージが表示されますで、「OK」ボタンをクリックします。



取り込み実行後に警告メッセージが表示された場合は、次に表示される Excel ファイルのエラー内容を確認し、修正後に再度取り込みを行ってください。



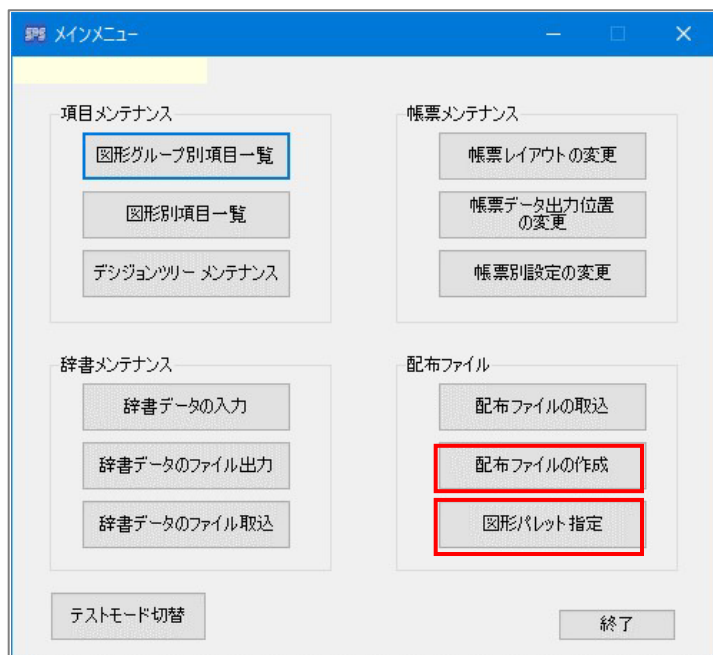
※エラーのセルは色で表記され、エラー内容はコメントに表示されます。

- 登録番号が未入力です。
- 不正な文字が入力されています。(○を入力してください。)

第 7 章 配布ファイル作成

管理者キットでカスタマイズした設定内容を HACCP クリエータに反映させるための配布ファイルを作成します。

作成した配布ファイルを他の PC に取り込む方法については「HACCP クリエータ ユーザーズガイド（第 4 章 配布ファイルの取込み機能）」をご覧ください。

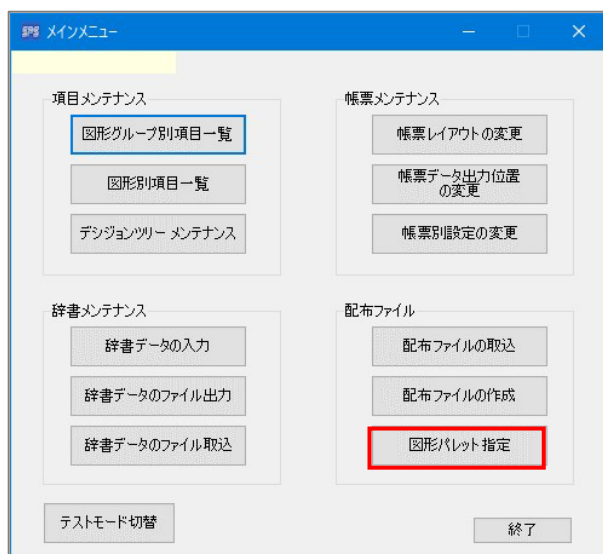


図形パレットの指定

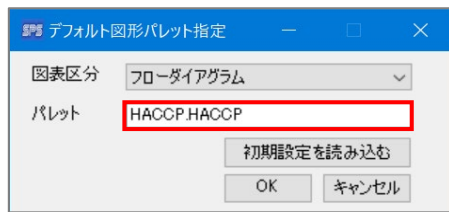
HACCP フローテンプレートを開いたときにデフォルトで表示される図形パレットを指定します。
自社用図形集を作成した場合は、配布ファイルを作成する前に以下の手順で設定してください。

※ 自社用図形集の作成については、P83 をご参照ください。

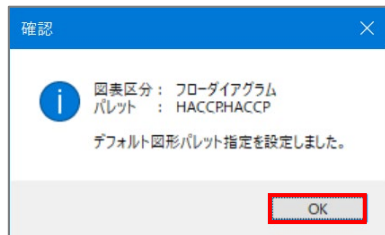
- ① メインメニューの「図形パレット指定」ボタンをクリックします。



② パレットに「コレクション名」+「.(半角ピリオド)」+「サブジェクト名」を入力し、「OK」ボタンをクリックします。



③ 確認メッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックします。



※登録名称に相違がある場合でも登録できますが、図形パレットは表示しません。半角全角にご注意いただき、図形集と同じ名称を登録してください。

配布ファイルの作成

管理者キットで項目名や帳票フォーマットを変更しただけでは HACCP クリエータに反映されていません。設定変更を行った場合は、配布ファイルを作成します。

① 「配布ファイル作成」ボタンをクリックします。



② 「作成者」「コメント」を入力し、「参照」ボタンより保存先を指定します。

自社用にカスタマイズした図形集は、コレクションの「追加」ボタンを選択し指定します。また、iGrafxテンプレートは、「テンプレート」の「追加」ボタンを選択し指定します。

※図形集、iGrafxテンプレートが複数ある場合は、複数指定することができます。

③ 「OK」ボタンをクリックするとメッセージが表示されます。

作成した配布ファイルを他の PC に取り込む方法については「HACCP クリエータユーザーズガイド（配布ファイルの取込）」をご覧ください。

「配布ファイルの作成」ダイアログボックスの各項目は以下の通りです。

内容		説明
作成者・コメント		この配布ファイルの作成者情報、変更点や変更の際の注記などを入力します。HACCPクリエイータで配布ファイルを取込んだときに表示されます。
保存先（指定必須）		作成する配布ファイルの保存先とファイル名を指定します。 「参照」ボタンをクリックして、保存先を指定し配布ファイルの名称を入力します。 配布ファイルの拡張子は「.igb」です。名前に「.」（ピリオド）が入ったファイル名をつけた場合は、拡張子が自動でつかない場合があります。その場合は、作成を実行する前に拡張子を手動で付けてください。
同梱ファイル		iGrafxで作成した、自社用の図形集やiGrafxテンプレートを他のユーザーに導入するために、配布ファイルに添付することができます。
	コレクション	iGrafxで作成した自社用の図形集を複数添付することができます。
	テンプレート	iGrafxで作成したiGrafxテンプレートを複数添付することができます。

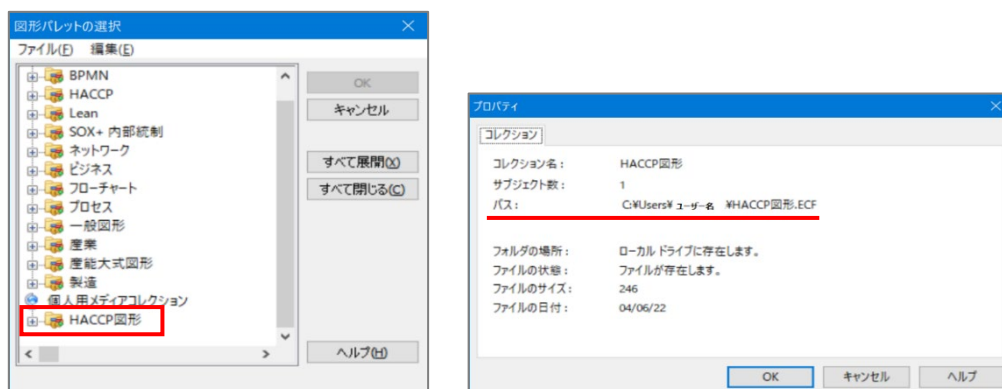
配布ファイルに同梱する図形集とテンプレート

iGrafx FlowCharter で作成した図形集（コレクション）や iGrafx テンプレートを、配布ファイル作成時に同梱することができます。

HACCP クリエータで配布ファイルを取込と自動的に必要な保存場所に展開されます。
それぞれのファイルが保存される場所は、以下の通りです。

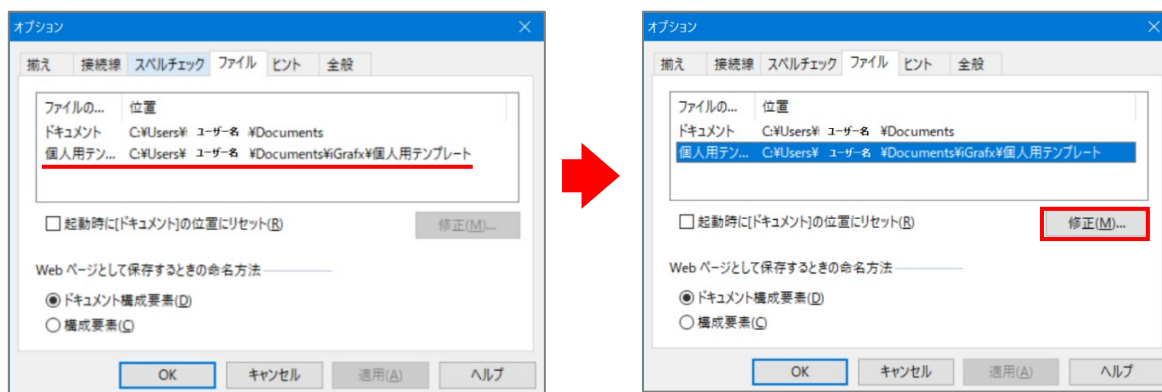
図形集（コレクション）

個人用メディアコレクションの中に展開されます。iGrafx を開き「F9」を押して「図形パレットの選択」ダイアログボックスを表示します。表示された「図形パレットの選択」ダイアログボックスのフォルダを選択し、右クリックでプロパティを開きます。パスに記載された場所に保存されています。



テンプレート

テンプレートは個人用テンプレートフォルダに展開されます。iGrafx の「ツール」メニューの「オプション」を開き「ファイル」タブを選択し個人用テンプレートの保管場所を表示します。



個人用テンプレートの保存場所は、「修正」ボタンで自由に変更することができます。

※ 配布ファイルを取り込むと、添付された*.ecf／*.sbj ファイル、*.igt ファイルは所定のフォルダに保存されます。（同名のファイルがあれば上書きします。）

間違って保存されたファイルや不要になったファイルができた場合は、ファイルを所定のフォルダから直接削除してください。

配布先ユーザーのカスタマイズ定義データの取込位置

他の PC で配布ファイルの取込を実行すると、取り込んだ定義情報は以下の場所に保存されます。配布ファイルの取込みには、以下のフォルダが編集できる状態になっている必要があります。

C:\Users\「ユーザー名」\AppData\Roaming\iGrafx\ProDM\UserConfig

第 8 章 自社用図形集とiGrafxテンプレートを作る

フローダイアグラムを作成するにあたり、使用する図形やフローの向き、描画上のルールや印刷設定などを決めます。

使用する図形は、自社用図形集として作成し、フローの向きや描画上のルール、印刷設定などは iGrafx テンプレートにあらかじめ設定しておきます。

自社用図形集を作成する

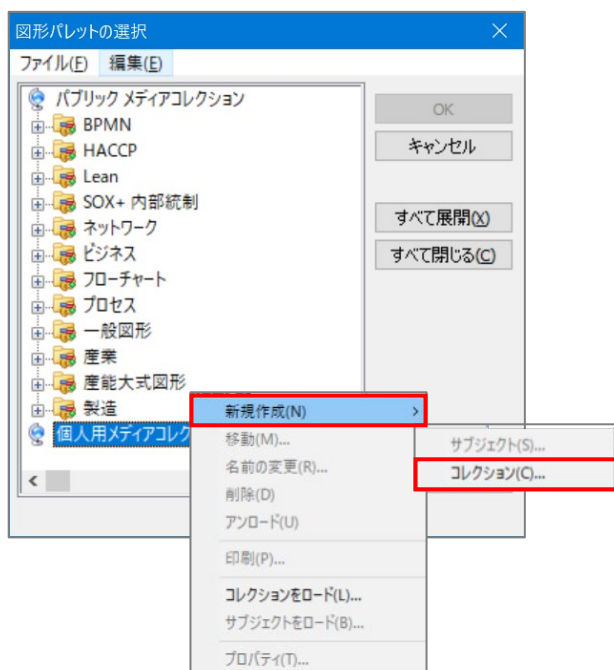
個人用メディアコレクションの中に自社用の図形集を保存し利用することができます。

インストール時に用意されている HACCP コレクションの「HACCP」図形をコピーして、自社用に用意した図形集の「カスタム」サブジェクトに貼り付けをすることで、簡単にオリジナルの図形集が作成できます。

作成した図形集は配布ファイル作成時に同梱することができます。

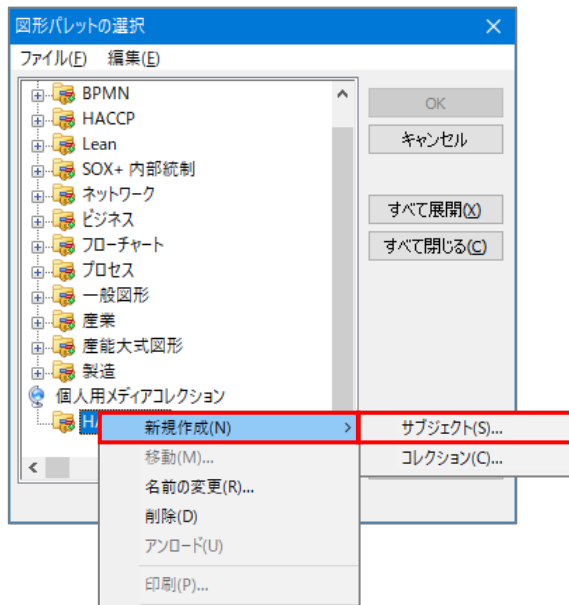
自社用図形集の作成方法

- ① iGrafxを起動しキーボードの「F9」を押すと「図形パレットの選択」ダイアログボックスが表示されます。
- ② 個人用メディアコレクションを右クリックし「新規作成」―「コレクション」を選択します。



- ③ 新しいコレクションが作成されますので任意の名前を入力します。

- ④ 次に画像保存先となるサブジェクトを作成します。コレクション名の上で右クリックをし、「新規作成」－「サブジェクト」を選択します。



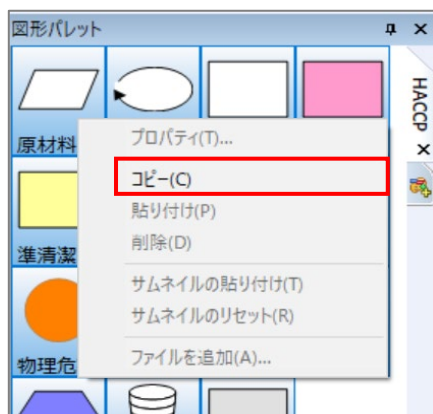
- ⑤ 新しいサブジェクトが作成されますので任意の名前を入力します。
- ⑥ 作成したサブジェクト名を選択し、「OK」ボタンをクリックすると図形パレットに表示されます。
- ⑦ 図形パレットにコピーしたい図形集を表示し、図形の上で右クリック「コピー」を選択します。
複数の図形を一度にコピーする方法として以下の複数選択の方法があります。
- Shift キーを押しながら図形を選択すると、含まれた範囲を複数選択します。
 - Ctrl キーを押しながら図形を選択すると、選択した図形のみを複数選択します。

図形の編集方法

図形のコピー

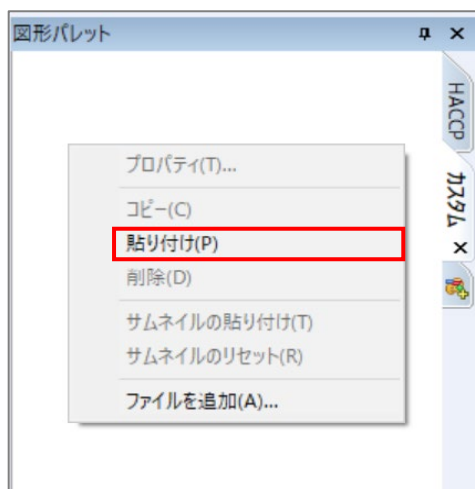
コピーしたい図形の上で右クリックをし、「コピー」を選択します。
複数の図形を一度にコピーする方法として以下の複数選択の方法があります。

- 同じシート内で 1 つの図形を選択して、Shift キーを押しながら離れた図形を選択すると、その範囲で複数選択が可能です。
- 同じシート内で Ctrl キーを押しながら、任意の図形をクリックして複数選択します。



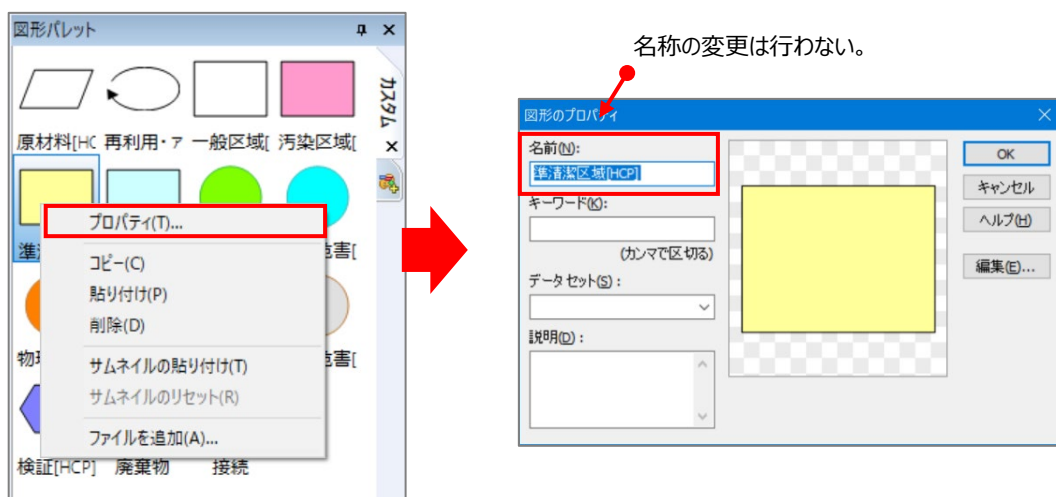
図形の貼り付け

【自社配布用】コレクションの「カスタム」サブジェクトを開き、その上で右クリックして、メニューから貼り付けを選択します。



図形の名前

図形の名前はシステム管理項目のため変更は行わないでください。



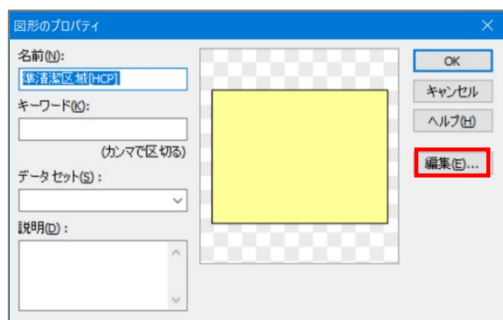
システムで管理している図形と名前は下記の通りです。

HACCP 図形	図形	図形の意味	図形の名前
原材料		原材料	原材料[HCP]
工程		一般区域	一般区域[HCP]
		汚染区域	汚染区域[HCP]
		準清潔区域	準清潔区域[HCP]
		清潔区域	清潔区域[HCP]

HACCP 図形	図形	図形の意味	図形の名前
危害		生物危害	生物危害[HCP]
		化学危害	化学危害[HCP]
		物理危害	物理危害[HCP]
		品質	品質[HCP]
		統合危害	統合危害[HCP]
		アレルギー危害	アレルギー危害[HCP]
検証		検証	検証[HCP]

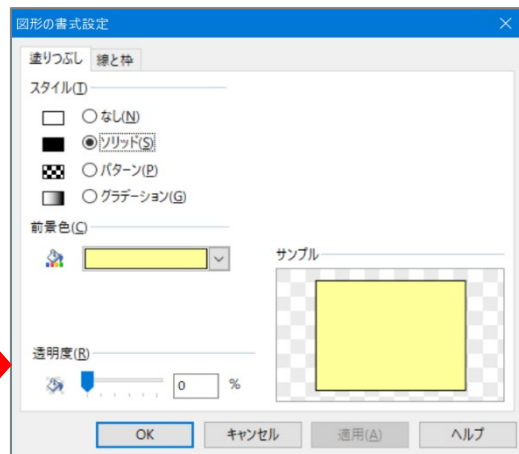
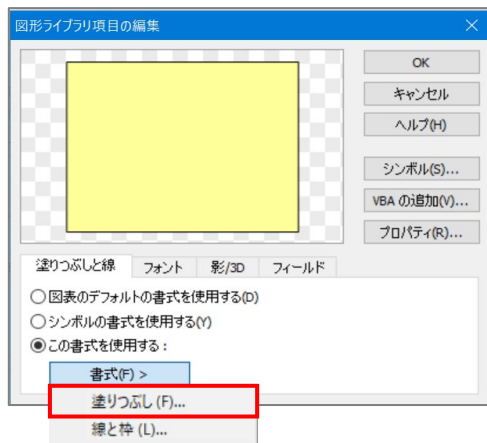
図形の書式変更

- ① 図形パレットの図形を右クリックし、「プロパティ」を選択して「図形のプロパティ」を開きます。
- ② 「編集」ボタンをクリックして「図形ライブラリ項目の編集」ダイアログボックスを開きます。



- ③ 「図表のデフォルト書式を使う」にチェックが入っていると、フロー上に追加したときに、追加した先の図表もしくはファイルの図形に関する初期設定が反映されます。

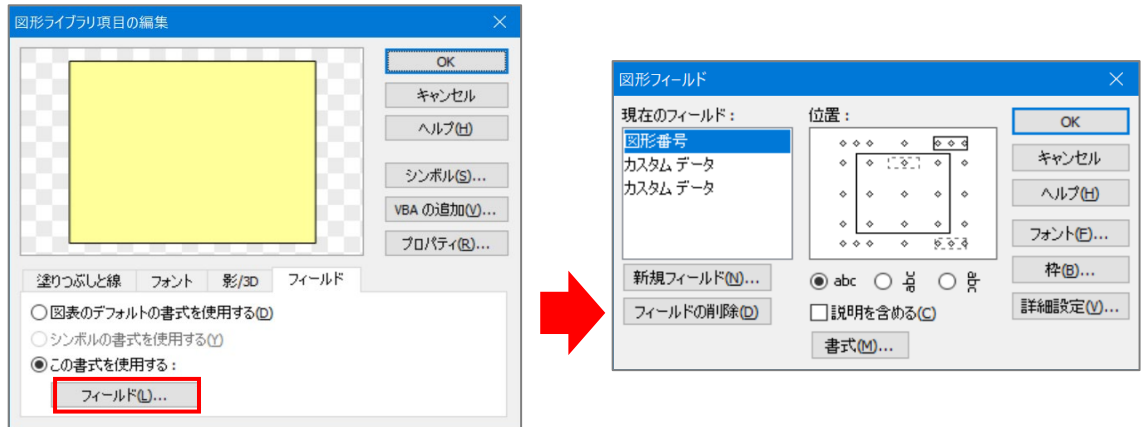
図形固有で設定する場合は「この書式を使用する」にチェックを入れて書式ボタンを押し、フォント、塗りつぶし、線と枠、影／3Dを選択して各ダイアログボックスを表示し、任意の設定に変更してください。



図形のフィールドの変更

図形が内部的に持っている値をフローダイアグラムの図形のまわりに表記する機能です。

図形番号などのフィールド表記の書式や表記場所を変更することができます。
「フィールド」ボタンをクリックして「図形フィールド」ダイアログボックスを開きます。



「現在のフィールド」リストに表示されているフィールドを選択すると該当する表示位置の枠が実線にて表示されます。

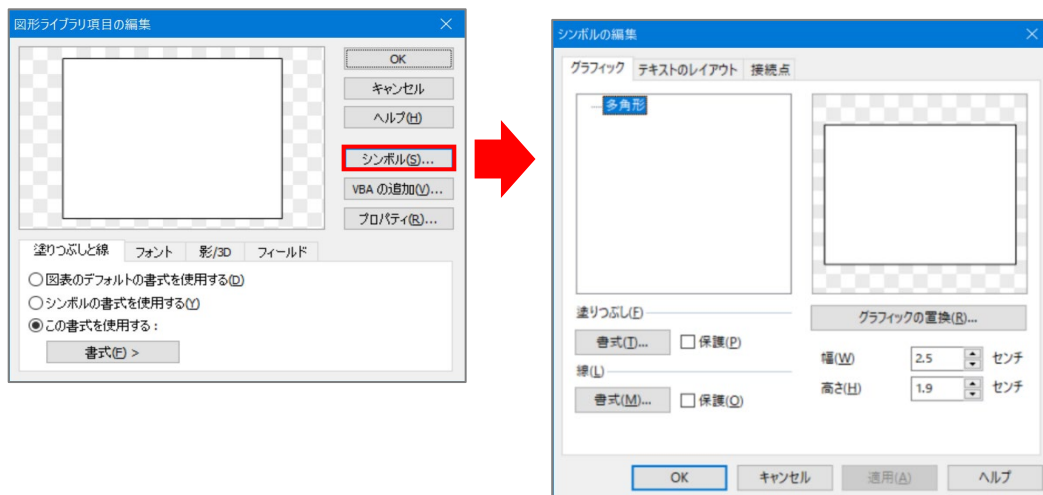
※フィールドの表示位置や書式の変更のみ可能です。

※ HACCP 図形では、フィールド設定に図形番号の表示位置と 2 つの図形情報が登録されています。図形番号は、フィールド画面の「詳細設定」で非表示にしてありますので、画面上に配置した際に表示されません。

図形のシンボルの変更

図形のサイズ、テキストのレイアウト、接続点の設定を変更することができます。

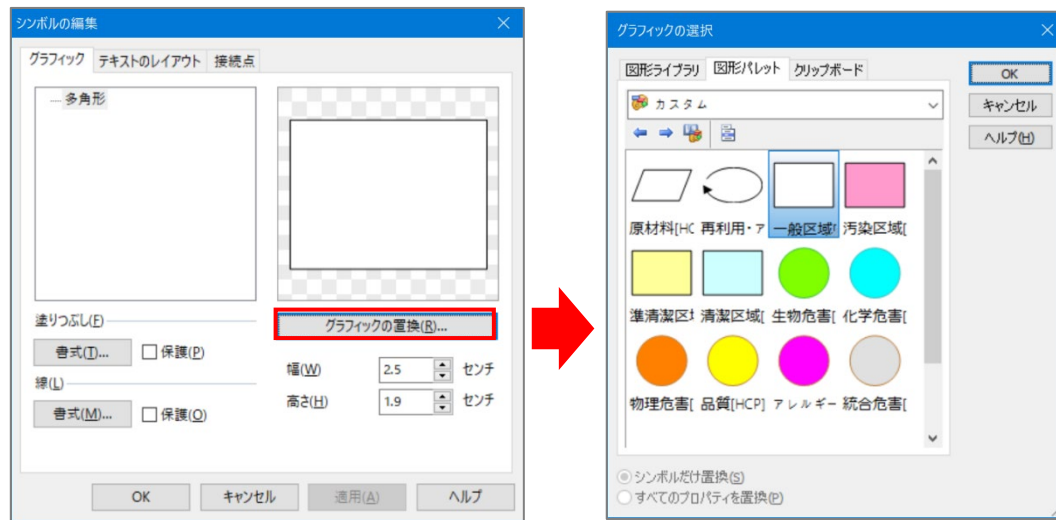
「シンボル」ボタンをクリックして「シンボルの編集」ダイアログボックスを開きます。



グラフィックタブでサイズを定義することができます。

※「図形ライブラリ項目の編集画面」にある、「VBA の追加」ボタンは絶対に押さないでください。間違えて押した場合は、その図形は破棄して、新しくサンプルコレクションからコピーして作りなおしてください。

グラフィックの置換ボタンをクリックすると、「グラフィックの選択」ダイアログボックスが開きます。図形パレットなどから任意の図形を選び、その図形のシンボルに置換することができます。（元の書式は残ります）



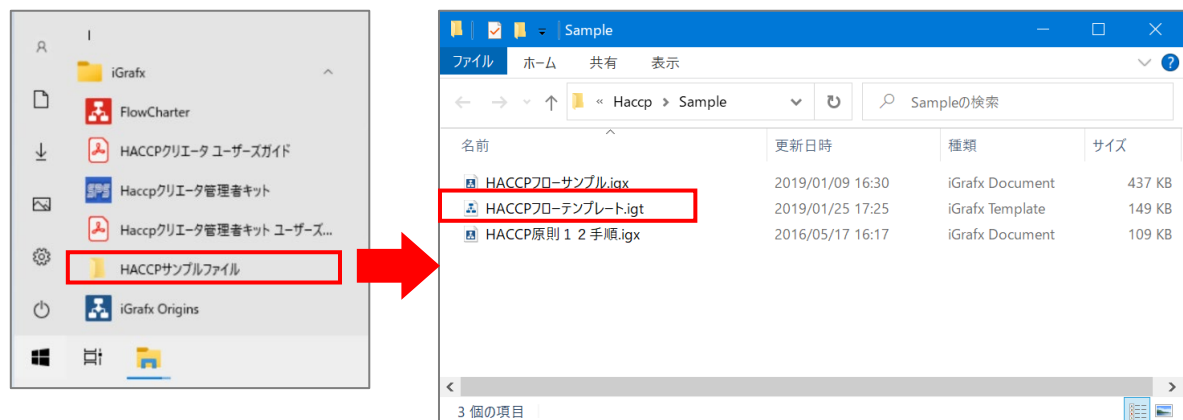
塗りつぶしと線の保護にチェックを入れた場合は、隣の書式ボタンがアクティブになり、そこで設定した書式が、フロー上で書式変更しようとしても保護されます。

iGrafxテンプレートの作成

iGrafxテンプレートサンプルの活用

HACCP クリエータをインストールすると、「スタート」メニューの中の「すべてのプログラム」内の「すべてのプログラム」の「iGrafx」メニューの中に「HACCP サンプルファイル」というメニューが作られます。このメニューをクリックすると、各種サンプルが入ったフォルダが開きます。

テンプレートを使用する際には、本フォルダの「HACCP フローテンプレート.igt」を利用すると便利です。



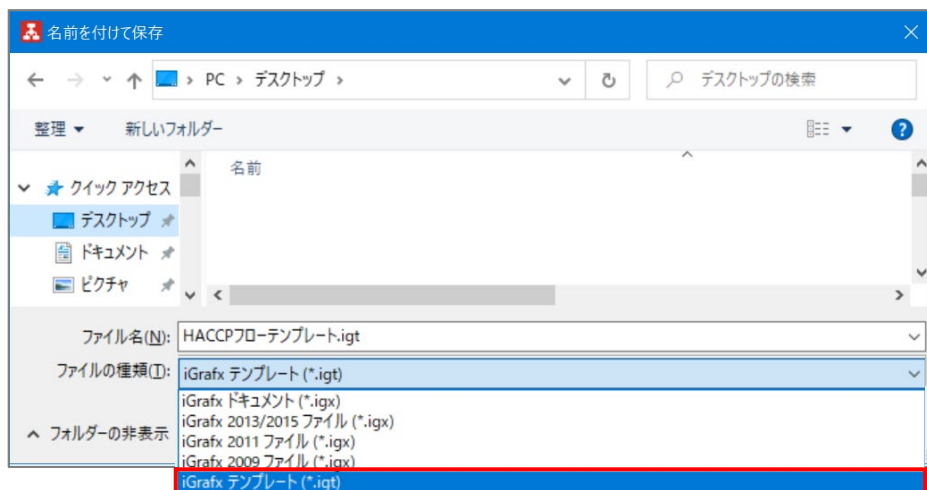
この中に以下の iGrafx テンプレートサンプルが保存されています。

- HACCP フローテンプレート

iGrafx テンプレートサンプルでは、以下の設定があらかじめ定義されています。

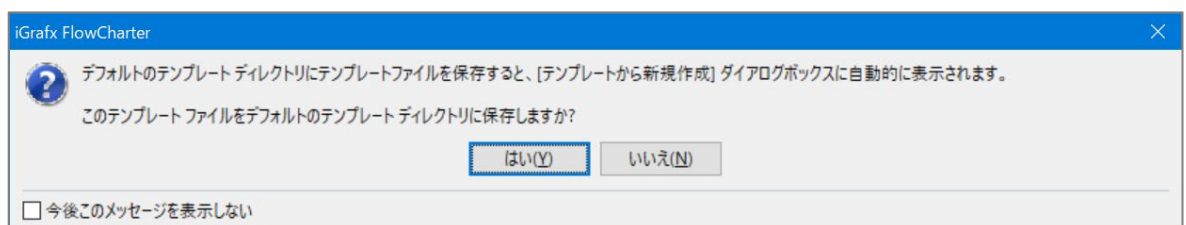
- Swimlane（垂直）を追加し初期設定
- グリッドドットのスペースを 1 ミリへ変更
- ページ外コネクタの自動コネクタ設定
- ページ設定のページのスケールを 70%に設定
- ページ設定のヘッダーの左と右セクションにプロセス情報
- ページ設定のオプションでブックモードを選択し、各ページに Swimlane のヘッダーが印刷されるよう設定
- 図表のドキュメントのデフォルト設定で図形やテキストのフォントを 10 ポイントへ変更
- 工程項目のフィールド表示用のカスタムフィールド(管理基準)を定義

HACCP フローテンプレートを開いて編集を行った場合は、「名前を付けて保存」を選択し保存してください。テンプレートとして利用の際は「ファイルの種類」を「iGrafx テンプレート(*.igt)」に選択して保存してください。



※保存場所は任意の場所を指定します。

「iGrafx テンプレート(*.igt)」を選択して保存すると、以下のメッセージが表示されますので、「いいえ」をクリックしてください。



※このメッセージで「はい」を選んだ場合は、作成した igt ファイルは、iGrafx FlowCharter の iGrafx テンプレートを保存する領域へ保存し、「名前を付けて保存」で選択した保存場所にファイルが保存されません。

第9章 付録

以下の表は、各シートの初期設定の列情報です。

〔表示〕が○の項目は初期設定の表示項目で、－は非表示項目を表します。

一括取込時に対象のデータが取り込まれるかどうかについては「取込」列をご参照ください。

「キー」：このキー項目が取込先フロー内のデータと一致しなければ全てのデータは取り込まれません。

「－」：このデータは取り込むことができません。

「テ」：テキストで入力された文章がそのまま取り込まれます。

「→」：Excel上で「→」と入力されていると、取り込みにより画面の該当する項目にチェックがつきます。

「リ」：リスト項目に存在しているデータのみ取り込まれます。

最終製品の特性シートの出力位置情報

行	列		表示	取込	項目	説明および備考
1	3	C	○	－	版数	文書情報の図表識別を出力
8	3	C	○	テ	会社・事業拠点ID	会社・事業拠点IDを出力
8	4	D	○	テ	会社・事業拠点	会社・事業拠点を出力
9	3	C	○	テ	事業名ID	事業名IDを出力
9	4	D	○	テ	事業名	事業名を出力
10	3	C	○	テ	プロセスID	プロセスIDを出力
10	4	D	○	テ	プロセス名	プロセス名を出力
11	3	C	○	テ	サブプロセスID	サブプロセスIDを出力
11	4	D	○	テ	サブプロセス名	サブプロセス名を出力
12	3	C	○	テ	製品ID	製品IDを出力
12	4	D	○	テ	製品名	製品名を出力
15	2	B	○	テ	組成	組成を出力
18	2	B	○	テ	生物,化学,物理的特性	生物,化学,物理的特性を出力
21	2	B	○	テ	シェルフライフ及び保管条件	シェルフライフ及び保管条件を出力
24	2	B	○	テ	包装	包装を出力
27	2	B	○	テ	表示,取り扱い,調整,使用法	表示,取り扱い,調整,使用法を出力
30	2	B	○	テ	配送方法	配送方法を出力
34	2	B	○	テ	意図した用途	意図した用途を出力
37	3	C	○	テ	版数	版数を出力

行	列		表示	取込	項目	説明および備考
38	3	C	○	テ	作成者	作成者を出力
38	7	G	○	テ	作成日	作成日を出力
39	3	C	○	テ	最終更新者	最終更新者を出力
39	7	G	○	テ	最終更新日	最終更新日を出力
40	3	C	○	テ	承認者	承認者を出力
40	7	G	○	テ	承認日	承認日を出力

原材料リストシート出力位置情報

列		表示	取込	項目	説明および備考
1	A	－	－	図表識別	文書情報の図表識別を出力
2	B	－	－	会社・事業拠点ID	文書情報の会社・事業拠点IDを出力
3	C	－	－	会社・事業拠点名	文書情報の会社・事業拠点名を出力
4	D	－	－	事業ID	文書情報の事業IDを出力
5	E	－	－	事業名	文書情報の事業名を出力
6	F	－	－	プロセスID	文書情報のプロセスIDを出力
7	G	－	－	プロセス名	文書情報のプロセス名を出力
8	H	－	－	サブプロセスID	文書情報のサブプロセスIDを出力
9	I	－	－	サブプロセス名	文書情報のサブプロセス名を出力
10	J	－	－	製品ID	文書情報の製品IDを出力
11	K	－	－	製品名	文書情報の製品名を出力
12	L	○	キー	図表識別	文書情報の図表識別を出力
13	M	－	－	原材料No.	システム利用セル（変更不可）
14	N	○	キー	工程 図形No（表示用）	図形No.を出力
15	O	－	－	OBJECT ID	システム利用セル（変更不可）
16	P	○	テ	辞書グループID	辞書グループIDを出力
17	Q	○	テ	登録番号	登録番号を出力
18	R	○	リ	原材料名	原材料名を出力
19	S	－	テ	図形名称	図形名を出力

列		表示	取込	項目	説明および備考
20	T	－	テ	製品名	製品名を出力
21	U	○	テ	生物、化学、物理的特性	生物、化学、物理的特性を出力
23	W	○	テ	添加物、加工助剤を含む成分組成	添加物、加工助剤を含む成分組成を出力
25	Y	○	テ	由来	由来を出力
26	Z	○	テ	原産地	原産地を出力
27	AA	○	テ	製造方法	製造方法を出力
28	AB	○	テ	包装及び配送方法	包装及び配送方法を出力
29	AC	○	テ	保管条件及びシェルフライフ	保管条件及びシェルフライフを出力
30	AD	○	テ	使用又は加工前の準備及び又は取扱	使用又は加工前の準備及び又は取扱を出力
32	AF	○	－	合否判定基準又は仕様書	合否判定基準又は仕様書を出力

工程管理表シート出力位置情報

列		表示	取込	項目	説明および備考
1	A	－	－	図表識別	文書情報の図表識別を出力
2	B	－	－	会社・事業拠点ID	文書情報の会社・事業拠点IDを出力
3	C	－	－	会社・事業拠点名	文書情報の会社・事業拠点名を出力
4	D	－	－	事業ID	文書情報の事業IDを出力
5	E	－	－	事業名	文書情報の事業名を出力
6	F	－	－	プロセスID	文書情報のプロセスIDを出力
7	G	－	－	プロセス名	文書情報のプロセス名を出力
8	H	－	－	サブプロセスID	文書情報のサブプロセスIDを出力
9	I	－	－	サブプロセス名	文書情報のサブプロセス名を出力
10	J	－	－	製品ID	文書情報の製品IDを出力
11	K	－	－	製品名	文書情報の製品名を出力
12	L	○	キー	図表識別	文書情報の図表識別を出力
13	M	－	－	Prifix	システム利用セル（変更不可）
14	N	○	キー	工程No.	工程番号を出力
15	O	○	テ	工程名	工程名を出力

列		表示	取込	項目	説明および備考
16	P	－	－	辞書グループID	辞書グループIDを出力
17	Q	－	－	登録番組	登録番組を出力
18	R	－	－	図形名称	図形名称を出力
19	S	○	テ	手順	手順を出力
20	T	○	テ	担当者	担当者を出力
21	U	○	テ	管理項目	管理項目を出力
22	V	○	テ	管理基準	管理基準を出力
23	W	○	テ	測定方法	測定方法を出力
24	X	○	テ	要求事項	要求事項を出力
25	Y	○	テ	記録	記録を出力
26	Z	○	テ	検証	検証を出力
27	AA	－	－	確認済み	確認済みを出力
28	AB	○	テ	備考	備考を出力

ハザード分析表シート出力位置情報

列		表示	取込	項目	説明および備考
1	A	－	－	図表識別	文書情報の図表識別を出力
2	B	－	－	会社・事業拠点ID	文書情報の会社・事業拠点IDを出力
3	C	－	－	会社・事業拠点名	文書情報の会社・事業拠点名を出力
4	D	－	－	事業ID	文書情報の事業IDを出力
5	E	－	－	事業名	文書情報の事業名を出力
6	F	－	－	プロセスID	文書情報のプロセスIDを出力
7	G	－	－	プロセス名	文書情報のプロセス名を出力
8	H	－	－	サブプロセスID	文書情報のサブプロセスIDを出力
9	I	－	－	サブプロセス名	文書情報のサブプロセス名を出力
10	J	－	－	製品ID	文書情報の製品IDを出力
11	K	－	－	製品名	文書情報の製品名を出力
12	L	○	キー	図表識別	文書情報の図表識別を出力
13	M	－	－	工程No.	システム利用セル（変更不可）

列		表示	取込	項目		説明および備考
14	N	○	キー	工程図形No.（表示用）		工程No.を出力
15	O	－	－	OBJECTID		システム利用セル（変更不可）
16	P	○	テ	工程名		工程名を出力
17	Q	－	－	辞書グループID		辞書グループIDを出力
18	R	－	－	登録番号		登録番号を出力
19	S	－	－	図形名称		図形名称を出力
20	T	－	－	手順		手順を出力
21	U	－	－	担当者		担当者を出力
22	V	－	－	管理項目		管理項目を出力
23	W	－	－	管理基準		管理基準を出力
24	X	－	－	測定方法		測定方法を出力
25	Y	－	－	要求事項		要求事項を出力
26	Z	－	－	記録		記録を出力
27	AA	－	－	検証		検証を出力
28	AB	－	－	確認済み		確認済みを出力
29	AC	－	－	備考		備考を出力
30	AD	○	キー	図表識別		文書情報の図表識別を出力
31	AE	－	－	危害No.		図形No.を出力
32	AF	○	キー	分類		分類を出力
33	AG	－	－	OBJECT ID		システム利用セル（変更不可）
34	AH	○	－	図形名称		図形名称を出力
35	AI	○	テ	辞書グループID		辞書グループIDを出力
36	AJ	○	テ	登録番号		登録番号を出力
37	AK	○	テ	8.5.1.5.3現存の管理手段		8.5.1.5.3現存の管理手段を出力
38	AL	○	テ	8.5.2.2.1ハザードの特定		8.5.2.2.1ハザードの特定を出力
39	AM	－	－	8.5.2.2.3許容水準(あり・なし)		8.5.2.2.3許容水準(あり・なし) を出力
40	AN	○	テ	8.5.2.2.3許容水準		8.5.2.2.3許容水準を出力
41	AO	○	リ	8.5.2.3	発生頻度	選択した値を出力
42	AP	○	リ	ハザード評価	重篤度	選択した値を出力

列		表示	取込	項目		説明および備考
43	AQ	○	－		評価値	発生頻度*重篤度の値を自動出力
44	AR	○	テ		その他	その他を出力
45	AS	○	→	8.5.2.4.1 管理手段の評価	b-4	選択されていたら「→」を出力
46	AT	○	→		a	選択されていたら「→」を出力
47	AU	○	→		b	選択されていたら「→」を出力
48	AV	○	→		b-1	選択されていたら「→」を出力
49	AW	○	→		b-2	選択されていたら「→」を出力
50	AX	○	→		b-3	選択されていたら「→」を出力
51	AY	○	→	8.5.2.4.2 管理手段の 可能性評価	a	選択されていたら「→」を出力
52	AZ	○	→		b	選択されていたら「→」を出力
53	BA	○	→		c	選択されていたら「→」を出力
54	BB	○	リ	8.5.2.4管理手段の選択と分類		8.5.2.4管理手段の選択と分類を出力

ハザード管理プラン表出力位置情報

列		表示	取込	項目	説明および備考
1	A	－	－	図表識別	文書情報の図表識別を出力
2	B	－	－	会社・事業拠点ID	文書情報の会社・事業拠点IDを出力
3	C	－	－	会社・事業拠点名	文書情報の会社・事業拠点名を出力
4	D	－	－	事業ID	文書情報の事業IDを出力
5	E	－	－	事業名	文書情報の事業名を出力
6	F	－	－	プロセスID	文書情報のプロセスIDを出力
7	G	－	－	プロセス名	文書情報のプロセス名を出力
8	H	－	－	サブプロセスID	文書情報のサブプロセスIDを出力
9	I	－	－	サブプロセス名	文書情報のサブプロセス名を出力
10	J	－	－	製品ID	文書情報の製品IDを出力
11	K	－	－	製品名	文書情報の製品名を出力
12	L	○	キー	図表識別	文書情報の図表識別を出力
13	M	－	－	Prifix	システム利用セル（変更不可）
14	N	○	キー	工程番号	工程番号を出力
15	O	－	－	OBJECTID	システム利用セル（変更不可）
16	P	○	－	工程名	工程名を出力
17	Q	－	－	辞書グループID	辞書グループIDを出力
18	R	－	－	登録番号	登録番号を出力
19	S	－	－	図形名称	図形名称を出力
20	T	－	－	手順	手順を出力
21	U	－	－	担当者	担当者を出力
22	V	－	－	管理項目	管理項目を出力
23	W	－	－	管理基準	管理基準を出力
24	X	－	－	測定方法	測定方法を出力
25	Y	－	－	要求事項	要求事項を出力
26	Z	－	－	記録	記録を出力
27	AA	－	－	検収	検証を出力
28	AB	－	－	確認済み	確認済みを出力

列		表示	取込	項目		説明および備考
29	AC	－	－	備考		備考を出力
30	AD	○	キー	図表識別		文書情報の図表識別を出力
31	AE	○	－	危害No.		図形No.を出力
32	AF	○	テ	分類		分類を出力
33	AG	－	－	OBJECT ID		システム利用セル（変更不可）
34	AH	－	－	危害 図形名		図形名称を出力
35	AI	○	テ	辞書グループID		辞書グループIDを出力
36	AJ	○	テ	登録番号		登録番号を出力
37	AK	○	テ	8.5.1.5.3現存の管理手段		8.5.1.5.3現存の管理手段を出力
38	AL	○	テ	8.5.2.2.1ハザードの特定		8.5.2.2.1ハザードの特定を出力
39	AM	○	テ	8.5.2.2.3 許容水準	あり・なし	8.5.2.2.3許容水準(あり・なし) を出力
40	AN	－	リ		許容水準など	8.5.2.2.3許容水準を出力
41	AO	○	テ	8.5.2.4管理手段の選択と分類		8.5.2.4管理手段の選択と分類を出力
42	AP	○	テ	8.5.4.2 許容限界及び処置基準の決定		8.5.4.2 許容限界及び処置基準の決定を出力
43	AQ	○	テ	8.5.4.3 モニタリングシステム	a)測定・観察	測定・観察
44	AR	○	テ		b)方法または機器	方法または機器
45	AS	○	テ		c)機器と方法の校正	方法または機器
46	AT	○	テ		d)頻度	頻度
47	AU	○	テ		e)結果	結果
48	AV	○	テ		f)責任と権限	責任と権限
49	AW	○	テ		g)結果の評価に関する責任と権限	結果の評価に関する責任と権限
50	AX	○	テ	8.5.4.4 許容限界逸脱時の対応	8.9.2修正	8.9.2修正を出力
51	AY	○	テ		8.9.3是正	8.9.3是正を出力
52	AZ	○	テ		8.9.4製品が不適合 がリリースできるのか	8.9.4製品が不適合がリリースできるのかを出力
53	BA	○	テ		8.9.4.2リリースの場合	8.9.4.2リリースの場合を出力
54	BB	○	テ		8.9.4.3不適合の場合	8.9.4.3不適合の場合を出力

ハザード管理プラン表単票（CCP OPRP）出力位置情報

行	列		表示	取込	項目		説明および備考
1	4	D	○	－	図表識別		文書情報の図表識別を出力
4	4	D	○	－	会社・事業拠点		会社・事業拠点を出力
5	4	D	○	－	事業名		事業名を出力
6	4	D	○	－	プロセス名		プロセス名を出力
7	4	D	○	－	サブプロセス名		サブプロセス名を出力
8	4	D	○	－	製品名		製品名を出力
11	4	D	○	－	版数		版数を出力
12	4	D	○	－	作成者		作成者を出力
12	6	F	○	－	作成日		作成日を出力
13	4	D	○	－	承認者		承認者を出力
13	6	F	○	－	承認日		承認日を出力
14	4	D	○	－	最終更新者		最終更新者を出力
14	6	F	○	－	最終更新日		最終更新日を出力
16	4	D	○	キー	工程図形No.（表示用）		工程番号を出力
17	4	D	○	－	工程名		工程名を出力
18	4	D	○	リ	工程 図形名		図形名を出力
18	6	R	○	－	OBJECTID		システム利用セル（変更不可）
19	4	D	○	テ	危害図形No.（表示用）		危害図形No.を出力
20	4	D	○	－	図形名		図形名を出力
20	6	V	○	－	OBJECTID		システム利用セル（変更不可）
21	4	D	○	－	危害No.		図形No.を出力
22	4	D	○	テ	8.5.1.5.3現存の管理手段		8.5.1.5.3現存の管理手段を出力
23	4	D	○	テ	8.5.2.2.1ハザードの特定		8.5.2.2.1ハザードの特定を出力
24	4	D	○	テ	8.5.2.4管理手段の選択と分類		8.5.2.4管理手段の選択と分類を出力
25	4	D	○	テ	8.5.4.2 許容限界及び処置基準の決定		8.5.4.2 許容限界及び処置基準の決定を出力
26	4	D	○	テ	8.5.4.3 モニタリング システム	a)測定・観察	測定・観察
27	4	D	○	テ		b)方法または機器	方法または機器
28	4	D	○	テ		c)機器と方法の校正	方法または機器

行	列		表示	取込	項目		説明および備考
29	4	D	○	テ		d)頻度	頻度
30	4	D	○	テ		e)結果	結果
31	4	D	○	テ		f)責任と権限	責任と権限
32	4	D	○	テ		g)結果の評価に関する責任と権限	結果の評価に関する責任と権限
33	4	D	○	テ	8.5.4.4 許 容 限 界 逸脱時の対応	8.9.2修正	8.9.2修正を出力
34	4	D	○	テ		8.9.3是正	8.9.3是正を出力
35	4	D	○	テ		8.9.4製品が不適合かリリースできるのか	8.9.4製品が不適合かリリースできるのかを出力
36	4	D	○	テ		8.9.4.2リリースの場合	8.9.4.2リリースの場合を出力
37	4	D	○	テ		8.9.4.3 不 適 合 の 場 合	8.9.4.3不適合の場合を出力

パターンマトリクス出力位置情報

列		表示	取込	項目	説明および備考
1	A	－	－	図表識別	文書情報の図表識別を出力
2	B	－	－	会社・事業拠点ID	会社・事業拠点IDを出力
3	C	－	－	会社・事業拠点名	会社・事業拠点名を出力
4	D	－	－	事業名ID	事業名IDを出力
5	E	－	－	事業名	事業名を出力
6	F	－	－	プロセスID	プロセスIDを出力
7	G	－	－	プロセス名	プロセス名を出力
8	H	－	－	サブプロセスID	サブプロセスIDを出力
9	I	－	－	サブプロセス名	サブプロセス名を出力
10	J	－	－	製品ID	製品IDを出力
11	K	－	－	製品名	製品名を出力
12	L	○	－	図表識別	図表識別を出力
13	M	－	－	ソート番号	を出力
14	N	○	－	工程番号	工程番号を出力
15	O	○	－	工程名	工程名を出力
16	P	－	－	辞書グループID	辞書グループIDを出力
17	Q	－	－	登録番号	登録番号を出力
18	R	－	－	図形名称	図形名称を出力
19	S	○	－	手順	手順を出力
20	T	－	－	担当者	担当者を出力
21	U	－	－	管理項目	管理項目を出力
22	V	－	－	管理基準	管理基準を出力
23	W	－	－	測定方法	測定方法を出力
24	X	－	－	要求事項	要求事項を出力
25	Y	－	－	記録	記録を出力
26	Z	－	－	検証	検証を出力
27	AA	－	－	確定済み	確定済みを出力
28	AB	－	－	備考	備考を出力

列		表示	取込	項目	説明および備考
29	AC	－	－	ObjectID	ObjectIDを出力
30	AD	○	－	パターン名	パターン名を出力

SPS